

平成22年度市民総合意識調査報告書

平成23年 7 月

須坂市

1. 調査概要	1
1.1. 調査の目的、考え方	1
1.2. 調査実施概要	1
1.3. 調査の基本項目	2
1.4. 分析方法	2
1.5. 調査結果に関する留意点	2
2. 調査結果	3
2.1. 回答者属性（問1～問9）	3
2.2. 須坂市の住みやすさについて	6
・ 問10 あなたにとって須坂市は住みやすいですか	6
・ 問11 あなたは今後も須坂市に住み続けたいですか	9
・ 問12 その理由を次の中から選んでください	9
2.3. 市の施策全般について	11
・ 問13 満足度・重要度について	11
・ ①各施策の満足度	12
・ ②各施策の重要度	21
・ ③満足度と重要度の比較	30
・ ④ニーズランキング	35
2.4. あなたの日常生活や身の回りのことについて	37
・ 問14 あなたは、「自分の健康は自分でつくり、守る」取り組みをしていますか	37
・ 問15 あなたは、この1年間に文化活動を何回程度行いましたか	37
・ 問16 あなたは、日頃からスポーツを行っていますか	38
・ 問17 あなたは、日頃、自然にふれあう機会をつくっていますか	38
・ 問18 あなたは、住宅への太陽光発電システムの設置について関心がありますか	39
・ 問19 家族（親族）が亡くなったときに埋葬する墓地はありますか	39
・ 問20 あなた自身または家族が人権を侵害されたと思ったことがありますか	40
・ 問21 家庭内にインターネットに接続できる機器はありますか	40

2. 5. 須坂市の行政に関する取り組みについて ----- 41

- ・ 問 22 須坂市の姉妹都市、友好都市を知っていましたか 41
- ・ 問 23 須坂市は、行政が市民・ボランティア（NPO含む）・企業等ができることは任せ、その他の事業も協働で行っているまちだと思いますか 42
- ・ 問 24 あなたは、市役所が以前と比べてよい方向に変ってきていると感じますか 43
- ・ 問 25 あなたは、行政の防災体制が充実していると感じますか 44
- ・ 問 26 須坂市全体の土地利用についてどう思いますか 45
- ・ 問 27 須坂市の将来の土地利用についてどのような方向をとるべきだと思いますか 46

2. 6. 須坂市のまちづくりについて ----- 47

- ・ 問 28 あなたは、日常生活の中で須坂市のまちづくりについて、どの分野に一番関心がありますか 47

須坂市の生活について（自由記述） ----- 48

健康・福祉・子育て	49
教育・文化・スポーツ	51
環境	52
都市基盤	53
産業・経済	57
安全・交通・生活基盤	60
交流・コミュニティ	62
市職員等	63
地域活性化	64
広報・PR	65
税金・各料金	65
住みやすい	66
行政改革、経費削減	66
住んでよかったと思える市に	66
行政経営	66
アンケートについて	67
経済対策・雇用対策	67
公共施設管理、充実	68
土地利用	68
マナー・道徳	69
その他	69

◆資料

- ・ 回答者属性詳細
- ・ 平成 22 年度市民総合意識調査調査票

1. 調査概要

1.1. 調査の目的、考え方

須坂市では、第四次須坂市総合計画が平成 22 年度で終了し、様々な社会の変化を踏まえた上で、平成 23 年 4 月より新たな『第五次須坂市総合計画』に基づいたまちづくりがスタートしました。

第五次須坂市総合計画の愛称

「いきいきすぎか みんなのまちづくり計画」

将来像（みんながめざす須坂市の未来の姿）

「一人ひとりが輝き、磨かれた『ほんもの』の魅力あふれるまち 須坂」

本調査では、第四次須坂市総合計画の目標年度（平成 22 年度）において、市民の皆様が各施策に対し、どのように感じているのかを把握することで、第四次須坂市総合計画（後期基本計画）の総括を行います。

実績の評価を行うと同時に、今後、第五次須坂市総合計画においても、市民ニーズを市政に反映させること、各施策の改善・実行するための基礎資料とすることを目的とします。

また、「共創」のまちづくりの考えから、まちづくりの当事者である市民の皆様より多くの意見を得ることで共創を実践します。

1.2. 調査実施概要

- | | |
|-----------|---|
| 1. 調査地域 | 須坂市内全域 |
| 2. 調査対象 | 須坂市に住所を有する 20 歳以上の男女 |
| 3. 対象者数 | 1,200 人 |
| 4. 抽出方法 | 住民基本台帳登録者の中から無作為抽出 |
| 5. 調査方法 | 郵送調査方法
調査票による本人記入形式
無記名調査
郵送による調査票の配付、返信用封筒による回収 |
| 6. 調査期間 | 平成 23 年 3 月 12 日～3 月 27 日 |
| 7. 有効回答者数 | 544 |
| 8. 回収率 | 45.3% |

1.3. 調査の基本項目

1. 回答者属性（性別、年代、住居地区、家族構成、同居親族、職業、居住年数、居住歴）
2. 須坂市の住みやすさについて
3. 第四次須坂市総合計画後期基本計画の施策体系に関する事項
 - ① 各施策の満足度
 - ② 各施策の重要度
 - ③ 満足度と重要度の比較
 - ④ ニーズランキング
4. 日常生活や身の回りのことについて
5. 須坂市の行政に関する取り組みについて
6. 須坂市のまちづくりについて
7. 須坂市の生活について（自由意見）

1.4. 分析方法

1. 回答者の属性分析
性別、年齢、居住地区等のセグメント別に集計、把握を行なう。
2. 前回調査との比較
平成 21 年度市民総合意識調査（平成 21 年 8 月実施）において同じ設問があるものについては同調査との結果の比較を行う。
3. 施策別分析
各施策別に満足度、重要度、ニーズ値（重要度－満足度の数値）の平均値およびその偏差値を算出し全施策との相対的な評価を行なう。
4. ポートフォリオ分析
期待が大きい施策は何か、満足度の低い取り組みは何か、だけではなく、各項目の満足度と重要度の関連や、関係の強さを 4 象限マップで明らかにする。
5. 自由記述
今後の市政運営に対して貴重な意見であることから、各意見の分野別の出現率を示し、カテゴリー別にまとめる。

1.5. 調査結果に関する留意点

図及び表中の構成比（％）は、小数点以下で四捨五入しているため、合計が 100％にならない場合がある。

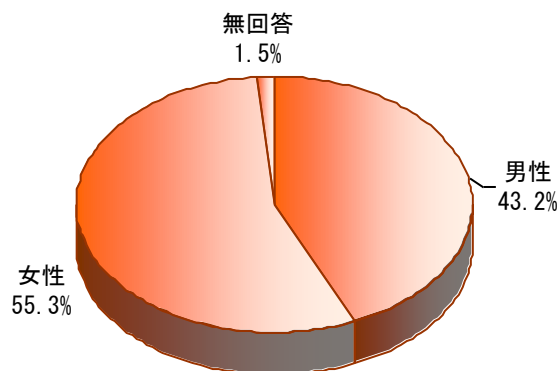
報告書中「平成 21 年度調査」「H21」「前回調査」等の項目については平成 21 年 8 月に実施した「平成 21 年度市民総合意識調査」の結果を表します。

2. 調査結果

2.1. 回答者属性

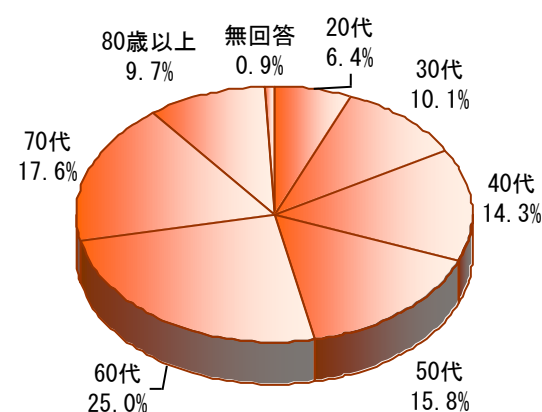
問1－性別

選択肢	回答数	%
男性	235	43.2%
女性	301	55.3%
無回答	8	1.5%
合計	544	100%



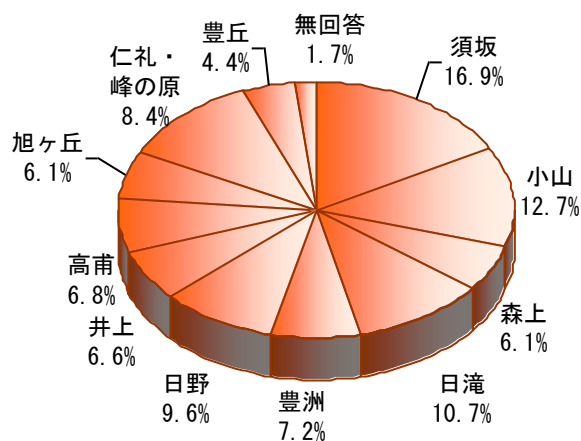
問2－年齢

選択肢	回答数	%
20代	35	6.4%
30代	55	10.1%
40代	78	14.3%
50代	86	15.8%
60代	136	25.0%
70代	96	17.6%
80歳以上	53	9.7%
無回答	5	0.9%
合計	544	100%



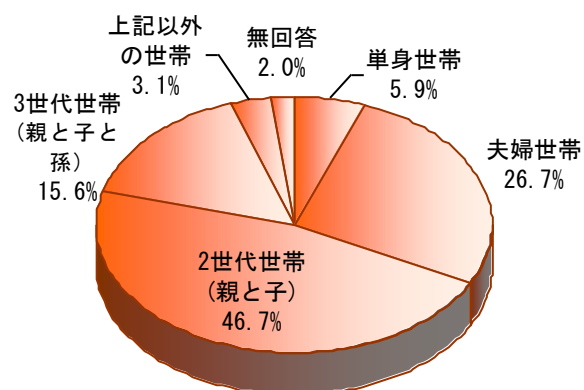
問3－居住地区

選択肢	回答数	%
須坂	92	16.9%
小山	69	12.7%
森上	33	6.1%
日滝	58	10.7%
豊洲	39	7.2%
日野	52	9.6%
井上	36	6.6%
高甫	37	6.8%
旭ヶ丘	33	6.1%
仁礼・峰の原	62	11.4%
豊丘	24	4.4%
無回答	9	1.7%
合計	544	100%



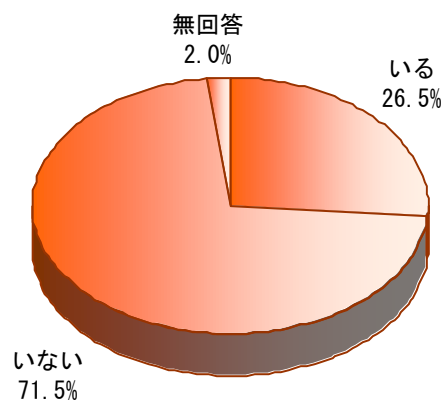
問 4—家族構成

選択肢	回答数	%
単身世帯	32	5.9%
夫婦世帯	145	26.7%
2 世代世帯（親と子）	254	46.7%
3 世代世帯（親と子と孫）	85	15.6%
上記以外の世帯	17	3.1%
無回答	11	2.0%
合計	544	100%



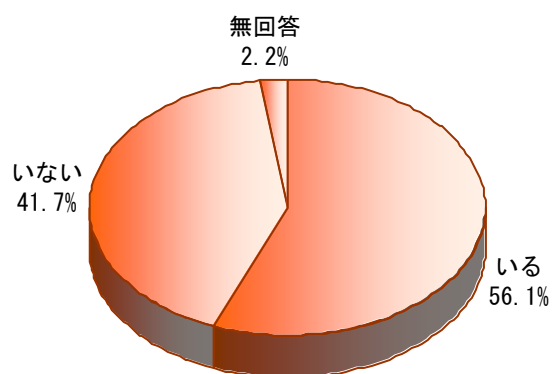
問 5—同居親族に高校生以下

選択肢	回答数	%
いる	144	26.5%
いない	389	71.5%
無回答	11	2.0%
合計	544	100%



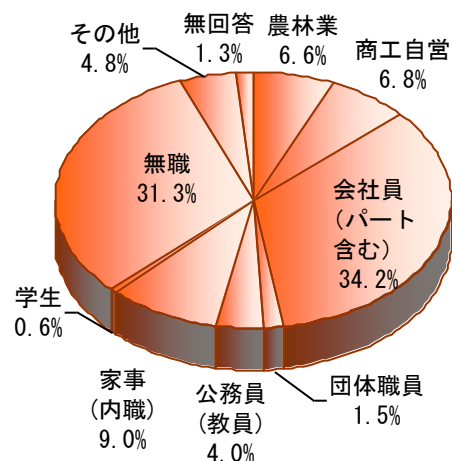
問 6—同居親族に 65 歳以上

選択肢	回答数	%
いる	305	56.1%
いない	227	41.7%
無回答	12	2.2%
合計	544	100%



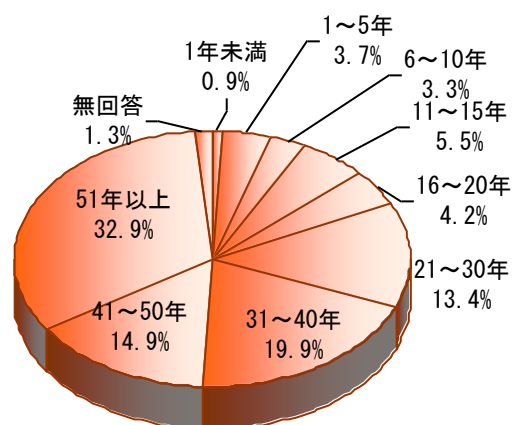
問 7ー主な職業

選択肢	回答数	%
農林業	36	6.6%
商工自営	37	6.8%
会社員（パート含む）	186	34.2%
団体職員	8	1.5%
公務員（教員含む）	22	4.0%
家事（内職含む）	49	9.0%
学生	3	0.6%
無職	170	31.3%
その他	26	4.8%
無回答	7	1.3%
合計	544	100%



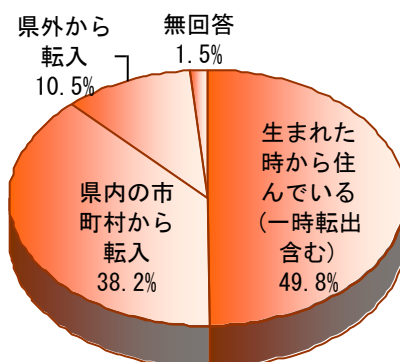
問 8ー居住年数

選択肢	回答数	%
1 年未満	5	0.9%
1～5 年	20	3.7%
6～10 年	18	3.3%
11～15 年	30	5.5%
16～20 年	23	4.2%
21～30 年	73	13.4%
31～40 年	108	19.9%
41～50 年	81	14.9%
51 年以上	179	32.9%
無回答	7	1.3%
合計	544	100%



問 9ー須坂市には

選択肢	回答数	%
生まれた時から住んでいる（一時転出含む）	271	49.8%
県内の市町村から転入	208	38.2%
県外から転入	57	10.5%
無回答	8	1.5%
合計	544	100%

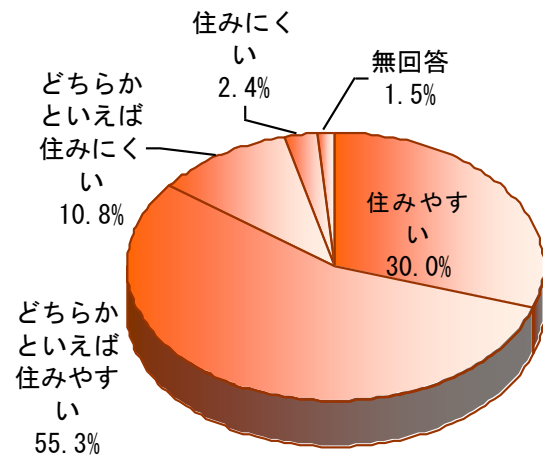
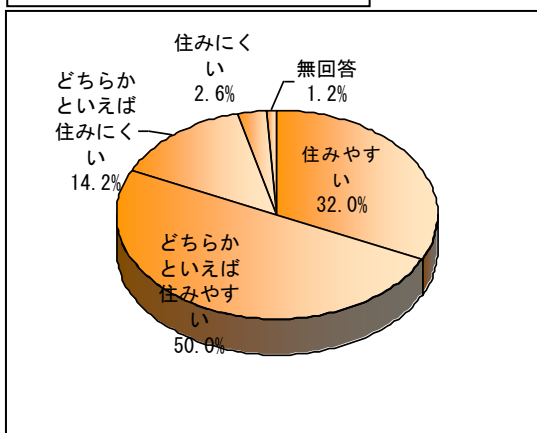


2. 2. 須坂市の住みやすさについて

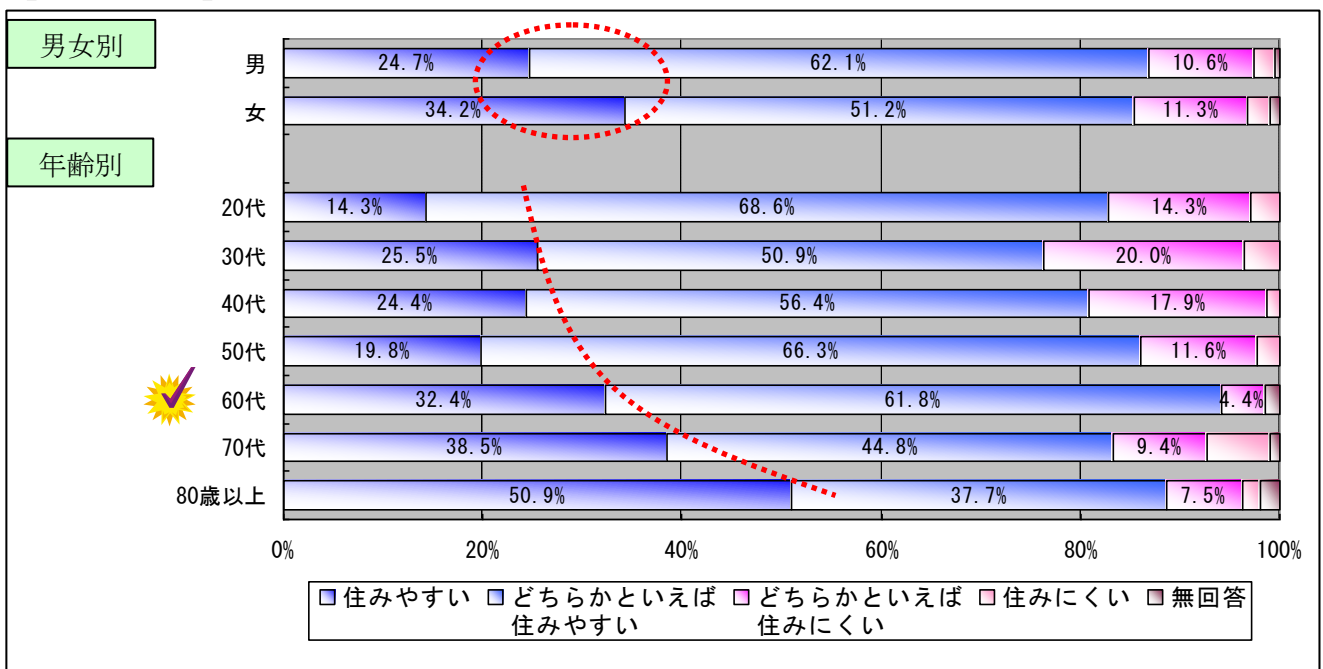
問 10ーあなたにとって須坂市は住みやすいですか。

選択肢	回答数	%
住みやすい	163	30.0%
どちらかといえば 住みやすい	301	55.3%
どちらかといえば 住みにくい	59	10.8%
住みにくい	13	2.4%
無回答	8	1.5%
合計	544	100%

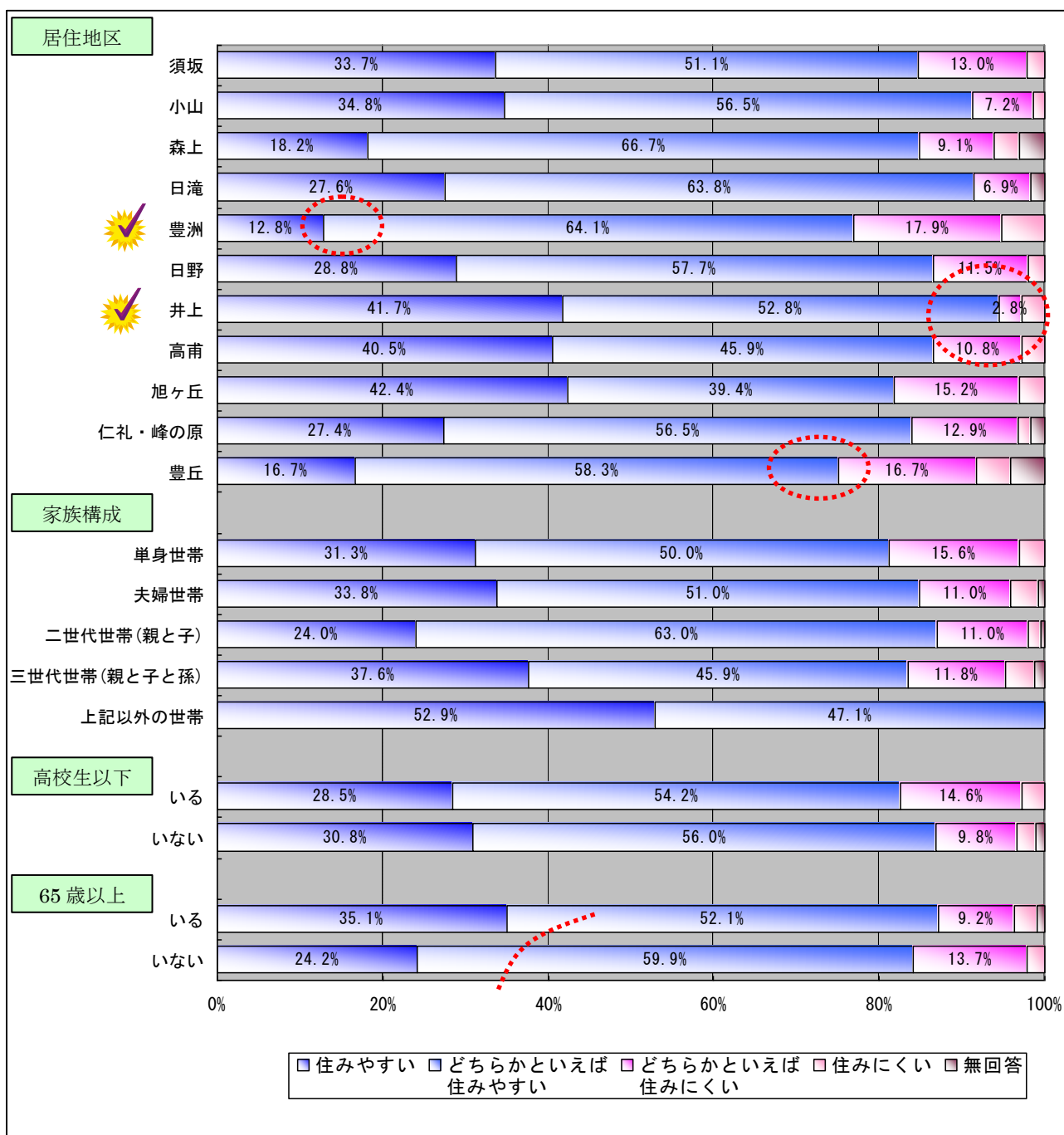
平成 21 年度調査(21 年 8 月実施)



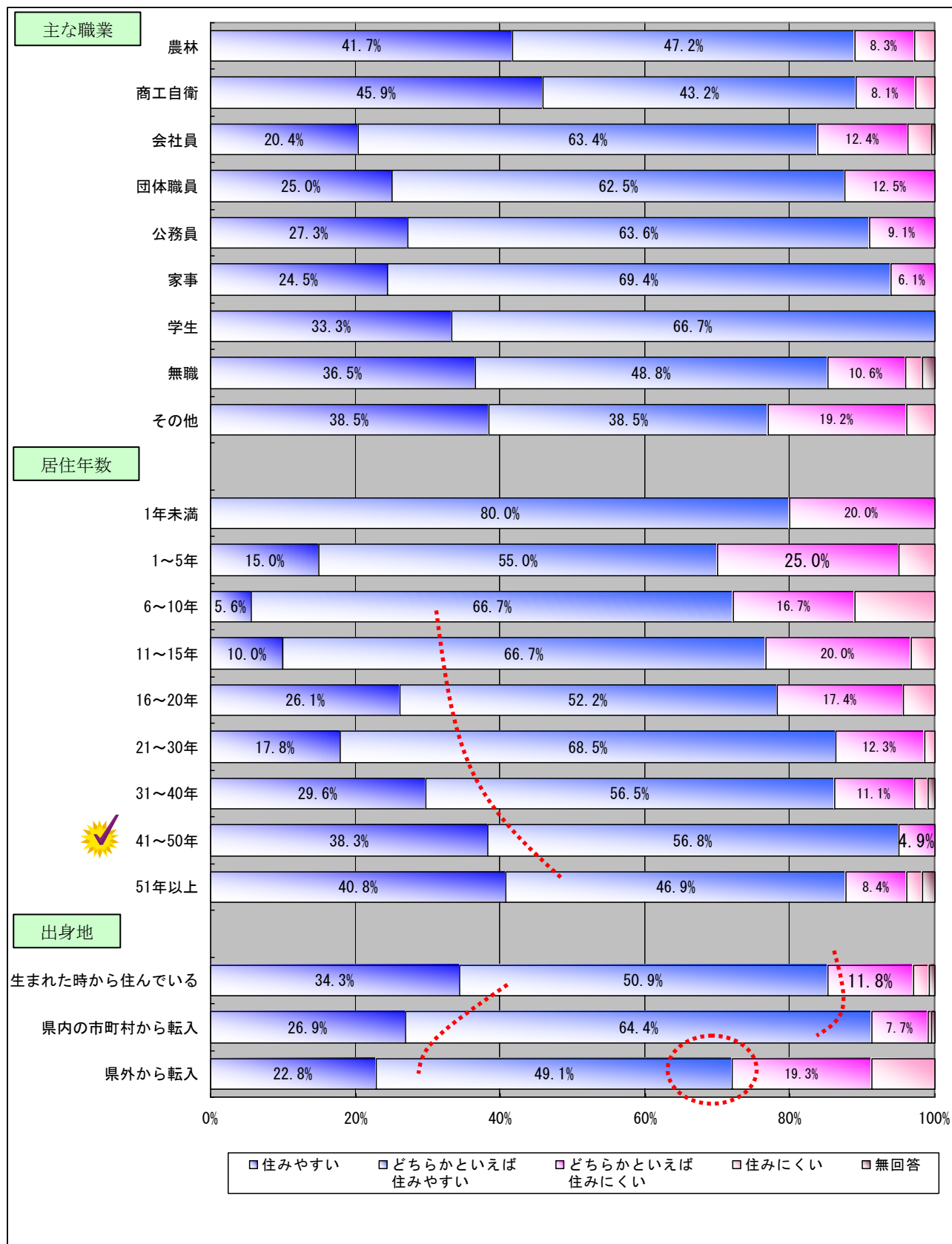
【属性別集計】



- ✓ 85%以上の回答者が「住みやすい」もしくは「どちらかといえば住みやすい」と回答。
- ✓ 前回調査時と概ね同じ割合で「住みやすい」と回答している。
- ✓ 男女別では女性のほうが「住みやすい」と回答しているが、「どちらかといえば住みやすい」との合計は同程度。年齢別では年齢が上がるほど住みやすいと感じている傾向にあり、60代で一番高く、9割以上が（どちらかといえばを含めて）「住みやすい」と回答。



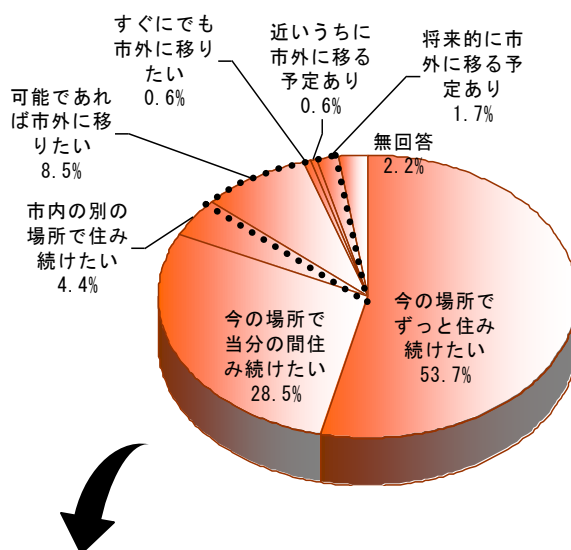
- ✓ 井上地区では、9割以上が「住みやすい」または「どちらかといえば住みやすい」と回答。
- ✓ 豊洲地区、豊丘地区では比較的「住みやすい」と回答する割合が低いが、（どちらかといえばを含めて）75%が「住みやすい」と回答している。
- ✓ 同居親族の中に高校生以下が「いない」ほうが、また同じく65歳以上が「いる」ほうが「住みやすい」と回答している割合が高い。



- ✓ 居住年数別では、居住年数が長くなるほど、「住みやすい」と回答する傾向。
- ✓ 居住年数が41～50年で最も「住みやすい」「どちらかといえば住みやすい」と回答する割合が高く、95%が、住みやすいと回答している。
- ✓ 出身地別では「県内の市町村からの転入」の回答者が住みやすいと回答する割合が高い。一方で「県外から転入」では約3割が住みにくいと回答し、住みやすいと回答する割合が低い。

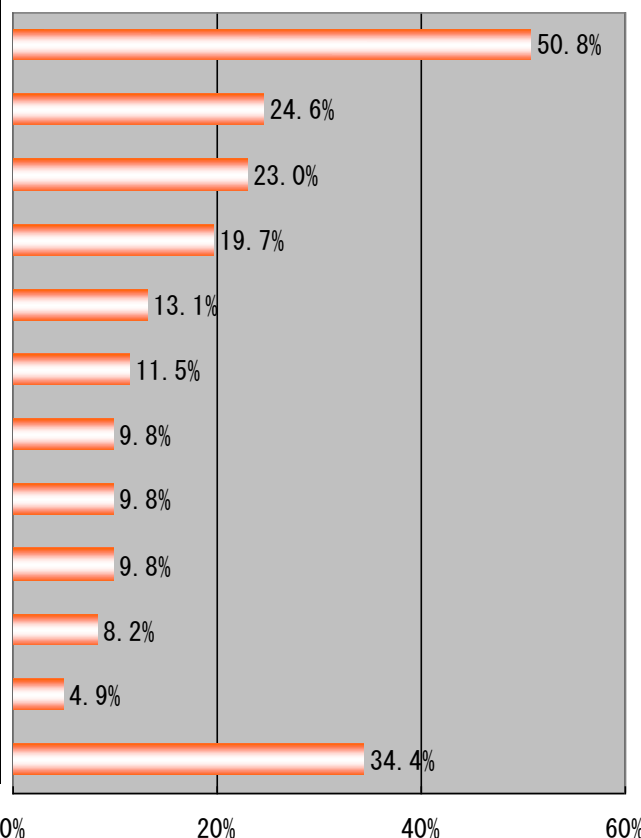
問 11ーあなたは今後も須坂市に住み続けたいですか。

	選択肢	回答数	%
1	今の場所でずっと住み続けたい	292	53.7%
2	今の場所で当分の間住み続けたい	155	28.5%
3	市内の別の場所で住み続けたい	24	4.4%
4	可能であれば市外に移りたい	46	8.5%
5	すぐにでも市外に移りたい	3	0.6%
6	近いうち(2年以内)に市外に移る予定あり	3	0.6%
7	将来的(2～10年以内)に市外に移る予定あり	9	1.7%
8	無回答	12	2.2%
	合計	544	100%



問 12ーその理由を次の中から選んでください。(問 11 で 4・5・6・7 を回答したもの)

	選択肢	回答数	選択率
1	買い物や娯楽を楽しめる環境でないから	31	50.8%
2	近所付き合いなどがわずらわしいから	15	24.6%
3	通勤・通学に不便だから	14	23.0%
4	医療・福祉環境に満足できないから	12	19.7%
5	自然災害への備え(防災)が不十分だから	8	13.1%
6	保育・子育て・教育環境に満足できないから	7	11.5%
7	騒音などの生活環境に満足できないから	6	9.8%
8	商売や事業を行いやすい環境でないから	6	9.8%
9	仕事、学校、家族の都合でやむをえず	6	9.8%
10	住宅や土地の価格・広さに満足できないから	5	8.2%
11	治安・防犯が心配だから	3	4.9%
12	その他	21	34.4%



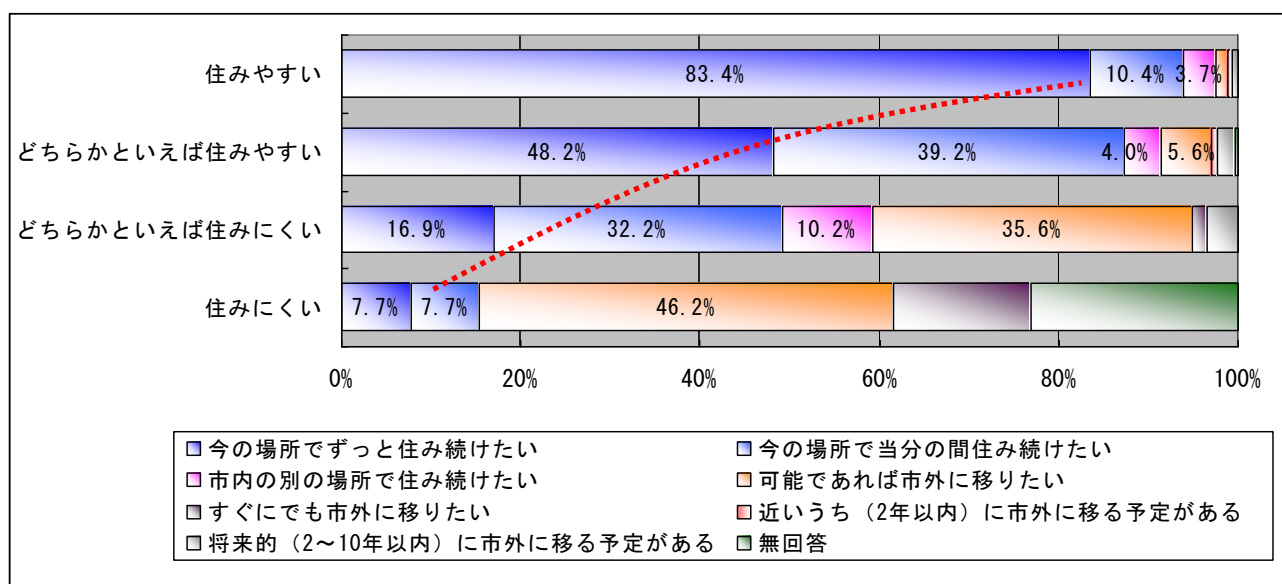
※本設問は複数回答である。

※選択率の母数は問 11 で 4・5・6・7 と回答した 61 である。

- ✓ 「今の場所でずっと住み続けたい」と回答する割合が過半数である。「当分の間住み続けたい」を含めて8割超が今の場所で住み続けたいと回答。
- ✓ 市外に移りたい理由として、「買い物や娯楽を楽しめる環境でないから」が最も多く半数以上が選択。
- ✓ その他の理由としては、「活気がない」「(結婚などの) 自己都合」、「仕事の選択肢が少ない」「税金、公共料金が高い」、「地区の行事が多すぎる」「地区の役員がすぐに回ってくる」などがあげられている。

【住みやすさと居留意向の関係】

	住み 今 場所 です ずっと 住 み 続 け たい	住 今 場所 で 当 分 の 間 住 み 続 け たい	住 市 内 の 別 の 場 所 で 住 み 続 け たい	市 外 に 移 り たい 可 能 で あ れ ば	市 外 に 移 り たい す ぐ に で も	市 外 に 移 る 予 定 が あ る 近 い う ち （ 2 年 以 内 ） に	市 外 に 移 る 予 定 が あ る 将 来 的 に （ 2 ～ 10 年 ）	無 回 答	合 計
住みやすい	136	17	6	2	0	1	1	0	163
どちらかといえば 住みやすい	145	118	12	17	0	2	6	1	301
どちらかといえば 住みにくい	10	19	6	21	1	0	2	0	59
住みにくい	1	1	0	6	2	0	0	3	13
無回答	0	0	0	0	0	0	0	8	8
合計	292	155	24	46	3	3	9	12	544



- ✓ 住みやすさと居留意向の関係では、住みやすいと感じているほど居留意向が高い。
- ✓ 「住みやすい」と回答者は8割以上が「今の場所ですずっと住み続けたい」と回答し、「今の場所で当分の間住み続けたい」を合わせて9割以上が今の場所で住みたいと回答。
- ✓ 「どちらかといえば住みやすい」と回答者は、「今の場所ですずっと住み続けたい」が約5割、「今の場所で当分の間住み続けたい」を合わせて8割以上が今の場所で住みたいと回答。
- ✓ 「どちらかといえば住みにくい」「住みにくい」とする回答者では、「可能であれば市外に移りたい」がと回答する割合が最も多い。

2.3. 市の施策全般について

問 13—あなたは、それぞれの施策の取り組み状況について、どの程度満足されていますか。また、今後取り組むことがどのくらい重要だと考えますか。

満足度・重要度の分析の見方

- ◆ 市の施策の取り組み状況について、満足度ならびに重要度の分析に際しては、下記のように回答結果を点数化している。
- ◆ 選択肢に点数をつけて、その平均値を求め、満足度と重要度を数値化することによって、項目ごとに比較できるようにしている。

【満足度】

	選択肢	点数
1	満足	+10
2	どちらかといえば満足	+5
3	どちらでもない	±0
4	どちらかといえば不満	-5
5	不満	-10
6	分からない	対象外
	無回答	対象外

【重要度】

	選択肢	点数
A	重要である	+10
B	どちらかといえば重要である	+5
C	普通	±0
D	どちらかといえば重要ではない	-5
E	重要ではない	-10
	無回答	対象外

【例】

項目	満足度	選択肢						無回答	合計	「分からない」「無回答」を除く回答数
		1	2	3	4	5	6			
		満足	どちらかといえば満足	どちらでもない	どちらかといえば不満	不満	分からない			
1 健康づくりの支援	2.69	38	226	131	40	11	50	48	544	446

◆ 算式（加重平均）

満足度＝{（「満足」×10）＋（「どちらかといえば満足」×5）＋（「どちらかといえば不満」×（-5））＋（「不満」×（-10））} ÷ 「分からない」及び「無回答」を除く回答数

重要度＝{（「重要である」×10）＋（「どちらかといえば重要である」×5）＋（「どちらかといえば重要ではない」×（-5））＋（「重要ではない」×（-10））} ÷ 「無回答」を除く回答数

①各施策の満足度

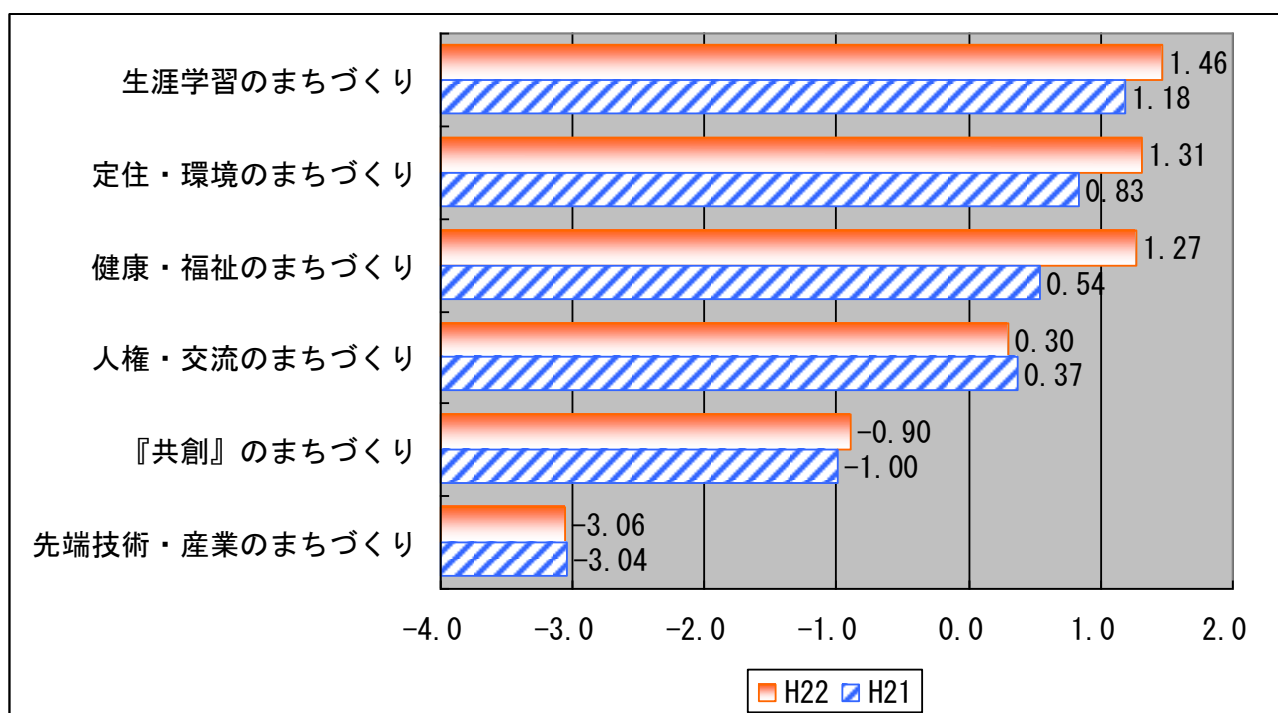
項目	選択肢							満足度	【参考】 前回 平成 21 年度 調査
	1	2	3	4	5	6			
	満足	どちらかといえば満足	どちらでもない	どちらかといえば不満	不満	分からない	無回答		
少子高齢社会に対応し安心して暮らせる 健康・福祉のまちづくり【1～7】								1.27	0.54
1 健康づくりの支援	38	226	131	40	11	50	48	2.69	2.16
2 安心して医療が受けられる体制の整備	45	195	100	70	33	29	72	1.68	1.22
3 みんなで支えあう福祉のまちづくり	17	161	184	64	21	72	25	1.00	0.51
4 子育て環境の整備	14	134	140	78	30	108	40	0.30	-0.87
5 高齢者福祉の推進	37	151	114	59	26	127	30	1.47	0.70
6 障がい者保健福祉の推進	26	107	122	31	16	210	32	1.59	0.47
7 生活困窮者への支援	9	56	135	31	17	256	40	0.18	-0.43
須坂文化を創造し心豊かな人をはぐくむ 生涯学習のまちづくり【8～12】								1.46	1.18
8 生涯学習の支援	28	101	191	27	18	133	46	1.29	1.29
9 市民文化活動及び伝統文化の保存・継承への支援	28	113	188	41	10	125	39	1.42	1.06
10 市民スポーツ活動への支援	38	142	186	26	10	105	37	2.14	1.82
11 学校教育の充実	33	131	142	42	16	139	41	1.69	1.14
12 明るい家庭づくりと児童・青少年健全育成の推進	20	111	158	52	21	136	46	0.79	0.61
安全で快適に暮らせる 定住・環境のまちづくり【13～28】								1.31	0.83
13 景観の保存・育成	36	181	152	66	30	52	27	1.37	1.07
14 自然環境の保全	38	181	164	51	17	58	35	1.91	1.97
15 持続的発展可能な土地利用の推進	15	71	170	87	44	125	32	-0.96	-0.98
16 水資源の確保と安定的な供給	166	219	72	31	11	24	21	4.99	4.82
17 環境を守る活動の推進	21	121	185	36	13	131	37	1.34	0.90
18 循環型社会の構築 （市民や事業者が、ごみの3R※を推進している） ※リデュース＝減量・発生抑制、リユース＝再使用、リ サイクル＝再生利用・再資源化	58	198	124	50	21	60	33	2.46	1.93
19 歴史的資産を活かしたまちづくりの推進	34	151	177	50	26	69	37	1.34	0.29
20 快適で安全なみちづくり	38	117	167	74	83	31	34	-0.49	-1.20
21 移動制約者※への生活支援 ※高齢者や障がい者など歩行に困難を伴う人や、徒歩や 自転車での移動が困難な状況の時、移動手段を確保でき ない人	25	102	134	108	96	54	25	-1.59	-2.69
22 公営住宅の適正供給	16	63	157	27	18	222	41	0.57	-0.03
23 公園・緑地の整備	44	182	121	84	48	38	27	0.94	0.40
24 環境衛生施設の整備	42	204	169	37	16	50	26	2.34	2.03
25 防災対策・消防力の強化	59	175	161	36	24	60	29	2.30	2.48
26 交通安全対策の推進	30	141	191	59	38	57	28	0.72	0.34
27 地域安全対策の推進	39	150	186	46	21	75	27	1.58	0.96
28 安心・安全な消費生活の確保	42	187	184	43	14	45	29	2.13	1.02

項目	選択肢							満足度	【参考】 前回 平成 21 年度 調査
	1	2	3	4	5	6			
	満足	どちらかといえば満足	どちらでもない	どちらかといえば不満	不満	分からない	無回答		
地域の資源を活かした 先端技術・産業のまちづくり【29～38】								-3.06	-3.04
29 高付加価値農業・ブランド化の推進	17	72	152	43	22	204	34	0.31	0.25
30 農業振興のための基盤整備	15	54	125	68	50	197	35	-1.35	-1.31
31 森林の持つ機能保全・育成	2	24	135	59	58	225	41	-2.64	-1.68
32 既存産業の高度化・高付加価値化の促進	7	41	127	90	65	171	43	-2.50	-2.73
33 新産業創出・企業誘致の促進	8	38	110	86	83	178	41	-3.05	-3.13
34 商業再生と活性化への支援	0	30	83	133	217	48	33	-5.80	-5.85
35 新サービス産業への支援	4	20	106	89	79	211	35	-3.67	-3.49
36 観光・レジャー産業の振興	11	44	113	133	113	97	33	-3.54	-3.81
37 就労支援	9	15	85	126	152	123	34	-5.13	-5.13
38 勤労者福祉の増進	8	34	139	112	94	122	35	-3.23	-3.52
すべての人のしあわせを守る 人権・交流のまちづくり【39～43】								0.30	0.37
39 人権が尊重される社会の実現	35	112	187	37	30	109	34	1.06	0.75
40 男女共同参画社会の実現	22	96	206	49	27	108	36	0.46	0.57
41 多様な活動主体の参画による地域社会づくりの推進	11	50	193	35	12	200	43	0.22	0.27
42 I T（情報通信技術）を活用した情報提供	14	55	179	50	27	180	39	-0.32	-0.22
43 他都市との交流・国際交流の推進	14	61	170	35	25	202	37	0.07	0.47
市民とともに考え歩む 『共創』のまちづくり【44～48】								-0.90	-1.00
44 広聴・広報の充実	29	113	149	74	45	104	30	0.09	0.05
45 市民と行政の連携強化	13	74	155	64	37	167	34	-0.55	-0.78
46 効率的で効果的な組織・体制づくり	14	71	135	57	53	178	36	-0.97	-1.06
47 戦略的な視点に立った財政運営	12	70	143	60	68	153	38	-1.44	-1.45
48 卓越した都市の創出（日本一のまちを目指して）	16	76	138	84	74	120	36	-1.60	-1.75

- ✓ 満足度（ポイント）以外の数値はそれぞれ選択した回答数を示す。網掛けは各項目の最も多い回答選択肢である。回答者数が「満足」が一番多い項目は一つもない。
- ✓ 「安全で快適に暮らせる定住・環境のまちづくり」では、比較的「どちらかといえば満足」との回答者が多い。
- ✓ 「地域の資源を活かした先端技術・産業のまちづくり」では、他と比較し、「不満」もしくは「分からない」と回答するものが多い。

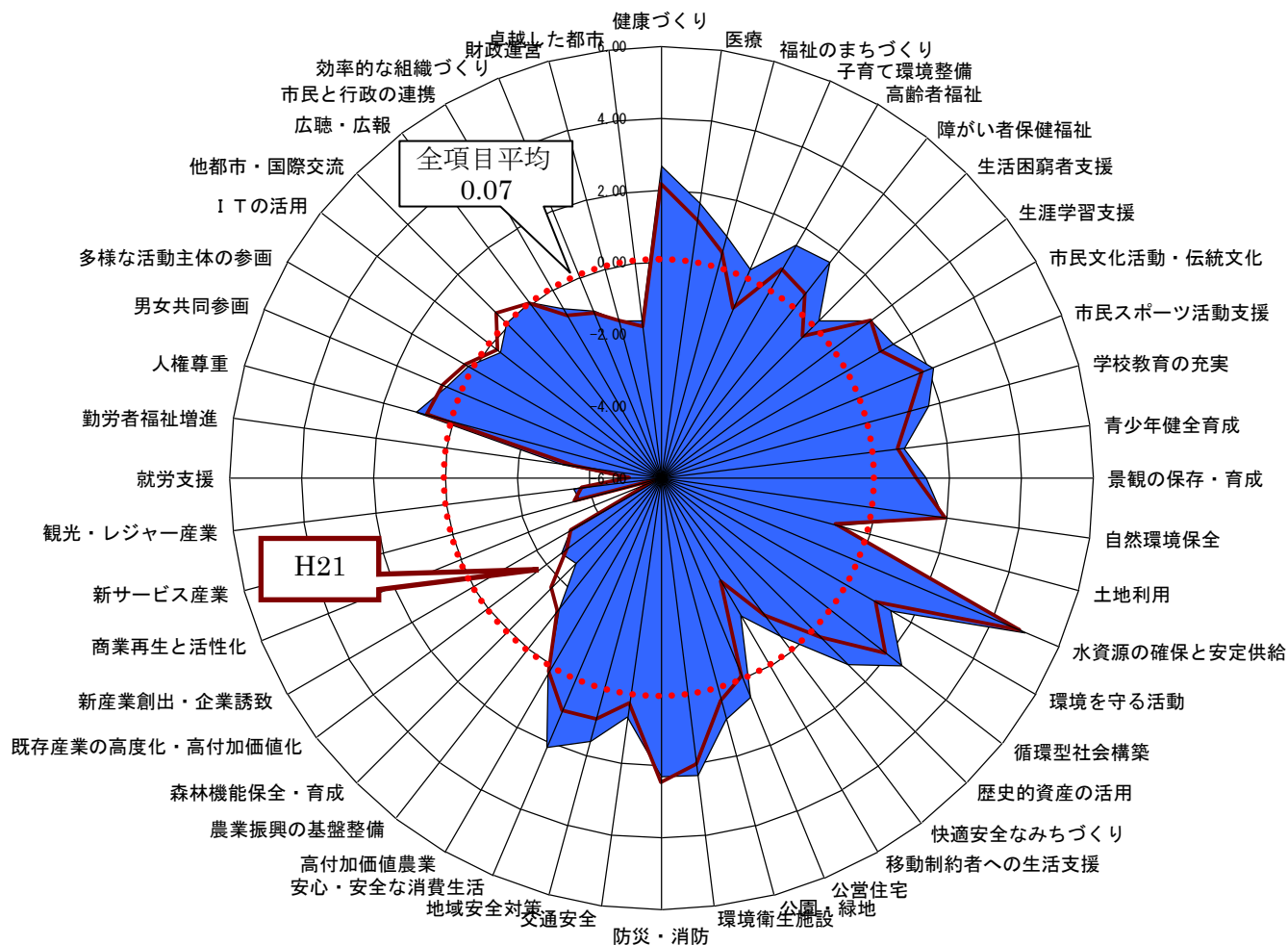
施策体系別の満足度

施策体系	H22	H21
須坂文化を創造し心豊かな人をはぐくむ生涯学習のまちづくり	1.46	1.18
安全で快適に暮らせる定住・環境のまちづくり	1.31	0.83
少子高齢社会に対応し安心して暮らせる健康・福祉のまちづくり	1.27	0.54
すべての人のしあわせを守る人権・交流のまちづくり	0.30	0.37
市民とともに考え歩む『共創』のまちづくり	-0.90	-1.00
地域の資源を活かした先端技術・産業のまちづくり	-3.06	-3.04



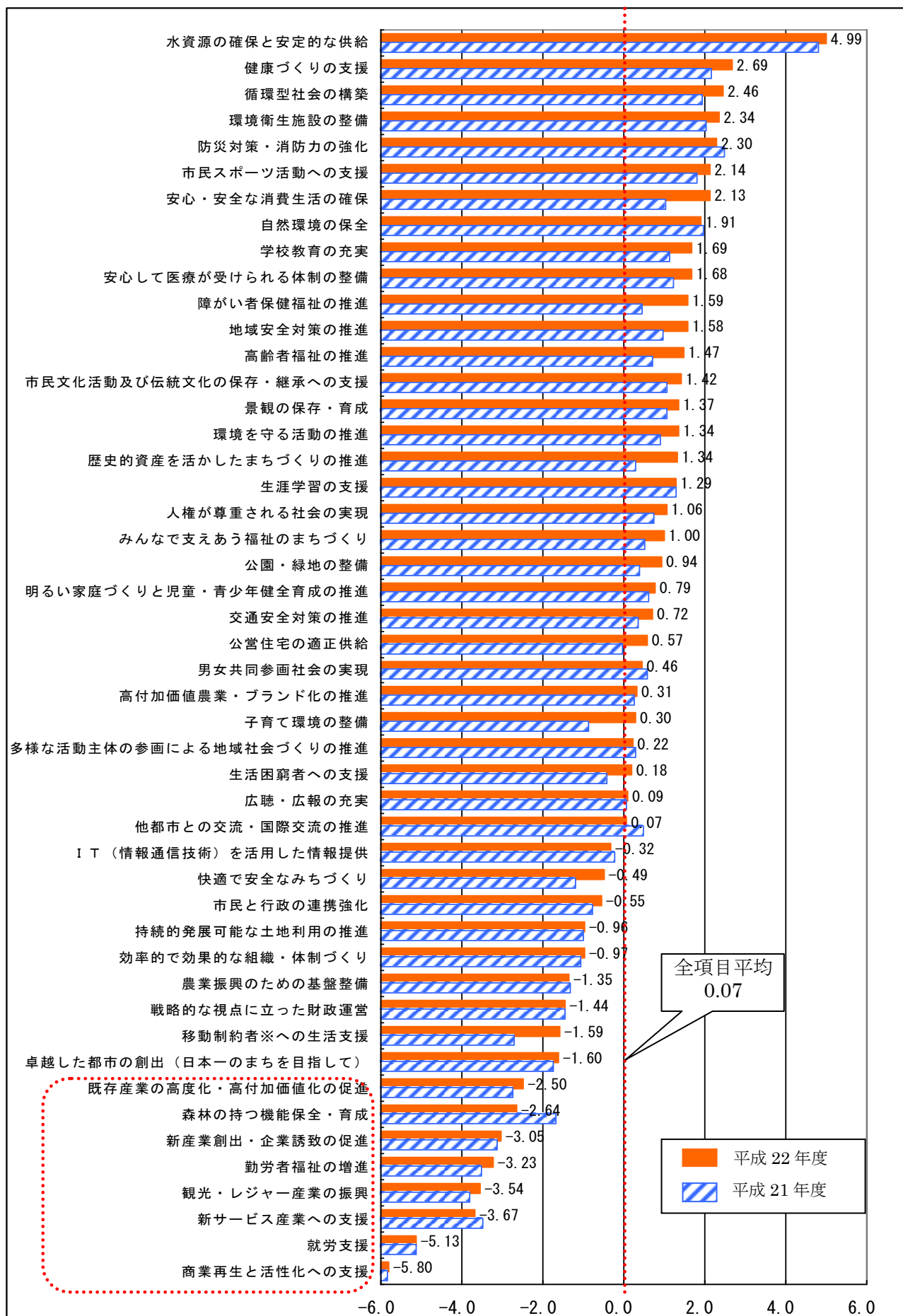
- ✓ 各施策体系別の平均満足度を示す。
- ✓ 1.46ポイントから-3.06ポイントに分布する。
- ✓ 「須坂文化を創造し心豊かな人をはぐくむ生涯学習のまちづくり」の満足度が最も高く、「地域の資源を活かした先端技術・産業のまちづくり」の満足度は他と比較して突出して低い。
- ✓ 概ね前回調査と同程度の満足度を示し、順位も同じである。

《満足度レーダーチャート》



- ✓ 各施策の満足度（レーダーチャート）を示す。円の中心より外側にあるほど満足度が高い。
- ✓ 全項目の平均満足度は0.07。
- ✓ 各項目について平成21年度（前回調査）の満足度も示す。

全項目の満足度ランキング



満足度上位 10 項目（48 項目中 1 位～10 位）

順位	項目	満足度	（前回順位）
1	水資源の確保と安定的な供給	4.99	1
2	健康づくりの支援	2.69	3 ↗
3	循環型社会の構築	2.46	6 ↗
4	環境衛生施設の整備	2.34	4
5	防災対策・消防力の強化	2.30	2 ↘
6	市民スポーツ活動への支援	2.14	7 ↗
7	安心・安全な消費生活の確保	2.13	13 ↗
8	自然環境の保全	1.91	5 ↘
9	学校教育の充実	1.69	10 ↗
10	安心して医療が受けられる体制の整備	1.68	9 ↘

満足度下位 10 項目（48 項目中 39 位～48 位）

順位	項目	満足度	（前回順位）
39	移動制約者※への生活支援	-1.59	41 ↗
40	卓越した都市の創出（日本一のまちを目指して）	-1.60	40
41	既存産業の高度化・高付加価値化の促進	-2.50	42 ↗
42	森林の持つ機能保全・育成	-2.64	39 ↘
43	新産業創出・企業誘致の促進	-3.05	43
44	勤労者福祉の増進	-3.23	45 ↗
45	観光・レジャー産業の振興	-3.54	46 ↗
46	新サービス産業への支援	-3.67	44 ↘
47	就労支援	-5.13	47
48	商業再生と活性化への支援	-5.80	48

- ✓ 満足度の上位10項目及び下位10項目を示す。また施策別に前回順位との上下を示す。
- ✓ 全48の事業項目の満足度は4.99ポイントからマイナス5.80ポイントの間に分散している。（前回調査は4.82ポイントからマイナス5.85ポイント）
- ✓ 全48項目の満足度を平均すると0.07ポイントで、18項目がこの平均値以下である。
- ✓ 「水資源の確保と安定的な供給」の満足度が（前回調査同様）最も高く他と比較し突出している。「健康づくりの支援」、「循環型社会の構築」と続く。
- ✓ 「商業再生と活性化への支援」が全項目の中で満足度が最も低い。「就労支援」とともに他と比較し満足度が突出して低い。
- ✓ 満足度の下位の10項目は、すべて前回の調査と同じ項目である。
- ✓ 満足度の下位の項目は、「地域の資源を活かした先端技術・産業のまちづくり」内の施策が多い。

次ページより属性別の満足度を示す。

属性別満足度

全体と比較し、 は 0.5 ポイント以上高く、 は 0.5 ポイント以上低い

	項目	1 健康づくりの支援	2 ら安れる心して体制の整備を受け	3 祉みんなのまちづくり	4 子育て環境の整備	5 高齢者福祉の推進	6 障がい者保健福祉の推進	7 生活困窮者への支援	8 生涯学習の支援	9 への文化活動の保存・継承	10 の市民スポーツ活動へ	11 学校教育の充実	12 成児の進歩・健全育成	13 景観の保存・育成	14 自然環境の保全	15 地持的発展可能な土	16 的水な資源の確保と安定
全体	満足度	2.69	1.68	1.00	0.30	1.47	1.59	0.18	1.29	1.42	2.14	1.69	0.79	1.37	1.91	-0.96	4.99
性別	男性	2.36	1.46	0.76	0.47	1.16	1.41	-0.09	0.84	1.06	1.80	1.25	0.39	1.07	1.31	-1.44	4.73
	女性	2.89	1.85	1.17	0.16	1.68	1.73	0.30	1.65	1.72	2.39	2.05	1.12	1.54	2.37	-0.60	5.15
年齢	20代	2.00	1.80	-0.17	-0.93	2.14	1.43	-0.28	0.68	1.25	1.07	0.56	-0.21	1.13	1.41	-0.69	3.94
	30代	1.16	0.65	-0.81	-2.16	-0.32	0.00	-1.74	-0.26	0.13	0.95	1.18	0.27	-0.21	2.34	-0.61	4.31
	40代	1.92	-0.58	0.77	0.07	0.20	0.00	-0.26	0.80	0.70	2.07	0.63	-0.41	0.20	1.23	-1.50	3.45
	50代	1.80	1.30	0.27	0.21	0.65	1.00	-1.36	0.55	0.57	1.40	0.88	-0.43	0.70	0.77	-1.81	4.22
	60代	3.20	2.20	1.45	1.00	1.40	1.80	1.21	2.01	2.18	2.84	2.30	1.96	1.60	1.67	-0.51	5.36
	70代	3.62	3.36	1.51	0.98	2.54	2.60	-0.16	1.67	2.81	3.19	3.56	2.04	2.29	2.81	-1.81	6.47
	80歳以上	4.21	3.24	3.47	2.22	3.75	4.58	3.48	2.83	1.21	2.00	2.20	1.30	4.15	4.17	1.45	6.44
居住地区	須坂	2.47	1.07	1.15	0.08	2.27	2.60	-0.22	2.50	1.77	2.46	1.29	1.05	1.13	1.86	-1.18	5.30
	小山	3.04	1.76	2.18	0.87	2.17	1.58	1.03	1.07	1.25	2.33	1.89	0.95	1.57	2.92	-0.36	5.79
	森上	2.50	0.71	-0.69	-0.52	0.89	1.39	0.38	-0.21	0.80	1.46	1.25	-1.60	0.00	1.29	-1.40	2.74
	日滝	3.37	1.48	1.08	0.94	1.67	1.94	0.54	0.80	1.09	2.21	1.49	1.31	1.44	0.61	-1.36	4.18
	豊洲	1.17	0.59	0.47	-1.45	-0.45	0.95	-1.76	0.80	0.34	0.96	1.61	0.93	0.29	1.67	-1.48	5.00
	日野	2.62	2.31	0.88	1.53	1.07	1.50	0.22	0.97	2.44	1.71	2.37	1.11	2.25	1.95	-0.29	4.27
	井上	3.17	2.68	1.13	0.00	1.73	1.43	0.59	2.17	1.80	2.14	2.60	1.67	1.52	2.74	0.17	4.57
	高甫	3.44	1.52	0.94	0.00	1.96	1.58	2.78	2.31	2.12	2.22	1.82	-0.56	2.65	1.67	-1.20	5.28
	旭ヶ丘	2.24	2.00	1.85	0.54	2.60	1.39	0.00	0.60	1.67	3.89	0.83	0.58	0.18	1.11	-1.67	4.38
	仁礼・峰の原	2.55	2.26	0.83	0.31	-0.33	0.26	-0.81	0.58	1.09	2.31	1.63	1.11	1.70	2.05	-1.35	5.85
	豊丘	2.00	3.42	-0.25	0.00	2.33	2.08	-0.45	1.47	-0.71	0.29	1.56	-0.38	1.00	2.37	0.00	6.14
家族構成別	単身世帯	2.61	2.39	0.63	1.67	2.29	0.59	-1.36	1.18	2.25	3.33	2.86	1.07	1.43	2.50	0.56	5.33
	夫婦世帯	3.04	1.72	0.60	0.65	1.12	1.58	0.86	1.40	1.91	2.50	2.04	1.13	1.92	2.04	-1.70	5.86
	2世代世帯	2.36	1.51	0.99	0.37	1.50	1.61	0.16	0.92	1.20	1.84	1.29	0.28	0.96	1.50	-0.80	4.35
	3世代世帯	2.82	1.71	1.60	-0.36	1.84	1.94	0.22	1.64	0.49	1.87	2.20	1.17	1.10	2.32	-1.03	5.19
	上記以外	3.75	2.50	2.92	-0.50	0.45	2.27	0.00	3.08	3.57	4.09	0.56	2.50	3.85	4.09	0.45	5.63
以下 高校生	いる	2.04	0.54	1.07	-0.88	0.94	1.33	-0.20	1.09	0.99	2.23	1.25	0.50	0.53	1.57	-0.93	4.04
	いない	2.91	2.08	0.95	0.89	1.65	1.65	0.34	1.38	1.56	2.07	1.88	0.89	1.66	2.04	-0.96	5.27
以上 65歳	いる	3.14	2.22	1.42	0.72	1.87	1.90	0.89	1.71	1.65	2.36	2.43	1.69	1.94	2.44	-0.83	5.69
	いない	2.03	1.00	0.45	-0.16	0.84	1.11	-0.66	0.80	1.10	1.83	0.79	-0.29	0.58	1.24	-1.14	4.07
居住年数	1年未満	0.00	0.00	1.25	0.00	0.00	0.00	0.00	-5.00	0.00	-1.67	0.00	0.00	3.75	3.75	-1.25	3.00
	1～5年	0.00	-0.36	-0.31	-1.76	0.00	3.00	0.00	-0.83	1.25	1.50	0.91	0.83	-0.33	2.14	-0.77	3.44
	6～10年	0.33	-0.33	-0.67	-3.13	-0.71	-1.11	-1.67	0.91	0.77	0.38	1.92	0.77	-1.56	1.33	-2.69	0.00
	11～15年	1.19	-1.74	-1.74	-2.71	-1.50	0.00	-3.33	1.14	1.74	2.50	0.00	-1.36	-0.83	0.40	-3.10	4.29
	16～20年	3.33	0.56	1.18	-1.47	0.67	1.25	0.45	1.33	1.18	1.79	1.84	1.25	1.67	1.32	-1.11	3.18
	21～30年	2.26	1.41	0.51	0.26	1.00	1.46	-0.44	0.21	1.53	2.13	0.89	-0.51	1.41	0.97	-0.64	4.20
	31～40年	2.53	1.85	0.65	0.36	1.20	1.21	0.09	1.30	0.72	1.81	1.07	0.99	0.36	1.85	-0.78	5.43
	41～50年	3.16	2.64	1.57	2.03	1.96	0.93	0.97	1.70	1.23	2.42	2.21	1.57	1.79	1.46	-0.78	4.93
	51年以上	3.38	2.46	1.87	1.06	2.40	2.57	0.96	1.81	1.91	2.48	2.57	1.08	2.44	2.85	-0.79	6.12
出身地	生まれた時から	2.78	1.69	0.93	0.58	1.53	1.54	0.21	1.22	1.31	2.06	1.60	0.59	1.35	1.93	-0.97	5.14
	県内から転入	2.84	2.25	1.50	0.54	1.80	2.26	0.45	1.85	1.98	2.32	1.94	1.22	1.49	1.87	-0.57	4.87
	県外から転入	1.56	-0.31	-0.43	-1.95	-0.28	-0.83	-1.32	-0.91	-0.13	1.76	0.94	-0.32	0.78	1.67	-2.57	4.42

属性別満足度

全体と比較し、 は 0.5 ポイント以上高く、 は 0.5 ポイント以上低い

	項目	17 進環境を守る活動の推	18 循環型社会の構築	19 歴史的資産を活か進し	20 く快適で安全なみちづ	21 支移動制約者への生活	22 公営住宅の適正供給	23 公園・緑地の整備	24 環境衛生施設の整備	25 強化対策・消防力の	26 交通安全対策の推進	27 地域安全対策の推進	28 活安心・安全な消費生	29 ラ高付ド加価値農業・ブ	30 盤整備振興のための基	31 全森林の持つ機能保	32 高既存産業の高度化促進・
全体	満足度	1.34	2.46	1.34	-0.49	-1.59	0.57	0.94	2.34	2.30	0.72	1.58	2.13	0.31	-1.35	-2.64	-2.50
性別	男性	0.99	2.03	1.02	-0.74	-1.55	0.76	1.26	2.15	2.34	0.56	1.51	2.03	-0.34	-1.32	-2.68	-2.46
	女性	1.60	2.74	1.61	-0.30	-1.63	0.40	0.73	2.43	2.23	0.84	1.65	2.19	0.89	-1.43	-2.62	-2.58
年齢	20代	1.09	1.62	0.48	-1.97	-3.33	0.63	-0.45	1.06	0.33	-1.21	0.52	1.72	0.71	0.87	-0.53	-1.40
	30代	1.18	0.73	0.53	-3.63	-3.80	0.19	-0.92	1.81	0.22	-1.25	-0.10	2.45	0.00	-1.35	-1.94	-3.51
	40代	1.25	1.59	1.14	-1.71	-3.59	0.37	-0.27	2.00	1.79	-0.58	0.87	1.49	-0.22	-0.89	-2.32	-2.75
	50代	0.29	2.01	0.86	-1.25	-2.56	-0.66	0.51	2.01	1.67	0.26	1.21	1.48	-0.36	-2.36	-2.75	-3.03
	60代	1.26	3.41	1.59	0.48	-0.17	0.95	1.94	2.60	2.82	1.69	1.48	2.52	0.85	-2.05	-3.16	-2.68
	70代	2.23	3.31	1.32	1.46	0.25	0.92	1.67	2.66	3.73	2.01	3.10	2.08	0.67	-0.98	-3.33	-2.16
	80歳以上	2.59	3.29	3.61	2.00	0.00	2.20	3.00	3.57	3.82	2.57	4.08	3.25	0.40	-0.40	-3.00	-0.22
居住地区	須坂	1.16	2.44	1.38	0.00	-0.71	0.00	0.63	2.25	2.53	1.08	1.30	2.09	-0.22	-1.25	-2.45	-2.55
	小山	2.44	2.73	1.70	-0.09	-0.85	1.30	2.62	3.22	3.39	1.03	3.11	3.10	0.16	-0.91	-2.29	-1.32
	森上	0.68	1.00	0.80	-0.83	-2.32	1.67	1.61	2.50	2.04	1.07	0.80	2.41	-0.24	-0.71	-4.05	-3.80
	日滝	1.28	2.60	0.80	-0.78	-1.35	0.00	-0.64	2.40	1.30	0.59	2.20	2.24	0.54	-2.82	-2.43	-3.25
	豊洲	1.25	3.23	1.88	-0.14	-2.50	1.05	-0.44	1.47	1.41	0.59	2.19	3.11	0.00	-0.40	-1.33	-2.17
	日野	1.41	1.10	0.61	-2.44	-2.22	-0.20	-1.02	0.89	1.05	-0.22	0.34	1.28	1.18	-1.41	-2.42	-2.90
	井上	0.17	2.93	1.77	-1.06	-2.88	0.28	0.83	2.00	1.82	0.45	2.17	2.12	-0.24	-1.36	-3.89	-2.05
	高甫	1.30	4.46	2.42	-1.25	-2.17	-0.38	2.71	3.13	3.59	-0.15	0.61	2.50	1.50	-2.25	-4.29	-1.67
	旭ヶ丘	0.26	2.31	0.40	0.16	-3.39	0.65	-0.48	0.67	1.43	0.69	0.17	0.16	0.00	-0.83	0.00	-3.75
	仁礼・峠の原	1.43	1.61	1.57	0.34	-1.23	1.18	2.45	3.18	2.69	1.40	1.86	2.19	0.41	-1.05	-3.14	-2.11
	豊丘	2.50	3.33	0.50	-0.48	-0.68	1.33	1.67	3.10	3.50	0.48	2.11	1.32	0.00	-2.35	-2.94	-2.65
家族構成別	単身世帯	0.00	4.26	2.71	0.36	0.54	0.31	1.43	2.40	2.40	2.08	2.40	2.04	2.14	-0.31	-1.15	-2.86
	夫婦世帯	1.51	2.96	1.58	0.49	-0.76	0.94	1.34	2.23	2.69	1.09	2.29	2.18	1.01	-1.77	-2.46	-2.47
	2世代世帯	1.18	2.00	1.08	-1.31	-2.17	0.94	0.87	2.17	1.89	0.07	1.10	1.92	0.14	-1.37	-2.73	-2.64
	3世代世帯	1.85	2.22	0.80	-0.32	-2.11	-1.11	0.26	2.84	2.50	1.12	1.35	2.53	-0.93	-2.09	-3.33	-2.29
	上記以外	1.50	2.92	3.67	1.00	-1.54	1.67	1.43	3.67	3.57	3.85	3.08	2.92	3.13	5.00	0.00	-0.63
以下 高校生	いる	1.64	1.90	0.57	-2.09	-3.10	-0.19	-0.78	2.04	1.92	0.08	0.93	1.98	-0.44	-1.29	-2.13	-2.10
	いない	1.15	2.64	1.61	0.06	-1.11	0.88	1.63	2.44	2.37	0.96	1.81	2.16	0.61	-1.34	-2.84	-2.69
6 以上 5歳	いる	1.75	2.88	1.54	0.44	-0.92	0.68	1.67	2.62	2.83	1.37	2.03	2.39	0.29	-1.25	-3.33	-2.54
	いない	0.75	1.89	1.04	-1.79	-2.51	0.38	0.12	1.97	1.56	-0.07	0.99	1.81	0.35	-1.50	-1.88	-2.45
居住年数	1年未満	1.25	5.00	3.33	-6.25	-3.33	-3.33	2.50	-2.50	-5.00	-6.67	-1.67	0.00	0.00	2.50	2.50	0.00
	1～5年	1.11	1.56	1.33	-3.13	-3.85	0.71	0.31	-0.33	0.31	0.00	-1.11	0.59	-1.88	0.63	-1.43	-3.33
	6～10年	0.77	1.00	1.67	-2.19	-5.00	1.00	-1.94	1.00	-1.33	-2.65	-0.63	1.25	0.71	-1.50	-2.78	-3.93
	11～15年	1.19	0.43	-0.63	-3.04	-2.71	0.67	-2.59	2.39	1.09	-0.38	1.14	2.08	0.59	-0.71	-1.79	-2.94
	16～20年	0.94	3.00	3.16	0.00	-4.21	0.00	1.50	1.94	1.90	1.32	1.18	2.50	0.83	1.11	-2.86	-1.67
	21～30年	0.78	1.19	0.77	-1.23	-3.68	0.38	0.61	2.25	1.64	-0.59	0.70	1.32	0.24	-1.16	-1.19	-2.23
	31～40年	1.34	2.17	1.15	-0.71	-1.60	0.56	0.71	2.09	1.95	0.21	1.47	2.22	0.57	-0.48	-2.50	-2.54
	41～50年	1.45	2.75	1.13	0.85	-0.07	1.81	1.07	2.80	3.59	1.49	2.95	2.43	0.49	-2.08	-3.41	-2.35
	51年以上	1.61	3.46	1.81	0.42	-0.25	0.31	2.12	2.92	3.20	2.07	2.29	2.53	0.25	-2.04	-3.44	-2.48
出身地	生まれた時から	0.95	2.18	1.01	-0.77	-2.07	0.29	0.95	2.42	2.31	0.75	1.42	2.07	-0.09	-1.76	-2.85	-2.80
	県内から転入	1.80	2.79	1.69	-0.05	-0.74	1.09	0.99	2.40	2.61	1.04	1.89	2.31	0.92	-0.27	-2.00	-1.65
	県外から転入	1.35	2.23	1.46	-0.88	-2.50	0.23	0.73	1.60	0.96	-0.65	1.38	1.81	0.33	-3.04	-4.13	-4.31

属性別満足度

全体と比較し、 は 0.5 ポイント以上高く、 は 0.5 ポイント以上低い

	項目	33 新産業 の促進 ・企業 誘致	34 の商業 再生と 活性化 への 支援	35 支新 援サ ービ ス産 業へ の 支援	36 の観光 ・レ ジャ ー産 業 の 振興	37 就労 支援	38 勤労 者福 祉の 増進	39 会人 の権 が尊 重さ れる 社 会	40 実現 男女 共同 参画 社会 の 実現	41 く画 多様 な活 動主 体の 参 加 の 推 進	42 提供 （情 報通 信技 術） を 活 用 し た 情 報	43 際他 都市 との 交流 ・国 際交 流の 推 進	44 広聴 ・広 報の 充 実	45 化市 民と 行政 の連 携強 化	46 織効 ・率 的制 度で 効果 的な 組 織	47 た戦 略的 運 営視 点に 立つ	48 指（ 日越 した 一都 市の まち を創 出
全体	満足度	-3.05	-5.80	-3.67	-3.54	-5.13	-3.23	1.06	0.46	0.22	-0.32	0.07	0.09	-0.55	-0.97	-1.44	-1.60
性別	男性	-3.02	-5.46	-3.45	-3.31	-4.65	-2.82	0.88	0.63	0.13	-1.12	-0.56	-0.33	-0.66	-1.24	-1.46	-1.89
	女性	-3.14	-6.13	-3.92	-3.76	-5.57	-3.61	1.19	0.30	0.24	0.29	0.63	0.50	-0.51	-0.80	-1.46	-1.40
年齢	20代	-1.96	-7.17	-3.41	-3.50	-3.71	-3.17	0.00	0.56	0.00	0.00	-1.30	-0.36	-2.29	-1.58	-2.89	-1.80
	30代	-3.59	-7.21	-5.16	-5.53	-6.55	-5.23	-0.45	-0.85	-0.20	-1.22	-0.87	-2.37	-1.55	-3.23	-3.61	-3.72
	40代	-3.44	-7.29	-4.88	-3.87	-4.84	-2.54	0.54	0.00	0.24	-0.58	-0.35	-1.11	-0.77	-1.30	-1.86	-2.50
	50代	-3.91	-6.06	-4.43	-3.75	-6.11	-3.99	0.72	0.55	-0.20	-0.92	-0.26	-0.90	-1.75	-1.55	-1.43	-2.19
	60代	-3.35	-4.96	-3.24	-3.29	-5.00	-2.84	1.25	0.33	0.16	0.00	0.38	0.76	-0.11	-0.83	-1.26	-1.32
	70代	-1.96	-5.63	-2.63	-3.25	-4.90	-3.60	1.79	1.23	0.37	0.00	0.85	1.08	0.26	-0.60	-1.07	-0.86
	80歳以上	-1.30	-2.43	-1.46	-0.56	-3.57	-0.19	3.48	1.82	1.48	1.09	0.74	2.78	1.85	2.26	1.41	1.88
居住地区	須坂	-2.31	-6.17	-3.86	-3.71	-4.92	-3.77	1.15	1.43	0.00	-0.33	-0.70	-0.38	-0.52	-0.96	-2.03	-1.25
	小山	-1.67	-6.21	-3.61	-3.09	-5.00	-3.37	1.70	0.21	1.03	-0.14	2.08	1.28	0.86	0.00	0.12	-1.33
	森上	-4.60	-6.90	-3.70	-3.50	-5.58	-2.31	0.77	-0.56	-0.60	-0.75	-0.75	-0.33	-2.00	-1.54	-2.20	-2.59
	日滝	-2.37	-6.06	-4.57	-4.78	-5.33	-2.87	0.93	-0.73	0.16	-1.18	-1.09	-0.43	-0.37	-2.05	-2.56	-2.50
	豊洲	-2.95	-5.14	-3.50	-3.87	-5.69	-3.52	1.09	0.83	1.05	0.42	2.11	-0.74	-1.96	-1.59	-1.90	-1.35
	日野	-4.35	-5.45	-2.33	-3.29	-4.32	-3.03	1.41	0.63	-0.16	-1.00	-0.81	0.23	-0.61	-1.76	-1.91	-2.03
	井上	-1.05	-4.83	-2.37	-2.40	-3.48	-1.35	-0.52	0.18	0.48	-0.50	0.00	0.18	0.71	1.15	0.00	-0.19
	高甫	-4.76	-5.00	-2.89	-1.54	-5.60	-3.86	1.73	0.00	0.91	-0.56	0.71	1.17	-1.25	-1.04	-0.23	-0.54
	旭ヶ丘	-3.10	-6.50	-5.26	-5.58	-6.59	-4.79	-0.17	-1.11	-0.45	-0.23	-0.65	-1.00	0.68	-1.25	-0.22	0.22
	仁礼・峠の原	-3.72	-5.57	-3.82	-2.84	-5.31	-3.00	1.84	1.96	0.45	1.22	0.26	0.31	-0.80	-0.69	-1.98	-2.40
	豊丘	-4.38	-6.32	-4.64	-4.75	-5.00	-4.72	0.00	1.11	-0.33	-2.00	-0.38	0.00	-1.00	-1.67	-2.67	-4.12
家族構成別	単身世帯	-1.79	-4.62	-3.33	-2.62	-5.24	-3.33	1.14	1.96	-0.36	1.67	-2.50	1.19	0.53	-1.39	0.00	-0.68
	夫婦世帯	-3.27	-4.87	-3.77	-3.30	-5.27	-3.09	1.62	0.21	0.81	-0.63	0.30	0.50	-0.89	-1.00	-0.98	-1.05
	2世代世帯	-3.45	-6.47	-4.13	-3.86	-5.31	-3.53	0.70	0.25	-0.10	-0.65	0.03	0.03	-0.62	-1.09	-1.76	-1.66
	3世代世帯	-2.40	-5.69	-2.93	-4.00	-4.61	-2.91	1.04	0.55	-0.32	-0.28	-0.20	-0.79	-0.48	-1.30	-2.17	-3.11
	上記以外	0.00	-5.36	-2.73	-1.33	-5.00	-2.00	2.50	2.69	3.50	2.00	2.27	0.00	0.91	3.46	1.15	2.27
高校生以下	いる	-2.61	-6.24	-3.69	-3.79	-5.13	-3.52	0.43	-0.38	-0.19	-0.48	-0.24	-0.54	-0.23	-1.74	-1.98	-2.32
	いない	-3.19	-5.64	-3.66	-3.40	-5.13	-3.08	1.27	0.80	0.36	-0.24	0.21	0.32	-0.61	-0.70	-1.24	-1.32
65歳以上	いる	-3.04	-5.16	-3.12	-3.26	-4.85	-2.81	1.57	0.95	0.54	-0.12	0.36	0.45	-0.08	-0.66	-1.31	-1.30
	いない	-3.03	-6.65	-4.39	-3.89	-5.53	-3.74	0.37	-0.08	-0.19	-0.56	-0.23	-0.43	-1.07	-1.39	-1.63	-2.02
居住年数	1年未満	-1.67	-8.33	-2.50	-3.75	-1.67	0.00	-3.33	0.00	0.00	-1.67	-5.00	1.25	-7.50	-5.00	-5.00	-2.50
	1～5年	-3.33	-7.65	-6.25	-5.88	-7.50	-5.00	0.00	-1.33	0.00	-2.50	-1.43	-1.54	-1.36	-3.89	-3.50	-3.21
	6～10年	-3.33	-6.11	-2.27	-3.24	-5.63	-2.86	1.00	-0.29	0.00	-1.00	-0.83	-1.33	-0.67	-3.13	-2.00	-2.33
	11～15年	-3.24	-7.08	-5.63	-5.50	-6.19	-5.25	-0.50	-1.90	-1.54	-3.00	-1.56	-2.00	-2.63	-3.33	-3.89	-3.61
	16～20年	-2.14	-5.79	-4.62	-3.53	-5.29	-4.29	1.18	-1.43	0.00	1.00	0.00	0.31	0.00	-1.15	-1.67	-1.67
	21～30年	-2.80	-6.40	-4.06	-4.35	-4.84	-3.44	0.80	0.79	-0.12	-0.63	-0.23	-1.21	-1.42	-1.35	-2.13	-2.54
	31～40年	-3.53	-6.17	-4.18	-3.54	-5.31	-3.38	0.26	0.38	0.00	0.15	-0.27	-0.33	-0.63	-1.10	-1.07	-2.32
	41～50年	-2.61	-5.39	-2.30	-2.45	-4.30	-2.64	1.95	1.19	0.98	-0.54	0.98	0.08	-0.47	-0.34	-1.23	-0.75
	51年以上	-3.09	-5.00	-3.23	-3.10	-5.16	-2.80	1.69	0.94	0.46	0.36	0.47	1.41	0.27	0.00	-0.70	-0.47
出身地	生まれた時から	-3.15	-5.80	-3.70	-3.36	-4.83	-3.10	0.75	0.50	0.00	-0.18	-0.06	0.32	-0.23	-0.72	-1.57	-1.44
	県内から転入	-2.69	-5.70	-3.40	-3.46	-5.04	-3.25	1.71	0.61	0.61	-0.53	0.52	-0.12	-0.88	-1.12	-1.10	-1.56
	県外から転入	-3.97	-6.37	-4.53	-4.78	-7.05	-4.31	0.14	-0.23	0.00	-0.45	-1.00	-0.48	-0.68	-1.67	-2.00	-2.50

②各施策の重要度

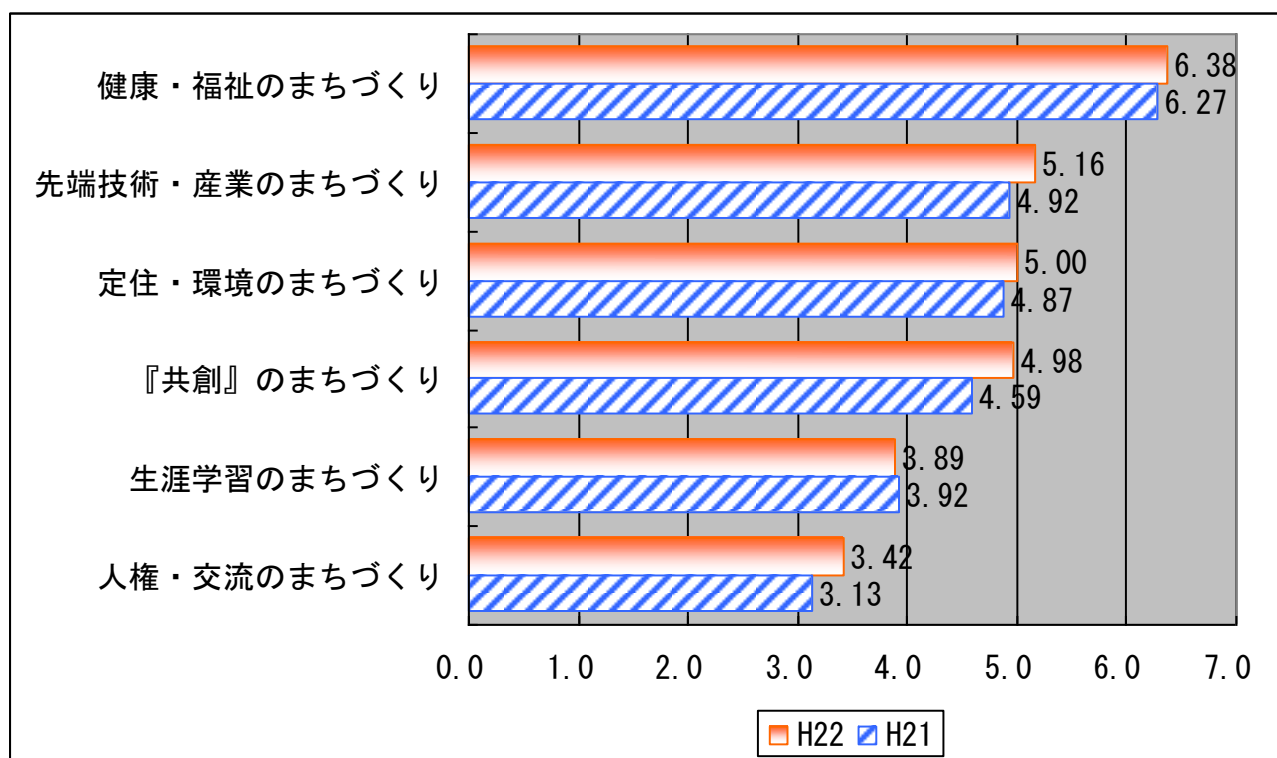
項目	選択肢						重要度	【前回】 平成 21 年度調査
	1	2	3	4	5			
	重要である	どちらかといえば重要である	普通	どちらかといえば重要でない	重要ではない	無回答		
少子高齢社会に対応し安心して暮らせる 健康・福祉のまちづくり【1～7】							6.38	6.27
1 健康づくりの支援	177	212	82	3	0	70	5.94	5.78
2 安心して医療が受けられる体制の整備	271	134	61	0	0	77	7.24	7.50
3 みんなで支えあう福祉のまちづくり	223	209	74	1	2	35	6.39	6.19
4 子育て環境の整備	239	173	80	0	0	52	6.62	6.61
5 高齢者福祉の推進	271	172	58	1	1	41	7.07	6.94
6 障がい者保健福祉の推進	229	185	78	1	4	47	6.38	6.07
7 生活困窮者への支援	161	178	137	8	2	58	5.02	4.82
須坂文化を創造し心豊かな人をはぐむ 生涯学習のまちづくり【8～12】							3.89	3.92
8 生涯学習の支援	60	145	233	23	11	72	2.33	2.68
9 市民文化活動及び伝統文化の保存・継承への支援	72	162	212	25	8	65	2.77	3.04
10 市民スポーツ活動への支援	65	149	238	21	11	60	2.44	2.55
11 学校教育の充実	245	142	86	2	2	67	6.56	5.98
12 明るい家庭づくりと児童・青少年健全育成の推進	171	183	111	6	5	68	5.35	5.33
安全で快適に暮らせる 定住・環境のまちづくり【13～28】							5.00	4.87
13 景観の保存・育成	110	195	179	14	5	41	3.89	4.01
14 自然環境の保全	110	181	190	9	4	50	3.89	3.97
15 持続的発展可能な土地利用の推進	109	184	183	10	4	54	3.92	3.85
16 水資源の確保と安定的な供給	337	100	63	0	1	43	7.70	7.35
17 環境を守る活動の推進	158	178	146	4	4	54	4.92	5.10
18 循環型社会の構築 (市民や事業者が、ごみの3R※を推進している) ※リデュース＝減量・発生抑制、リユース＝再使用、リサイクル＝再生利用・再資源化	239	168	84	0	3	50	6.48	6.41
19 歴史的資産を活かしたまちづくりの推進	95	171	199	15	13	51	3.25	3.16
20 快適で安全なまちづくり	190	166	125	8	4	51	5.38	5.14
21 移動制約者※への生活支援 ※高齢者や障がい者など歩行に困難を伴う人や、徒歩や自転車での移動が困難な状況の時、移動手段を確保できない人	187	180	123	2	2	50	5.55	5.40
22 公営住宅の適正供給	88	128	238	15	11	64	2.78	3.02
23 公園・緑地の整備	117	187	189	4	1	46	4.17	4.39
24 環境衛生施設の整備	155	195	142	2	0	50	5.09	4.76
25 防災対策・消防力の強化	269	141	84	2	1	47	6.79	5.86
26 交通安全対策の推進	206	167	121	1	1	48	5.81	5.47
27 地域安全対策の推進	168	163	163	2	0	48	5.01	6.11
28 安心・安全な消費生活の確保	185	165	141	3	1	49	5.35	4.00

項目	選択肢						重要度	【前回】 平成 21 年度調査
	1	2	3	4	5			
	重要である	どちらかといえば重要である	普通	どちらかといえば重要でない	重要ではない	無回答		
地域の資源を活かした 先端技術・産業のまちづくり【29～38】							5.16	4.92
29 高付加価値農業・ブランド化の推進	140	164	165	4	4	67	4.53	4.39
30 農業振興のための基盤整備	157	168	151	1	4	63	4.92	4.60
31 森林の持つ機能保全・育成	129	157	179	6	5	68	4.19	4.09
32 既存産業の高度化・高付加価値化の促進	162	162	140	4	3	73	5.05	4.95
33 新産業創出・企業誘致の促進	177	167	121	7	6	66	5.25	5.20
34 商業再生と活性化への支援	177	208	101	7	2	49	5.57	5.27
35 新サービス産業への支援	123	198	152	7	6	58	4.37	4.16
36 観光・レジャー産業の振興	157	186	136	9	3	53	4.94	4.56
37 就労支援	263	131	92	2	2	54	6.64	6.24
38 勤労者福祉の増進	222	159	106	2	0	55	6.15	5.76
すべての人のしあわせを守る 人権・交流のまちづくり【39～43】							3.42	3.13
39 人権が尊重される社会の実現	187	144	149	4	4	56	5.18	4.96
40 男女共同参画社会の実現	128	154	195	7	5	55	4.02	3.96
41 多様な活動主体の参画による地域社会づくりの推進	69	143	252	8	7	65	2.70	2.61
42 I T（情報通信技術）を活用した情報提供	85	142	225	16	10	66	2.89	2.40
43 他都市との交流・国際交流の推進	76	123	247	26	13	59	2.30	1.71
市民とともに考え歩む 『共創』のまちづくり【44～48】							4.98	4.59
44 広聴・広報の充実	158	191	139	2	0	54	5.15	4.74
45 市民と行政の連携強化	137	170	171	7	1	58	4.48	4.09
46 効率的で効果的な組織・体制づくり	157	146	174	4	3	60	4.65	4.05
47 戦略的な視点に立った財政運営	194	150	132	5	1	62	5.51	5.27
48 卓越した都市の創出（日本一のまちを目指して）	187	144	142	9	6	56	5.09	4.77

- ✓ 重要度（ポイント）以外の数値はそれぞれ選択した回答数を示す。網掛けは各項目の最も多い回答選択肢である。
- ✓ 全体的に「重要である」または「どちらかといえば重要である」と回答するものが多く、「重要ではない」または「どちらかといえば重要ではない」とする回答は少ない。
- ✓ 「少子高齢社会に対応し安心して暮らせる健康・福祉のまちづくり」では「重要である」「どちらかといえば重要である」とする回答者が多い。

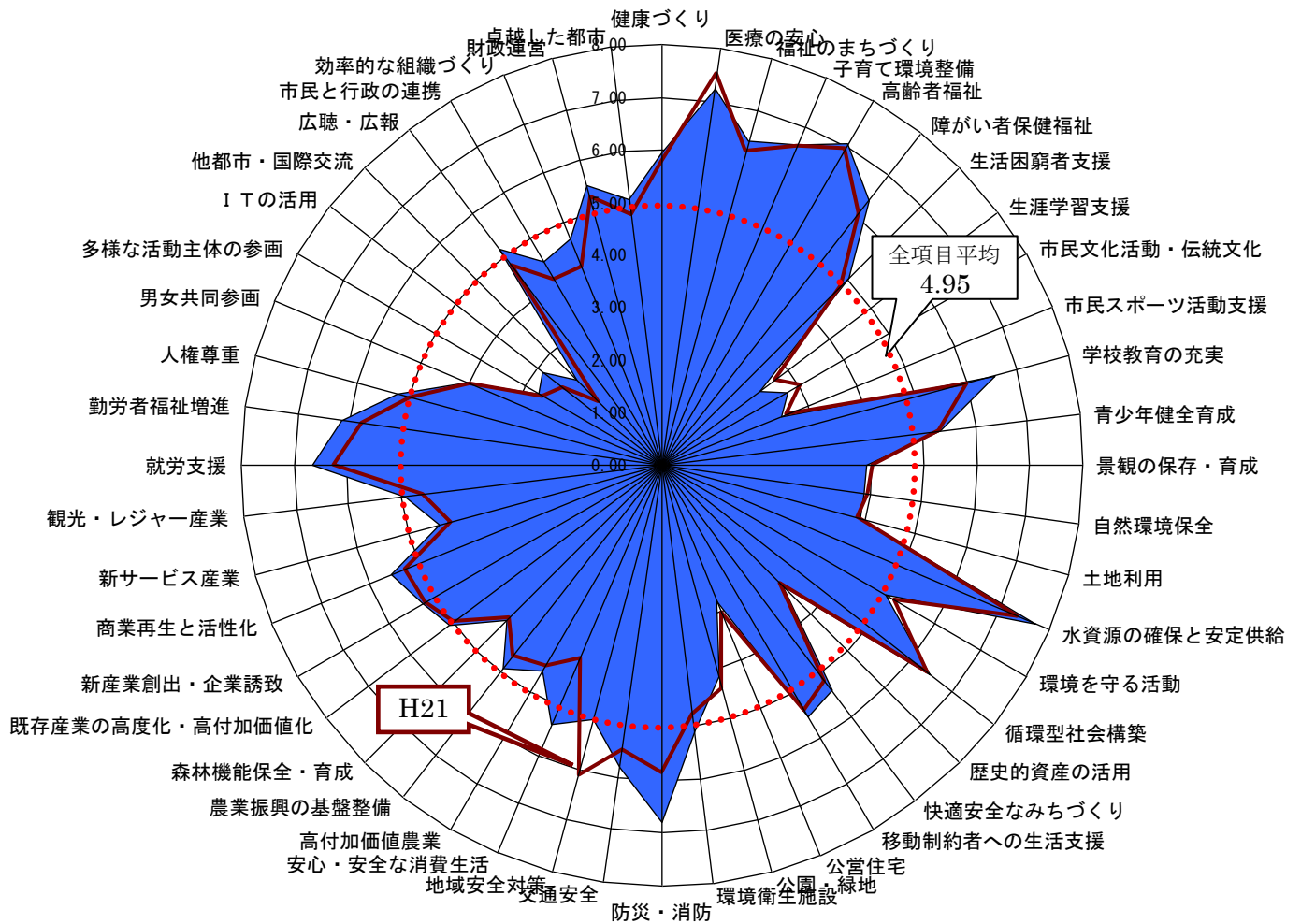
施策体系別の重要度

施策体系	H22	H21
少子高齢社会に対応し安心して暮らせる健康・福祉のまちづくり	6.38	6.27
地域の資源を活かした先端技術・産業のまちづくり	5.16	4.92
安全で快適に暮らせる定住・環境のまちづくり	5.00	4.87
市民とともに考え歩む『共創』のまちづくり	4.98	4.59
須坂文化を創造し心豊かな人をはぐくむ生涯学習のまちづくり	3.89	3.92
すべての人のしあわせを守る人権・交流のまちづくり	3.42	3.13



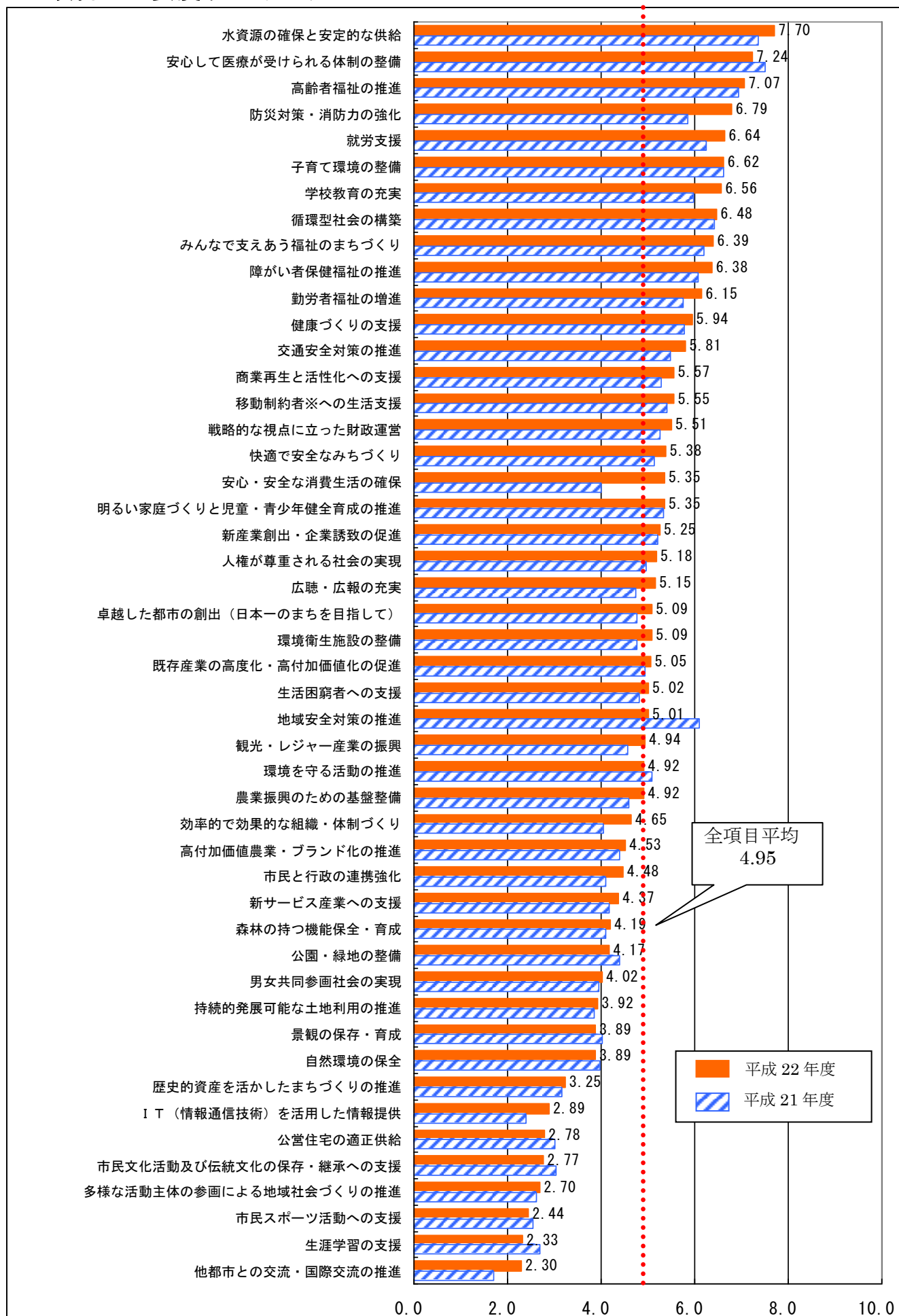
- ✓ 各施策体系別の平均重要度を示す。
- ✓ 6.38ポイントから3.42ポイントに分布する。
- ✓ 「少子高齢社会に対応し安心して暮らせる健康・福祉のまちづくり」の重要度が最も高く突出している。一方、「すべての人のしあわせを守る人権・交流のまちづくり」の重要度は低い。
- ✓ 概ね前回調査と同程度の重要度を示し、順位も同じである。

《重要度レーダーチャート》



- ✓ 各施策の重要度（レーダーチャート）を示す。円の中心より外側にあるほど重要度が高い。
- ✓ 全項目の平均重要度は4.95。
- ✓ 各項目についてH21（前回調査）の満足度も示す。

全項目の重要度ランキング



重要度上位 10 項目（48 項目中 1 位～10 位）

順位	項目	重要度	（前回順位）
1	水資源の確保と安定的な供給	7.70	2 ↗
2	安心して医療が受けられる体制の整備	7.24	1 ↘
3	高齢者福祉の推進	7.07	3
4	防災対策・消防力の強化	6.79	11 ↗
5	就労支援	6.64	6 ↗
6	子育て環境の整備	6.62	4 ↘
7	学校教育の充実	6.56	10 ↗
8	循環型社会の構築	6.48	5 ↘
9	みんなで支えあう福祉のまちづくり	6.39	7 ↘
10	障がい者保健福祉の推進	6.38	9 ↘

重要度下位 10 項目（48 項目中 39 位～48 位）

順位	項目	重要度	（前回順位）
39	景観の保存・育成	3.89	36 ↘
40	自然環境の保全	3.89	38 ↘
41	歴史的資産を活かしたまちづくりの推進	3.25	41
42	I T（情報通信技術）を活用した情報提供	2.89	47 ↗
43	公営住宅の適正供給	2.78	43
44	市民文化活動及び伝統文化の保存・継承への支援	2.77	42 ↘
45	多様な活動主体の参画による地域社会づくりの推進	2.70	45
46	市民スポーツ活動への支援	2.44	46
47	生涯学習の支援	2.33	44 ↘
48	他都市との交流・国際交流の推進	2.30	48

- ✓ 重要度の上位10項目及び下位10項目を示す。また施策別に前回順位との上下を示す。
- ✓ 全48の事業項目の重要度は7.70ポイント～2.30ポイントの間に分散している。（前回調査は7.24ポイントから2.30ポイント）
- ✓ 全48項目の重要度を平均すると4.95ポイントで、21項目がこの平均値以下である。
- ✓ 「水資源の確保と安定的な供給」の重要度が最も高く、「安心して医療が受けられる体制の整備」「高齢者福祉の推進」と続く。
- ✓ 「他都市との交流・国際交流の推進」が前回調査に引き続き全項目の中で重要度が最も低い。続いて「生涯学習の支援」、「市民スポーツ活動への支援」の重要度が低い結果となっている。
- ✓ 上位項目、下位項目共に前回調査と概ね同じ施策があげられている。
- ✓ 「防災対策・消防力の強化」は前回調査に比べ大きく、重要度が上がっている。本調査直前に発生した「東日本大震災」の影響が考えられる。

次ページより属性別の重要度を示す。

属性別重要度

全体と比較し、は0.5ポイント以上高く、は0.5ポイント以上低い

		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16
	項目	健康づくりの支援	安心して生活する体制の整備が受けられる	社員のみんなで支えあう福祉のまちづくり	子育て環境の整備	高齢者福祉の推進	障がい者保健福祉の推進	生活困窮者への支援	生涯学習の支援	市民文化活動・継承・文化の保存・継承伝への文化支援	市民スポーツ活動への支援	学校教育の充実	児童・青少年の健全育成の推進	景観の保存・育成	自然環境の保全	地利的・人的な発展可能な土	水資源の確保と安定供給
全体	重要度	5.94	7.25	6.39	6.62	7.07	6.38	5.02	2.33	2.77	2.44	6.56	5.35	3.89	3.89	3.92	7.70
性別	男性	6.03	7.52	6.08	6.54	6.65	5.82	4.67	2.10	2.48	2.36	6.29	5.40	3.44	3.82	3.68	7.64
	女性	5.86	7.04	6.59	6.65	7.38	6.80	5.24	2.49	2.97	2.45	6.78	5.27	4.23	3.90	4.03	7.75
年齢	20代	5.50	7.26	6.29	6.57	6.14	6.00	4.26	2.71	2.57	2.86	6.03	4.24	4.57	3.14	4.00	6.43
	30代	5.82	8.47	7.22	7.78	6.76	6.67	5.56	1.39	3.43	1.48	7.36	6.02	3.33	4.17	4.53	8.33
	40代	5.53	7.47	6.60	6.82	7.50	6.69	5.13	1.45	2.17	2.04	7.11	6.20	3.75	4.47	4.20	7.50
	50代	6.01	7.59	6.24	6.24	6.82	6.45	4.64	1.81	2.23	1.41	5.76	4.82	2.76	2.73	3.35	7.44
	60代	6.04	7.20	5.80	6.42	7.19	5.70	4.48	2.67	2.64	3.13	6.93	5.29	4.21	4.01	3.45	7.91
	70代	6.47	6.62	6.79	6.47	7.63	7.35	5.60	3.14	3.29	2.57	6.03	5.27	4.33	4.29	3.86	7.87
	80歳以上	5.63	5.68	6.28	6.35	6.46	5.68	6.14	3.64	3.48	3.71	6.25	5.00	4.53	4.21	5.14	7.84
居住地区	須坂	5.84	7.01	6.20	5.99	6.39	6.33	4.44	2.14	2.31	2.72	5.86	4.35	4.24	3.55	3.84	7.44
	小山	6.72	7.16	6.97	7.19	8.05	7.20	5.96	2.50	3.25	2.84	7.02	6.55	3.85	3.85	4.15	8.08
	森上	5.69	7.50	6.72	7.19	6.72	5.78	4.53	2.17	3.23	1.94	6.61	6.13	3.50	4.68	4.68	6.94
	日滝	5.00	6.70	5.86	6.36	6.93	5.28	4.44	2.00	2.45	2.31	5.94	4.81	3.39	3.98	3.36	7.32
	豊洲	5.81	6.91	6.11	6.62	6.86	6.89	4.56	2.73	2.29	2.79	7.06	5.44	4.31	4.29	3.86	7.78
	日野	5.87	8.00	5.88	6.33	6.40	5.53	4.58	2.55	3.37	2.45	6.84	5.10	3.44	3.27	3.44	7.04
	井上	5.94	7.19	6.53	6.25	7.64	6.25	5.00	1.86	1.76	2.14	6.76	5.00	3.47	3.82	4.00	8.00
	高甫	6.45	7.12	7.22	8.09	7.86	6.86	7.14	3.18	3.94	3.00	7.35	6.82	4.56	3.97	4.68	8.33
	旭ヶ丘	6.09	7.90	6.88	6.97	7.50	7.58	5.32	2.58	3.00	2.58	7.74	6.45	4.38	3.87	3.75	8.13
	仁礼・峠の原	6.13	7.26	6.21	6.45	6.93	6.49	4.91	2.64	2.36	1.88	6.00	4.63	4.07	4.21	4.46	8.02
	豊丘	6.00	7.62	6.30	6.36	6.96	5.95	4.52	0.00	2.62	0.95	6.00	4.25	2.73	3.33	2.95	8.18
家族構成別	単身世帯	6.00	7.07	7.26	6.83	6.94	6.94	5.34	3.85	4.11	3.57	6.85	6.30	5.00	5.00	4.31	7.74
	夫婦世帯	6.36	7.34	5.98	6.19	7.01	6.05	5.00	2.39	2.90	2.25	5.93	4.75	3.56	3.60	3.63	7.46
	2世代世帯	5.71	7.26	6.53	6.81	7.16	6.40	5.10	1.99	2.31	2.18	6.79	5.43	3.93	3.95	3.89	7.66
	3世代世帯	5.83	7.37	6.69	6.95	7.10	6.73	4.94	2.37	3.12	2.72	6.96	5.71	3.61	3.61	4.29	8.11
	上記以外	6.33	5.38	4.29	5.00	6.79	5.36	3.46	3.93	3.93	3.33	5.00	4.62	4.29	3.85	2.69	7.86
以下 高校生	いる	6.02	7.56	7.11	7.39	6.82	6.67	5.36	2.45	2.94	2.66	7.57	5.99	3.50	4.17	4.26	7.88
	いない	5.86	7.14	6.12	6.29	7.14	6.23	4.88	2.27	2.66	2.32	6.17	5.09	4.02	3.75	3.78	7.60
65歳 以上	いる	6.27	7.03	6.25	6.63	7.33	6.27	5.06	2.56	2.87	2.70	6.45	5.37	4.04	3.98	4.18	7.81
	いない	5.51	7.50	6.53	6.59	6.74	6.43	4.98	2.05	2.58	2.08	6.67	5.28	3.67	3.74	3.58	7.51
居住年数	1年未満	3.75	8.75	4.00	5.00	5.00	7.00	5.00	4.00	3.00	4.00	3.75	2.50	6.00	6.00	6.00	6.00
	1～5年	5.83	8.06	7.11	7.63	8.68	7.63	6.05	1.58	1.84	1.05	8.06	5.79	3.68	2.89	4.21	8.42
	6～10年	5.83	7.65	7.50	8.89	6.39	6.39	5.28	1.67	3.33	1.11	6.94	4.17	3.33	3.89	4.17	6.39
	11～15年	5.71	7.41	6.38	6.79	6.90	6.96	4.82	2.14	2.50	2.14	5.71	5.36	3.21	3.21	3.39	6.96
	16～20年	5.71	7.25	5.91	6.59	7.73	7.05	7.05	2.62	1.19	2.73	5.91	4.76	3.86	3.81	4.32	6.82
	21～30年	5.52	7.03	5.69	6.44	6.04	5.99	4.44	1.86	2.25	1.76	6.20	4.79	3.93	3.64	4.01	7.61
	31～40年	5.77	7.53	6.32	6.49	7.19	6.19	4.56	2.35	2.47	2.65	6.65	5.50	3.56	3.79	3.47	7.82
	41～50年	5.69	7.19	6.64	6.38	7.71	6.88	5.66	1.77	2.72	2.27	6.79	5.91	4.47	4.32	3.58	8.11
	51年以上	6.52	6.93	6.54	6.53	7.10	6.11	4.90	2.88	3.47	2.89	6.68	5.51	3.96	4.05	4.09	7.87
出身地	生まれた時から	6.06	7.22	6.39	6.59	6.89	6.13	4.94	2.15	3.15	2.46	6.71	5.63	3.67	3.91	3.99	7.68
	県内から転入	5.70	7.19	6.24	6.57	7.20	6.66	5.14	2.57	2.45	2.47	6.35	4.94	4.22	3.89	3.66	7.79
	県外から転入	6.39	7.45	6.79	7.00	7.45	6.57	4.91	2.21	1.89	1.94	6.48	5.37	3.66	3.70	4.54	7.59

属性別重要度

全体と比較し、 は 0.5 ポイント以上高く、 は 0.5 ポイント以上低い

	項目	17 環境を守る活動の推進	18 循環型社会の構築	19 歴史的資産を活かし進め	20 快適で安全なまちづくり	21 移動制約者への生活支援	22 公営住宅の適正供給	23 公園・緑地の整備	24 環境衛生施設の整備	25 防災対策・消防力の強化	26 交通安全対策の推進	27 地域安全対策の推進	28 安心・安全な消費生活	29 高付加価値農業・ブ	30 農業振興のための整備	31 森林の持つ機能保全	32 高付加価値の促進
全体	重要度	4.92	6.48	3.25	5.38	5.55	2.78	4.17	5.09	6.79	5.81	5.01	5.35	4.53	4.92	4.19	5.05
性別	男性	4.79	6.24	2.81	4.98	5.05	2.61	3.69	4.86	6.64	5.59	4.82	4.82	4.23	4.65	4.28	5.12
	女性	5.00	6.65	3.53	5.64	5.92	2.86	4.54	5.26	6.93	5.98	5.15	5.76	4.77	5.17	4.12	5.02
年齢	20代	4.00	6.14	2.94	5.59	6.86	3.43	4.29	4.41	6.86	6.43	4.71	4.86	4.57	5.57	3.71	5.29
	30代	5.47	7.04	3.11	6.11	5.65	2.96	4.81	5.47	6.39	5.46	4.07	5.00	5.56	5.28	4.63	5.28
	40代	4.93	6.64	2.83	5.13	5.53	2.37	3.62	4.40	6.87	5.86	4.67	4.93	4.39	5.00	4.73	5.47
	50代	4.76	6.92	2.41	4.53	4.59	2.47	2.74	4.64	6.96	5.36	4.52	4.82	2.89	3.98	3.02	4.39
	60代	4.80	6.23	3.02	5.04	5.27	2.76	4.30	5.08	6.52	5.39	4.92	5.08	4.56	4.69	4.02	4.84
	70代	5.06	6.39	4.14	5.91	6.44	3.38	5.38	6.60	7.50	7.05	6.54	7.18	5.70	5.74	5.28	5.79
	80歳以上	5.14	5.42	5.14	6.43	5.29	2.03	4.25	4.36	6.03	5.39	5.39	5.39	4.22	4.53	3.71	4.03
居住地区	須坂	4.88	6.60	3.64	5.74	5.74	3.23	4.81	5.44	6.65	6.08	5.13	5.44	4.21	4.54	3.70	4.42
	小山	5.17	7.00	3.25	5.34	4.83	3.16	4.83	5.61	7.59	6.32	5.45	6.40	5.36	5.09	4.91	6.11
	森上	5.32	6.61	2.50	4.17	4.68	2.10	3.75	4.06	6.56	5.31	4.84	5.00	4.35	4.68	5.00	5.81
	日滝	3.91	5.89	3.04	4.07	5.64	2.00	3.27	4.81	6.11	5.09	4.45	3.91	5.00	5.00	3.24	4.06
	豊洲	4.86	5.59	3.19	5.97	5.28	2.57	3.24	4.32	6.08	5.41	4.19	4.72	5.00	5.43	4.57	6.00
	日野	4.80	5.52	2.50	5.73	5.74	2.07	4.18	3.98	6.33	5.82	4.29	5.31	4.38	5.10	3.16	4.47
	井上	3.43	6.67	3.14	5.57	5.59	1.18	4.14	4.57	6.71	5.71	4.86	4.57	3.09	3.68	3.94	4.55
	高甫	5.76	6.29	4.09	6.18	5.86	4.70	5.28	5.57	7.22	6.25	5.97	5.97	4.86	5.43	4.71	5.00
	旭ヶ丘	5.16	6.72	3.39	4.84	6.72	3.75	4.53	5.48	7.19	6.25	6.25	6.56	4.03	5.48	4.35	5.16
	仁礼・峰の原	5.96	7.11	3.53	5.93	5.51	3.09	3.81	5.83	6.92	6.00	5.25	5.92	4.20	4.64	4.91	5.28
	豊丘	4.25	7.38	2.38	4.52	5.45	1.75	2.38	5.95	7.62	4.76	4.29	4.00	5.26	5.71	5.00	5.79
家族構成別	単身世帯	6.07	6.83	4.03	6.13	6.61	3.79	5.00	6.72	7.50	6.55	6.50	7.00	3.75	4.11	4.46	4.46
	夫婦世帯	4.07	5.98	3.52	5.40	5.63	2.71	4.52	5.37	6.94	5.52	5.04	5.49	4.43	5.00	4.06	4.82
	2世代世帯	4.89	6.55	3.03	5.21	5.44	2.82	3.87	4.77	6.62	5.81	4.69	5.02	4.66	5.02	4.24	5.24
	3世代世帯	5.31	6.91	2.91	5.38	5.51	2.15	3.80	5.06	6.75	6.14	5.18	5.36	4.56	4.74	4.48	4.80
	上記以外	6.15	6.43	3.85	6.15	4.29	3.57	5.36	5.00	8.08	5.77	6.25	6.92	3.75	4.17	1.82	5.00
以下 高校生	いる	5.04	6.44	2.94	5.40	5.33	2.87	4.64	5.11	6.91	5.82	5.04	5.43	4.74	4.96	4.63	5.41
	いない	4.83	6.45	3.35	5.33	5.63	2.76	3.95	5.10	6.73	5.77	4.96	5.29	4.45	4.93	4.04	4.93
以上 65歳	いる	5.04	6.20	3.49	5.56	5.61	2.83	4.27	5.15	6.75	5.85	5.31	5.56	4.73	5.10	4.46	5.14
	いない	4.65	6.80	2.94	5.11	5.39	2.73	4.00	5.02	6.80	5.71	4.61	5.09	4.34	4.72	3.93	5.00
居住年数	1年未満	5.00	6.00	3.00	5.00	6.00	0.00	6.00	7.50	7.00	4.00	4.00	4.00	2.00	2.00	2.00	3.00
	1～5年	4.74	7.63	3.95	6.32	5.79	3.42	4.50	6.25	7.75	5.25	4.75	4.25	4.50	6.00	5.50	6.50
	6～10年	4.17	6.39	2.50	5.56	5.28	1.11	4.72	4.12	6.39	5.00	3.61	4.17	4.44	4.72	4.44	4.17
	11～15年	3.93	4.64	2.22	6.07	5.74	2.50	4.81	5.37	6.11	6.48	4.26	6.11	3.46	4.04	3.27	5.00
	16～20年	4.55	6.36	4.55	4.75	5.95	5.68	4.09	6.14	7.50	6.14	5.23	6.59	3.57	5.23	5.23	5.23
	21～30年	4.93	6.69	2.82	5.14	5.85	2.93	3.52	4.30	6.55	6.41	4.72	4.93	4.37	5.07	4.08	4.79
	31～40年	4.80	6.12	2.52	4.95	5.53	2.35	3.85	5.05	6.46	5.38	4.42	4.62	4.24	4.24	3.40	4.95
	41～50年	5.35	7.23	3.36	5.61	5.27	2.50	4.38	5.28	7.47	6.51	5.82	5.83	4.79	5.07	4.21	5.29
	51年以上	5.13	6.53	3.82	5.40	5.45	2.95	4.25	5.13	6.72	5.53	5.49	5.82	5.03	5.24	4.57	5.00
出身地	生まれた時から	4.77	6.53	3.12	5.20	5.54	2.70	3.80	4.60	6.53	5.46	4.92	5.16	4.79	5.02	4.32	5.19
	県内から転入	5.16	6.37	3.44	5.53	5.56	2.98	4.53	5.48	7.00	6.05	5.13	5.48	4.18	4.84	4.02	4.89
	県外から転入	4.64	6.48	3.04	5.54	5.55	2.41	4.45	5.91	7.18	6.45	5.00	5.73	4.33	4.63	4.07	5.00

属性別重要度

全体と比較し、 は 0.5 ポイント以上高く、 は 0.5 ポイント以上低い

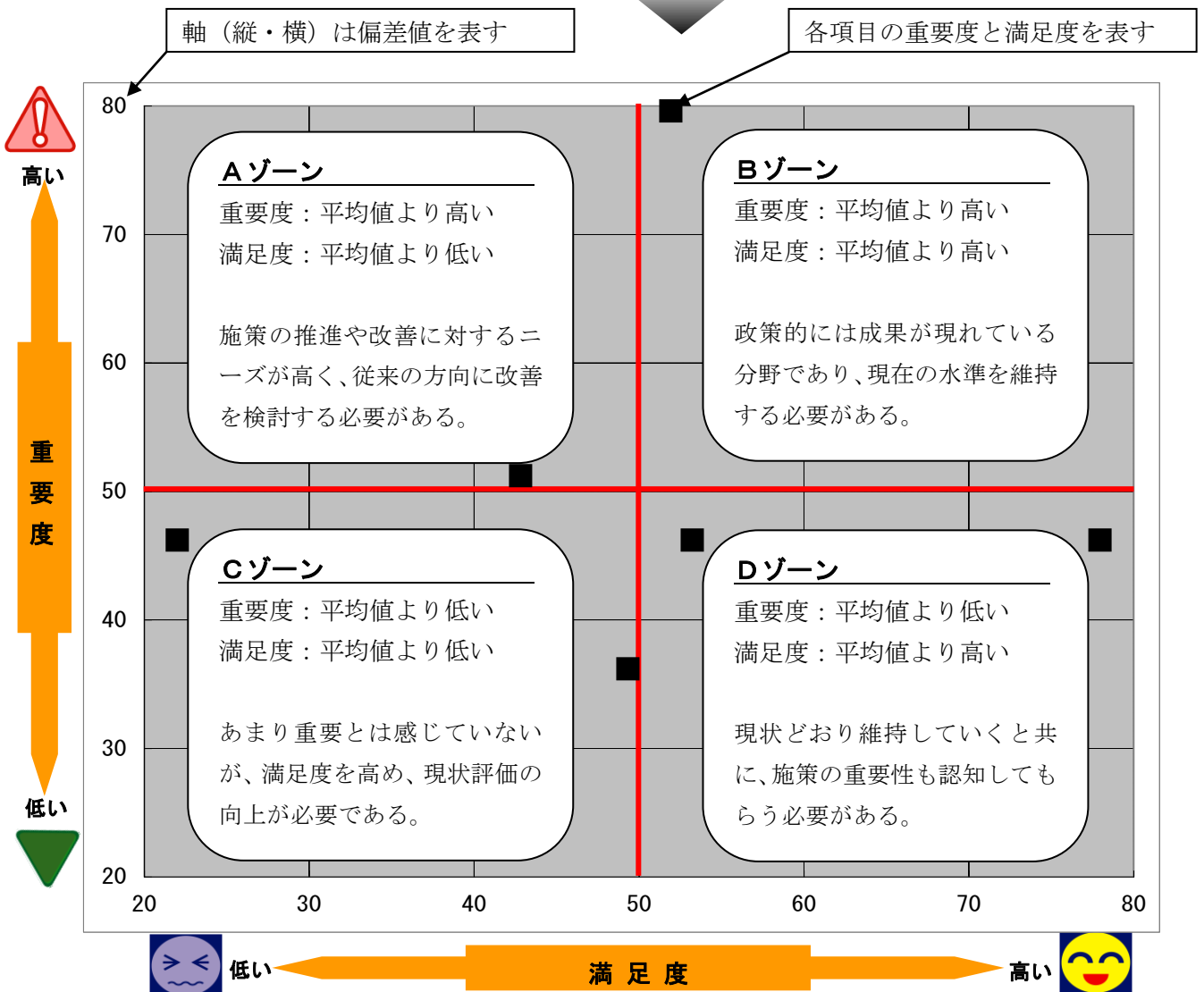
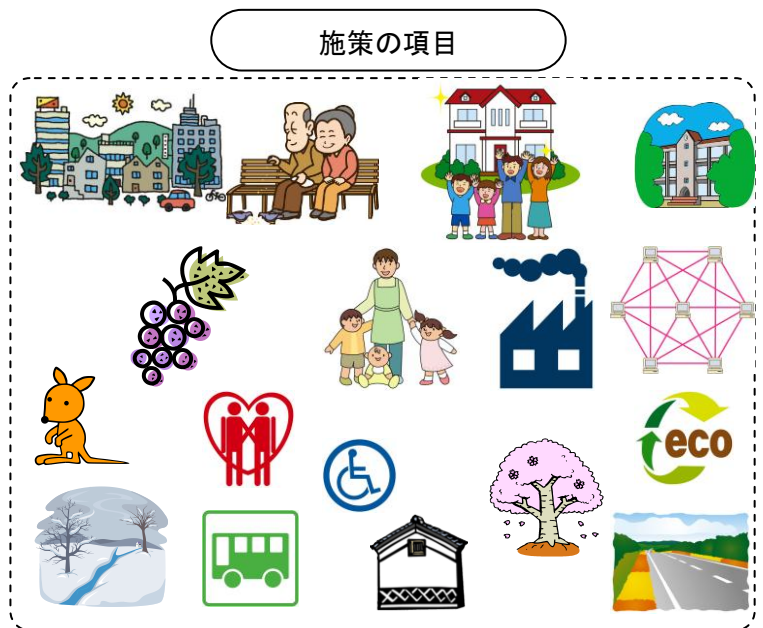
	項目	33 新産業 の促進 ・企業 誘致	34 の商 支業 援再 生と 活 性 化	35 支新 援サ ービ ス産 業へ の	36 の観 光興 ・レ ジャ ー産 業	37 就 労 支 援	38 勤 労 者 福 祉 の 増 進	39 会人 の権 が現 尊重 され る社	40 実男 現女 共同 参画 社会 の	41 く画 多様 な活 動主 体参 の	42 提術 （I T情 報通 信技 報	43 際他 交都 流市 の推 進・ 国	44 広聴 ・広 報の 充 実	45 化市 民と 行政 の連 携強	46 織効 ・率 体的 で効 果的 な組	47 た戦 略政 的運 営に 立 つ	48 指（卓 越した 都市の 創 目 出
全体	重要度	5.25	5.57	4.37	4.94	6.64	6.15	5.18	4.02	2.70	2.89	2.30	5.15	4.48	4.65	5.51	5.09
性別	男性	5.58	5.52	4.15	4.75	6.26	5.70	4.86	3.48	2.65	2.78	1.93	4.98	4.39	4.79	5.62	4.93
	女性	5.00	5.62	4.56	5.11	7.01	6.50	5.42	4.45	2.78	3.00	2.60	5.34	4.54	4.52	5.41	5.23
年齢	20代	5.00	6.14	4.43	5.29	6.71	6.57	4.29	3.43	2.57	4.00	2.86	5.14	3.71	5.00	4.24	5.86
	30代	5.74	6.60	4.62	5.66	7.22	6.30	5.47	3.87	2.08	3.30	1.51	6.32	5.19	5.75	6.32	6.60
	40代	4.93	5.58	4.16	4.87	7.08	6.36	5.13	4.29	2.76	2.50	1.71	4.67	4.08	4.54	5.26	4.21
	50代	5.24	5.29	4.28	4.52	6.85	6.29	4.51	3.18	1.79	2.35	1.35	4.82	4.33	4.15	5.85	4.52
	60代	5.04	4.80	4.40	4.52	6.21	5.77	4.92	3.72	2.80	2.11	1.79	4.56	4.21	4.23	5.28	4.96
	70代	5.75	6.10	4.46	4.94	6.36	6.28	6.05	5.13	3.75	4.10	4.54	6.18	5.40	5.00	5.91	5.39
	80歳以上	4.84	5.38	4.19	5.81	6.22	5.66	6.08	4.73	3.09	3.09	3.00	4.87	4.05	4.47	4.86	5.14
居住地区	須坂	4.87	5.74	4.63	5.13	6.67	5.99	5.19	3.99	3.01	3.16	2.24	4.94	4.02	4.69	5.06	5.37
	小山	5.91	6.36	5.18	5.34	7.54	7.12	5.68	4.66	4.07	4.21	3.64	5.96	5.18	5.71	6.14	5.52
	森上	5.65	6.61	4.69	5.00	6.25	5.94	4.84	4.22	2.50	1.41	1.88	4.69	4.38	4.69	5.00	5.16
	日滝	5.00	4.73	2.75	4.33	5.00	4.44	4.09	2.41	1.73	1.89	1.39	3.70	3.52	3.18	4.35	3.89
	豊洲	5.86	5.14	3.75	5.00	6.94	6.25	5.95	4.59	3.19	2.78	2.57	5.68	5.42	5.56	6.62	4.86
	日野	5.00	5.50	4.10	4.90	6.33	6.02	5.20	3.88	2.04	2.19	2.00	4.79	3.85	4.69	5.83	6.43
	井上	4.09	4.39	3.18	4.55	6.36	5.63	5.44	3.48	1.67	2.58	1.82	4.71	3.48	3.53	4.55	3.97
	高甫	5.15	5.59	4.43	4.00	7.29	6.29	5.29	4.85	3.13	3.09	2.79	5.44	5.15	4.85	6.52	5.91
	旭ヶ丘	5.00	5.65	5.48	5.00	7.10	7.10	5.50	4.67	2.67	3.33	2.00	6.29	5.32	4.68	5.67	4.68
	仁礼・峰の原	5.45	5.76	5.17	5.00	7.33	6.90	4.82	4.30	2.82	3.25	2.14	5.44	4.82	4.35	5.28	4.64
	豊丘	6.25	5.75	4.21	6.00	5.75	5.53	5.00	3.00	1.50	2.63	1.84	5.00	4.75	5.53	6.58	5.53
家族構成別	単身世帯	4.46	5.83	5.83	5.67	7.67	6.50	6.07	4.82	3.21	3.89	2.50	5.69	4.83	5.00	5.52	6.21
	夫婦世帯	4.96	5.08	3.76	4.68	5.97	5.78	4.72	3.64	2.75	2.88	2.68	5.32	4.51	4.42	5.29	5.28
	2世代世帯	5.49	5.84	4.45	4.85	6.84	6.40	5.25	3.88	2.66	2.86	2.07	4.98	4.45	4.75	5.68	4.98
	3世代世帯	5.00	5.31	3.85	4.81	6.58	5.75	5.06	4.37	2.27	2.40	1.92	5.06	4.55	4.36	5.32	4.62
	上記以外	5.42	5.67	6.67	6.79	6.79	5.71	6.15	5.00	3.33	3.18	3.33	5.83	2.92	5.00	5.00	5.00
高校生以下	いる	5.37	5.57	4.52	5.14	6.99	6.12	5.41	4.49	2.76	2.85	2.13	5.15	4.49	4.93	5.55	5.36
	いない	5.22	5.51	4.32	4.83	6.48	6.17	5.07	3.80	2.69	2.88	2.31	5.10	4.45	4.55	5.48	4.99
65歳以上	いる	5.37	5.47	4.35	5.04	6.42	6.00	5.19	4.17	2.83	2.80	2.68	5.04	4.41	4.47	5.48	4.91
	いない	5.14	5.59	4.43	4.77	6.84	6.30	5.14	3.81	2.57	2.96	1.72	5.23	4.56	4.91	5.59	5.32
居住年数	1年未満	3.00	5.00	3.00	4.00	4.00	4.00	3.00	3.00	2.00	2.00	3.00	5.00	4.00	4.00	4.00	4.00
	1～5年	6.25	5.79	5.00	6.50	8.25	7.00	6.32	5.00	2.63	3.95	2.63	6.25	6.25	6.00	7.00	6.75
	6～10年	3.61	5.56	3.06	5.00	6.94	4.72	2.50	2.50	0.83	1.11	-0.28	6.11	4.44	5.56	6.11	4.44
	11～15年	5.00	5.54	4.46	5.71	6.79	6.07	5.18	4.46	2.86	3.75	3.04	5.00	4.11	4.29	5.36	5.89
	16～20年	5.68	6.82	6.59	5.23	6.82	7.73	6.36	5.00	3.64	3.41	3.41	5.00	4.55	4.09	5.48	4.55
	21～30年	5.14	5.71	3.93	4.14	7.21	6.64	5.21	3.57	2.36	3.29	1.43	5.21	3.59	4.58	5.14	5.64
	31～40年	5.25	5.24	4.30	4.50	6.46	5.85	4.66	3.33	2.20	2.47	1.58	4.60	4.09	4.29	5.70	5.15
	41～50年	5.14	5.47	3.80	3.85	5.42	5.76	5.14	4.19	2.85	2.25	2.29	4.73	4.60	4.32	5.14	4.67
	51年以上	5.39	5.49	4.60	5.66	6.81	6.17	5.58	4.42	3.26	3.13	3.08	5.48	4.93	4.93	5.52	4.86
出身地	生まれた時から	5.42	5.59	4.27	4.98	6.56	5.94	5.20	3.84	2.66	2.74	2.22	4.94	4.25	4.69	5.30	5.06
	県内から転入	5.03	5.53	4.23	4.73	6.68	6.34	5.24	4.36	2.84	3.06	2.34	5.44	4.60	4.55	5.63	5.10
	県外から転入	5.28	5.63	5.27	5.36	6.91	6.34	4.73	3.52	2.26	2.69	2.22	4.81	4.81	4.72	5.94	5.28

③満足度と重要度の比較

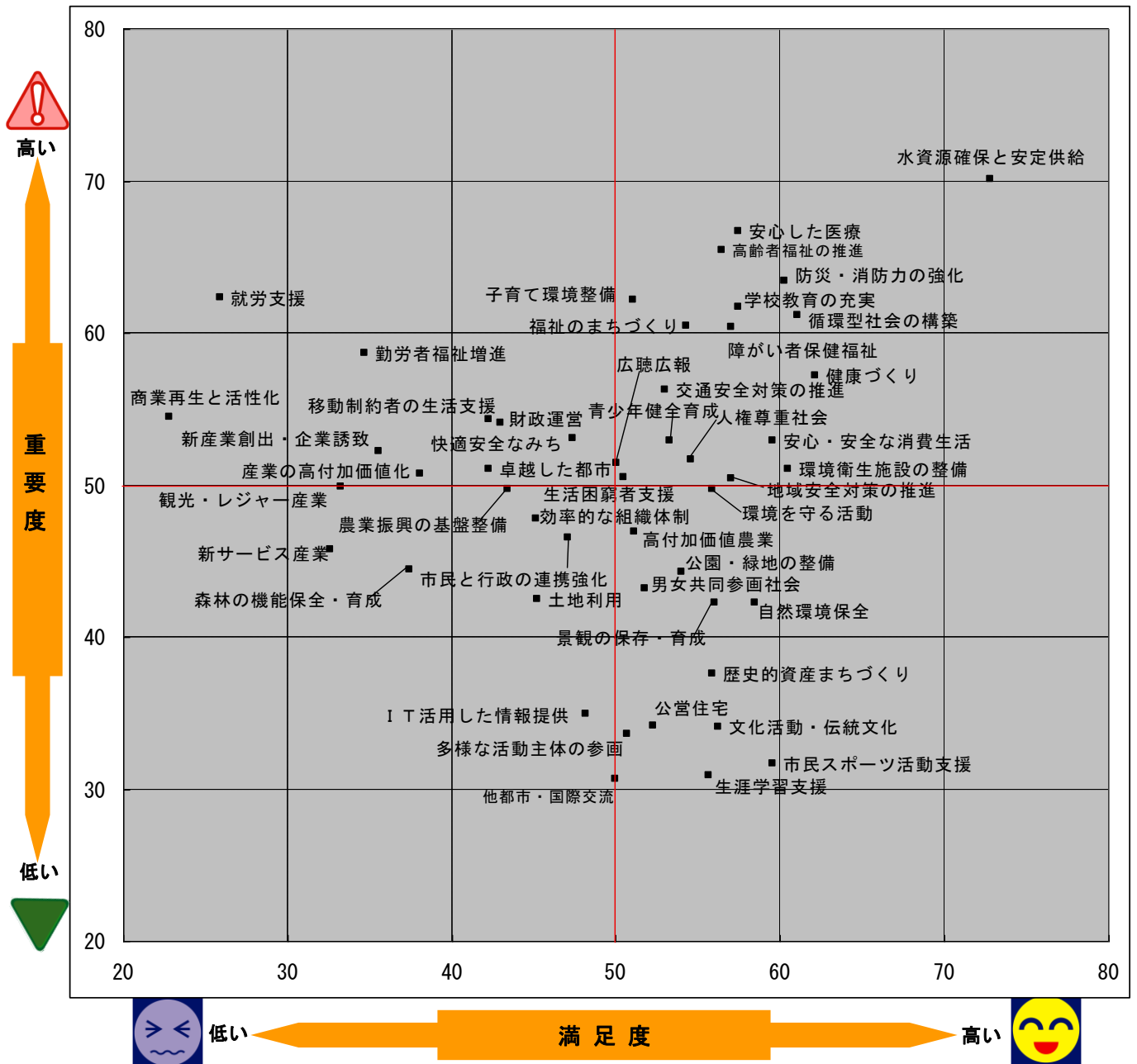
（満足度×重要度 マップ化）

重要度を縦軸、満足度を横軸にとり、各項目の満足度・重要度の偏差値をマップに落とし込みニーズを確認する。

基準値は満足度・重要度のそれぞれ全項目の平均値（偏差値 50）とし、基準値より右に行くほど満足度が高く、上に行くほど重要度が高いことをあらわす。

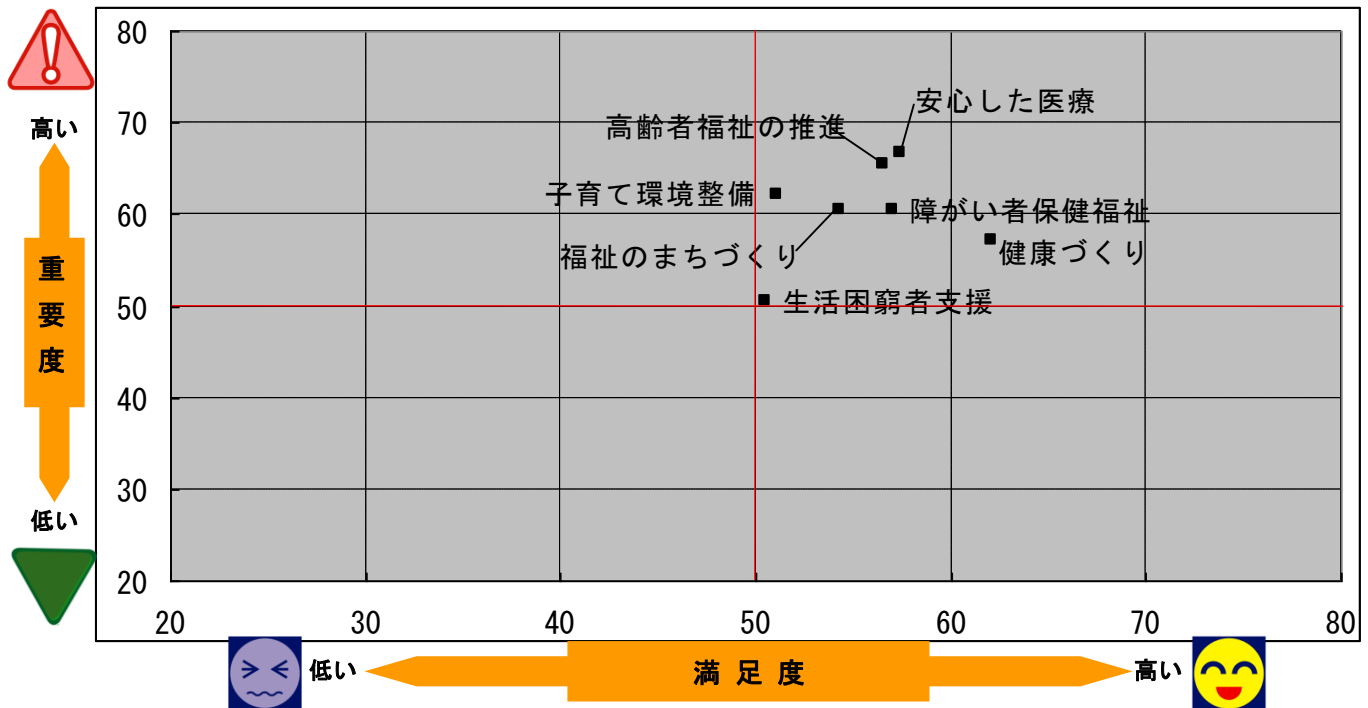


全項目の散布図



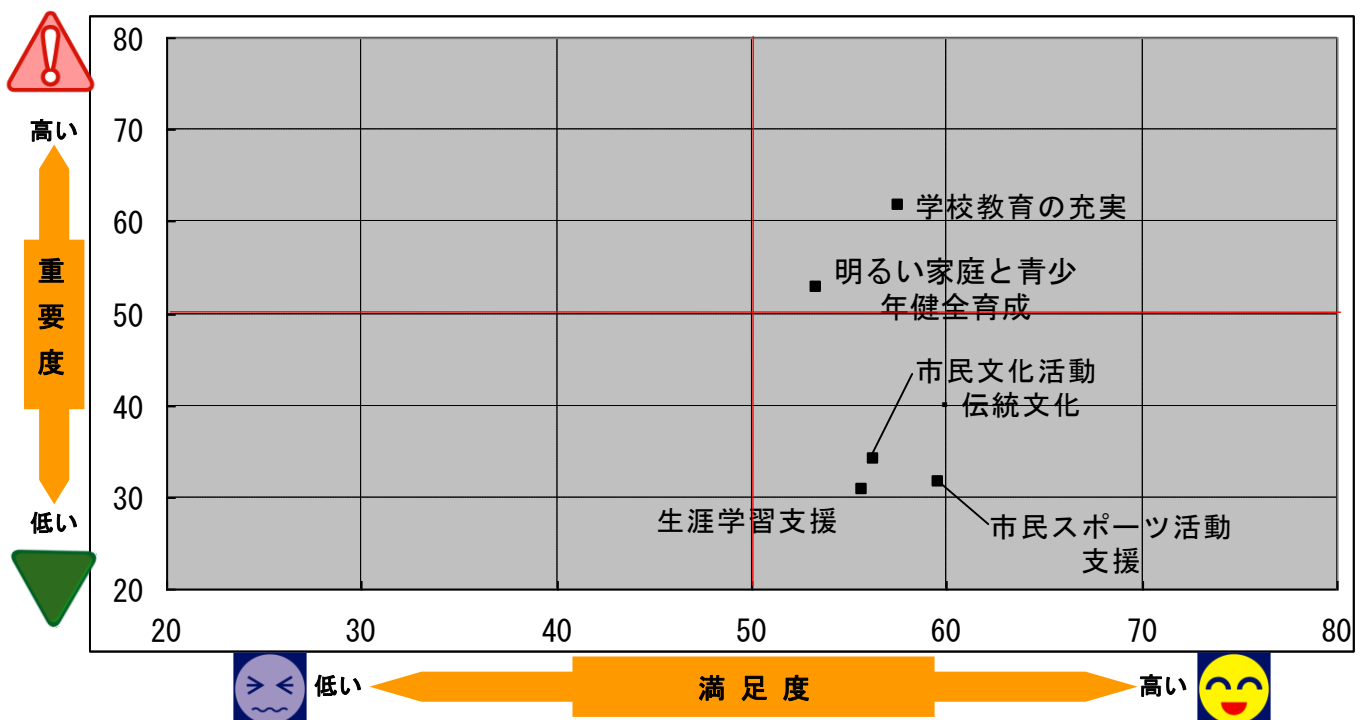
施策体系ごとのマップ

【少子高齢社会に対応し安心して暮らせる健康・福祉のまちづくり】



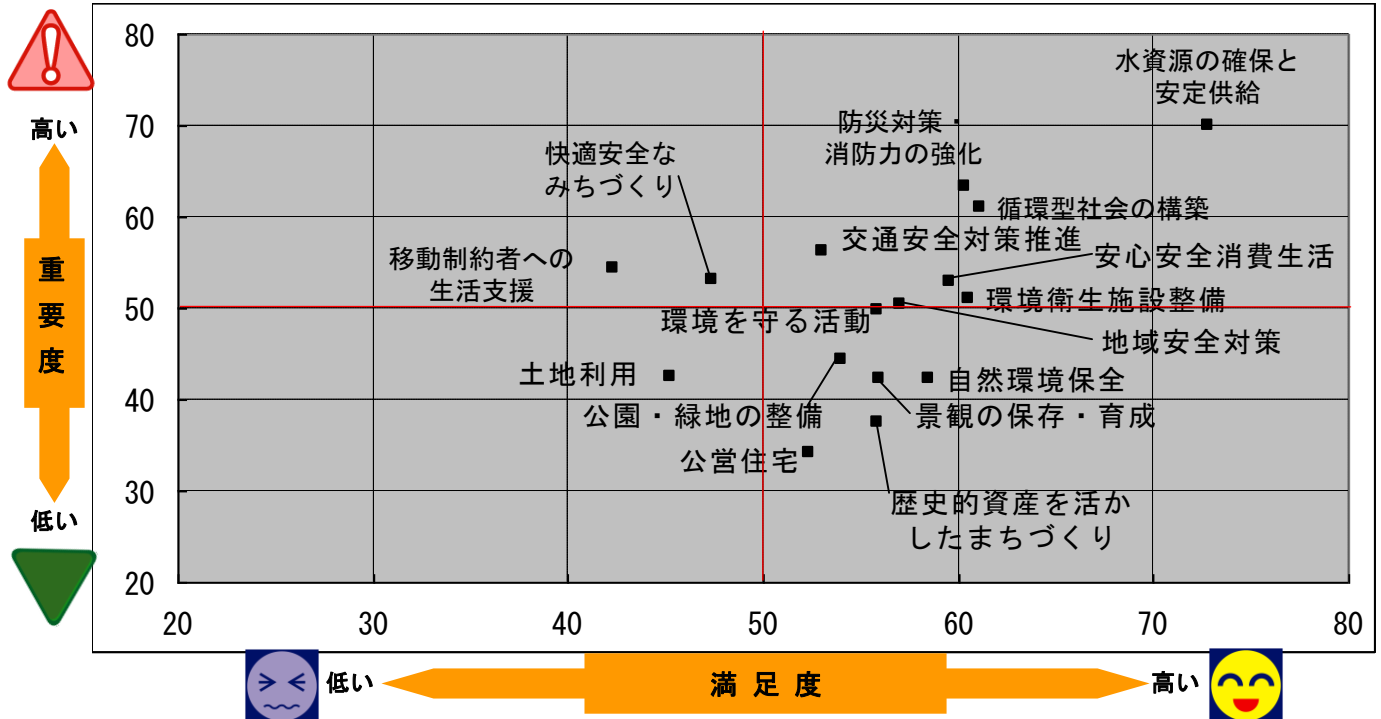
✓ 満足度・重要度共にすべて平均値以上に分布する。Bゾーンに集中している。

【須坂文化を創造し心豊かな人をはぐくむ生涯学習のまちづくり】



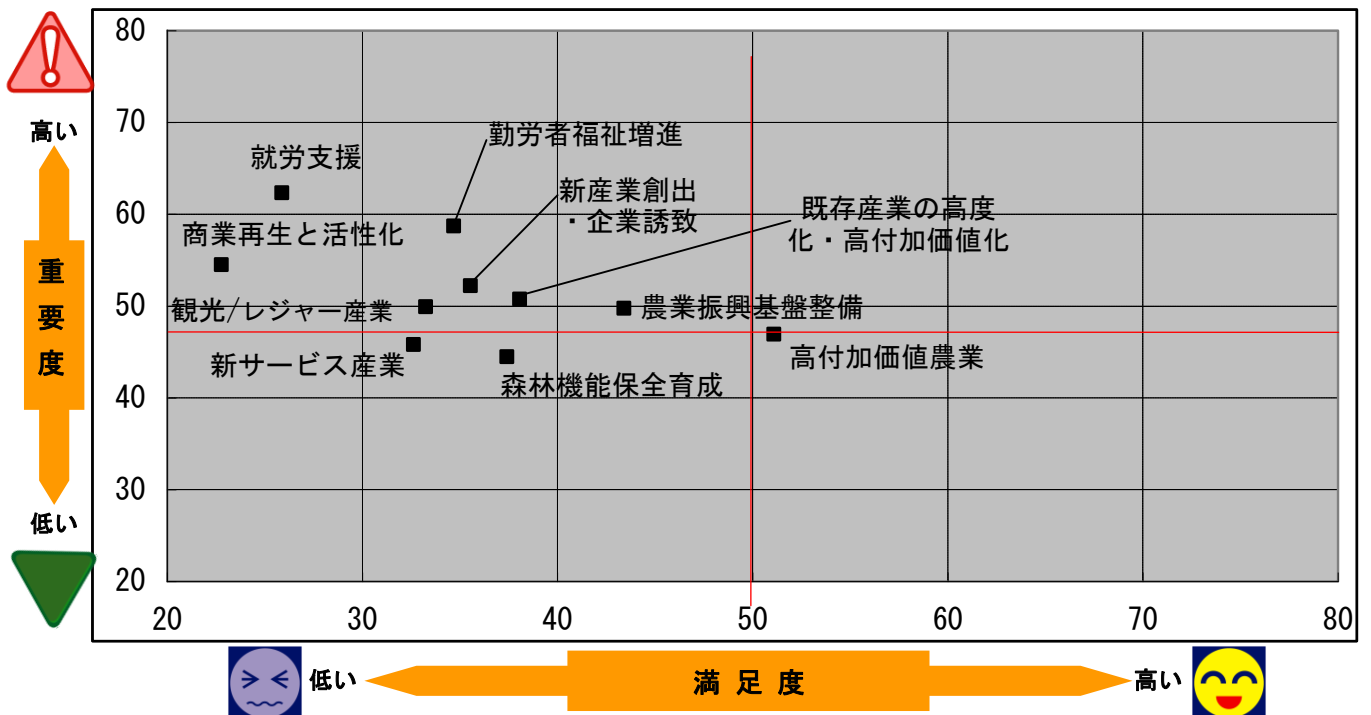
✓ 満足度はすべて平均以上。重要度では施策によりばらつきがある。BゾーンDゾーンに位置する。

【安全で快適に暮らせる定住・環境のまちづくり】



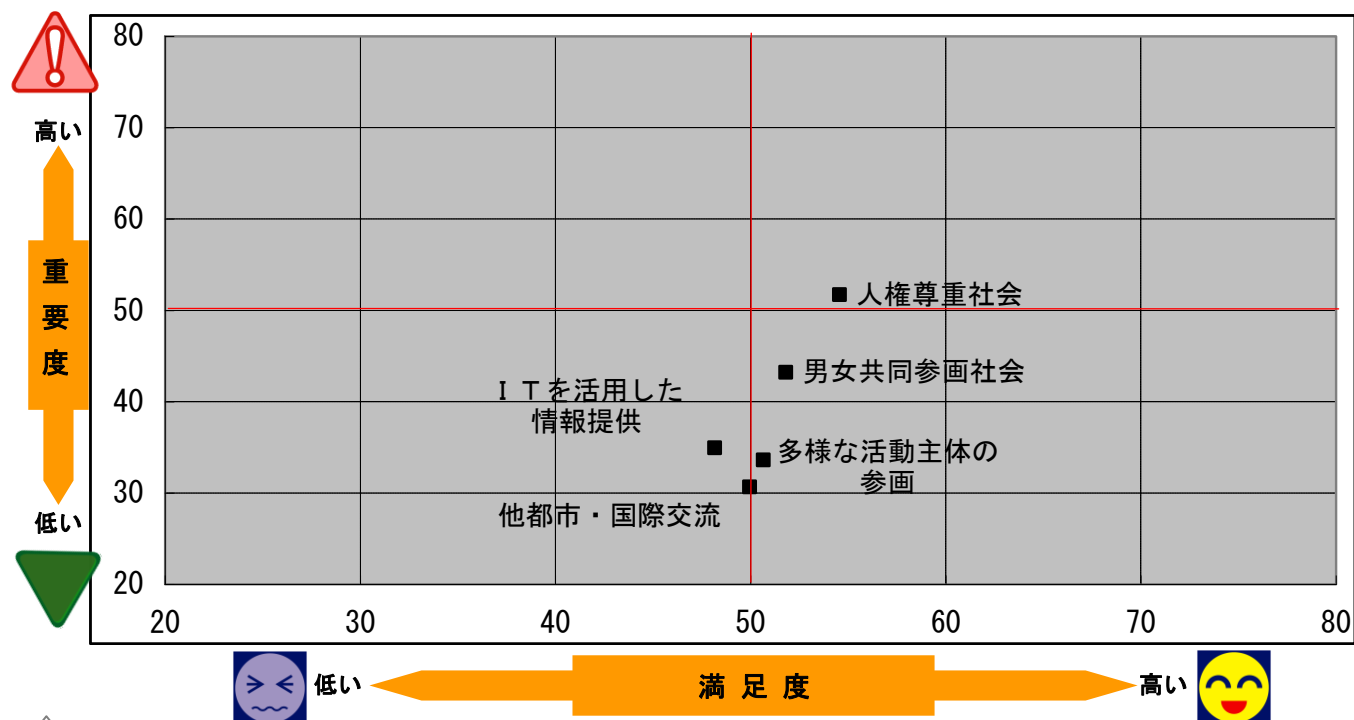
✓ 満足度は平均以上が比較的多い。重要度では施策によりばらつきがある。BゾーンDゾーンが多い。

【地域の資源を活かした先端技術・産業のまちづくり】



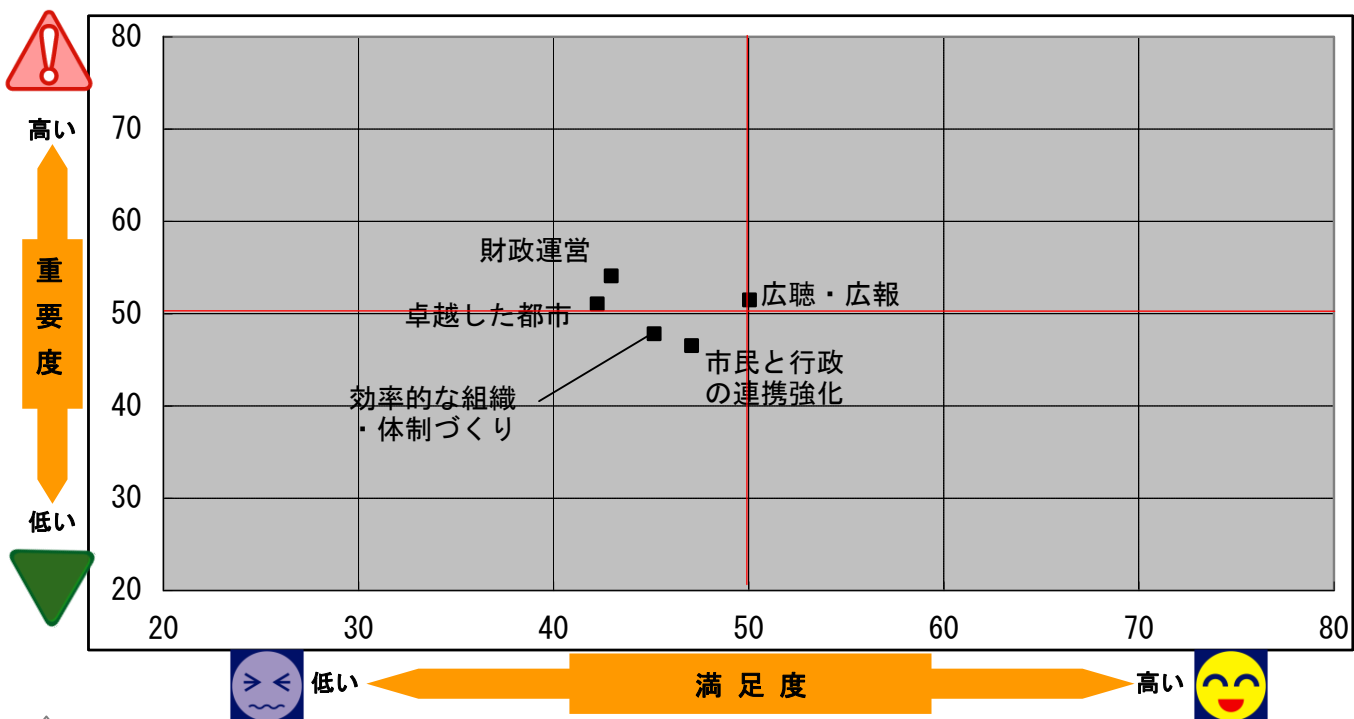
✓ 重要度が高く、満足度が低い項目が多い。Aゾーンに多く位置する。ニーズが高い

【すべての人のしあわせを守る人権・交流のまちづくり】



✓ 重要度は平均以下が多い。重要度が低く、満足度が平均よりも高いDゾーンに多く分布する。

【市民とともに考え歩む『共創』のまちづくり】



✓ 満足度は平均よりも低く、重要度は平均値付近に位置する。

④ニーズランキング（重要度－満足度）

	項目	偏差値		分野	ポイント		ニーズ ②－①
		満足度	重要度		満足度①	重要度②	
1	就労支援	25.88	62.34	A	-5.13	6.64	11.77
2	商業再生と活性化への支援	22.78	54.49	A	-5.80	5.57	11.36
3	勤労者福祉の増進	34.68	58.71	A	-3.23	6.15	9.38
4	観光・レジャー産業の振興	33.25	49.92	C	-3.54	4.94	8.48
5	新産業創出・企業誘致の促進	35.54	52.19	A	-3.05	5.25	8.30
6	新サービス産業への支援	32.62	45.79	C	-3.67	4.37	8.05
7	既存産業の高度化・高付加価値化の促進	38.07	50.75	A	-2.50	5.05	7.55
8	移動制約者※への生活支援	42.28	54.35	A	-1.59	5.55	7.14
9	戦略的な視点に立った財政運営	42.96	54.07	A	-1.44	5.51	6.95
10	森林の持つ機能保全・育成	37.40	44.46	C	-2.64	4.19	6.84
11	卓越した都市の創出（日本一のまちを目指して）	42.25	51.03	A	-1.60	5.09	6.69
12	子育て環境の整備	51.06	62.14	B	0.30	6.62	6.31
13	農業振興のための基盤整備	43.41	49.75	C	-1.35	4.92	6.26
14	快適で安全なまちづくり	47.38	53.10	A	-0.49	5.38	5.87
15	効率的で効果的な組織・体制づくり	45.16	47.80	C	-0.97	4.65	5.62
16	高齢者福祉の推進	56.48	65.44	B	1.47	7.07	5.59
17	安心して医療が受けられる体制の整備	57.45	66.68	B	1.68	7.24	5.56
18	みんなで支えあう福祉のまちづくり	54.27	60.46	B	1.00	6.39	5.39
19	交通安全対策の推進	52.99	56.24	B	0.72	5.81	5.09
20	広聴・広報の充実	50.05	51.48	B	0.09	5.15	5.07
21	市民と行政の連携強化	47.09	46.54	C	-0.55	4.48	5.03
22	持続的発展可能な土地利用の推進	45.22	42.47	C	-0.96	3.92	4.87
23	学校教育の充実	57.48	61.75	B	1.69	6.56	4.87
24	生活困窮者への支援	50.50	50.51	B	0.18	5.02	4.84
25	障がい者保健福祉の推進	57.02	60.41	B	1.59	6.38	4.79
26	明るい家庭づくりと児童・青少年健全育成の推進	53.30	52.89	B	0.79	5.35	4.56
27	防災対策・消防力の強化	60.30	63.42	B	2.30	6.79	4.49
28	高付加価値農業・ブランド化の推進	51.09	46.92	D	0.31	4.53	4.22
29	人権が尊重される社会の実現	54.57	51.71	B	1.06	5.18	4.12
30	循環型社会の構築	61.06	61.14	B	2.46	6.48	4.02
31	環境を守る活動の推進	55.88	49.77	D	1.34	4.92	3.58
32	男女共同参画社会の実現	51.80	43.20	D	0.46	4.02	3.56
33	地域安全対策の推進	56.99	50.43	B	1.58	5.01	3.43
34	健康づくりの支援	62.12	57.21	B	2.69	5.94	3.25
35	公園・緑地の整備	54.01	44.28	D	0.94	4.17	3.23
36	安心・安全な消費生活の確保	59.52	52.94	B	2.13	5.35	3.23
37	I T（情報通信技術）を活用した情報提供	48.16	34.95	C	-0.32	2.89	3.21
38	環境衛生施設の整備	60.50	51.03	B	2.34	5.09	2.75
39	水資源の確保と安定的な供給	72.78	70.08	B	4.99	7.70	2.71
40	景観の保存・育成	55.98	42.24	D	1.37	3.89	2.52
41	多様な活動主体の参画による地域社会づくりの推進	50.66	33.62	D	0.22	2.70	2.49
42	他都市との交流・国際交流の推進	49.96	30.67	C	0.07	2.30	2.23
43	公営住宅の適正供給	52.29	34.18	D	0.57	2.78	2.21
44	自然環境の保全	58.49	42.24	D	1.91	3.89	1.98
45	歴史的資産を活かしたまちづくりの推進	55.84	37.57	D	1.34	3.25	1.91
46	市民文化活動及び伝統文化の保存・継承への支援	56.24	34.07	D	1.42	2.77	1.35
47	生涯学習の支援	55.62	30.90	D	1.29	2.33	1.04
48	市民スポーツ活動への支援	59.57	31.68	D	2.14	2.44	0.30

ゾーン別ニーズランキング

満足度：低い ， 重要度：高い			満足度：高い ， 重要度：高い		
1	就労支援	11.77	12	子育て環境の整備	6.31
2	商業再生と活性化への支援	11.36	16	高齢者福祉の推進	5.59
3	勤労者福祉の増進	9.38	17	安心して医療が受けられる体制の整備	5.56
5	新産業創出・企業誘致の促進	8.30	18	みんなで支えあう福祉のまちづくり	5.39
7	既存産業の高度化・高付加価値化の促進	7.55	19	交通安全対策の推進	5.09
8	移動制約者※への生活支援	7.14	20	広聴・広報の充実	5.07
9	戦略的な視点に立った財政運営	6.95	23	学校教育の充実	4.87
11	卓越した都市の創出（日本一のまちを目指して）	6.69	24	生活困窮者への支援	4.84
14	快適で安全なまちづくり	5.87	25	障がい者保健福祉の推進	4.79
			26	明るい家庭づくりと児童・青少年健全育成の推進	4.56
			27	防災対策・消防力の強化	4.49
			29	人権が尊重される社会の実現	4.12
			30	循環型社会の構築	4.02
			33	地域安全対策の推進	3.43
			34	健康づくりの支援	3.25
			36	安心・安全な消費生活の確保	3.23
			38	環境衛生施設の整備	2.75
			39	水資源の確保と安定的な供給	2.71
満足度：低い ， 重要度：低い			満足度：高い ， 重要度：低い		
4	観光・レジャー産業の振興	8.48	28	高付加価値農業・ブランド化の推進	4.22
6	新サービス産業への支援	8.05	31	環境を守る活動の推進	3.58
10	森林の持つ機能保全・育成	6.84	32	男女共同参画社会の実現	3.56
13	農業振興のための基盤整備	6.26	35	公園・緑地の整備	3.23
15	効率的で効果的な組織・体制づくり	5.62	40	景観の保存・育成	2.52
21	市民と行政の連携強化	5.03	41	多様な活動主体の参画による地域社会づくりの推進	2.49
22	持続的发展可能な土地利用の推進	4.87	43	公営住宅の適正供給	2.21
37	I T（情報通信技術）を活用した情報提供	3.21	44	自然環境の保全	1.98
42	他都市との交流・国際交流の推進	2.23	45	歴史的資産を活かしたまちづくりの推進	1.91
			46	市民文化活動及び伝統文化の保存・継承への支援	1.35
			47	生涯学習の支援	1.04
			48	市民スポーツ活動への支援	0.30

- ✓ ニーズが最も高い項目はAゾーン、最も低い項目はDゾーンに概ね位置する。
- ✓ 全48の事業項目のニーズは11.77ポイント～0.30ポイントの間に分散している。
- ✓ ニーズが最も高いのは、「就労支援」で、次いで、「商業再生と活性化への支援」、「勤労者福祉の増進」、「観光・レジャー産業の推進」の順となっている。この順番は前回調査と同じである。
- ✓ ニーズが最も低いのは、「市民スポーツ活動への支援」で、次いで、「生涯学習の支援」、「市民文化活動及び伝統文化の保存・継承への支援」の順となっている。
- ✓ Aゾーン（重：高い/満：低い）では「就労支援」、Bゾーン（重：高い/満：高い）では「子育て環境の整備」、Cゾーン（重：低い/満：低い）では「観光・レジャー産業の振興」、Dゾーン（重：低い/満：高い）では「高付加価値農業・ブランド化の推進」の項目がそれぞれ高い。

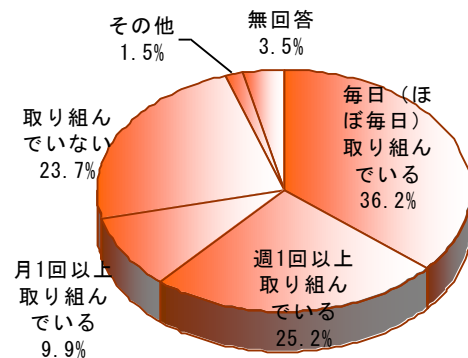
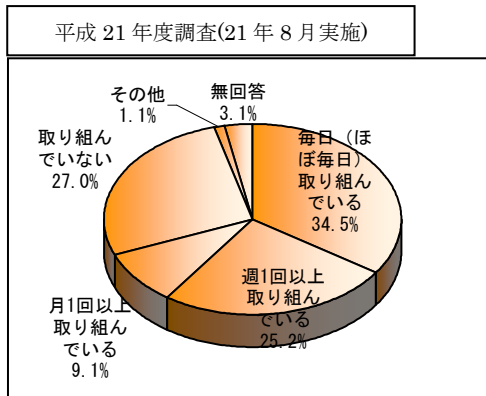
2.4. あなたの日常生活や身の回りのことについて

問 14ーあなたは「自分の健康は自分でつくり、守る」取り組みをしていますか。

◆男女、年齢別の内訳

選択肢	回答数	%
毎日（ほぼ毎日）取り組んでいる	197	36.2%
週1回以上取り組んでいる	137	25.2%
月1回以上取り組んでいる	54	9.9%
取り組んでいない	129	23.7%
その他	8	1.5%
無回答	19	3.5%
合計	544	100%

男	女	—	-29	30代	40代	50代	60代	70代	80-	—
76	118	3	9	15	22	31	50	44	24	2
62	74	1	10	9	14	25	44	26	9	0
25	29	0	5	5	10	6	11	10	7	0
62	66	1	11	24	31	21	23	11	8	0
5	3	0	0	0	1	2	3	2	0	0
5	11	3	0	2	0	1	5	3	5	3



- ✓ 全体の36.2%が、「毎日（ほぼ毎日）取り組んでいる」と回答している。全体の6割以上が、健康に関する取り組みを週1回以上行なっている。50代以上で健康づくりに取り組む割合が高い。

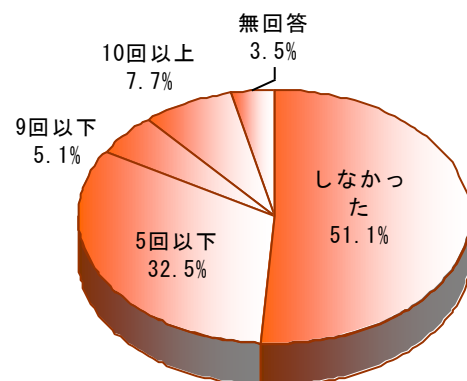
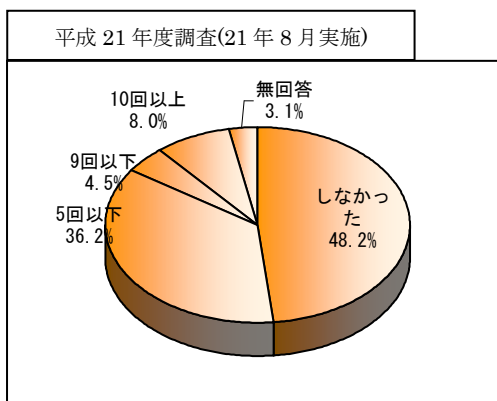
問 15ーあなたは、この1年間に文化活動を何回程度行ないましたか。

（文化活動とは、演劇鑑賞、絵画等作成などします）

◆男女、年齢別の内訳

選択肢	回答数	%
しなかった	278	51.1%
5回以下	177	32.5%
9回以下	28	5.1%
10回以上	42	7.7%
無回答	19	3.5%
合計	544	100%

男	女	—	-29	30代	40代	50代	60代	70代	80-	—
136	137	5	20	30	41	34	62	51	39	1
70	107	0	13	16	24	40	46	31	7	0
12	16	0	1	3	4	6	10	2	1	1
13	29	0	1	4	8	5	14	8	2	0
4	12	3	0	2	1	1	4	4	4	3



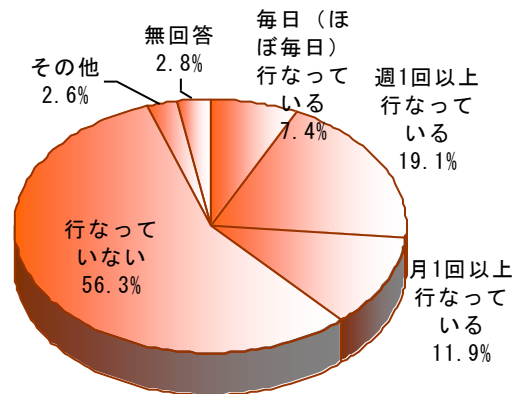
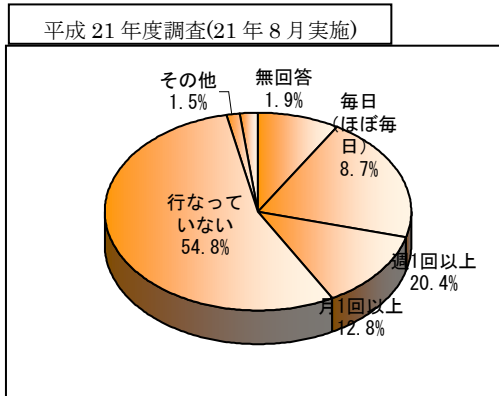
- ✓ 全体の5割以上が、この1年間に文化活動を「しなかった」と回答。「5回以下」も32.5%と多い。

問 16ーあなたは、日頃からスポーツを行なっていますか。

◆男女、年齢別の内訳

選択肢	回答数	%
毎日（ほぼ毎日）行なっている	40	7.4%
週1回以上行なっている	104	19.1%
月1回以上行なっている	65	11.9%
行なっていない	306	56.3%
その他	14	2.6%
無回答	15	2.8%
合計	544	100%

男	女	—	-29	30代	40代	50代	60代	70代	80-	—
21	19	0	2	1	5	9	13	6	4	0
48	56	0	8	11	9	21	33	15	7	0
33	31	1	6	9	12	13	14	7	4	0
128	175	3	19	32	52	43	70	56	32	2
3	10	1	0	1	0	0	5	6	2	0
2	10	3	0	1	0	0	1	6	4	3



✓ 全体の56.3%が「行なっていない」と回答。ついで「週1回以上行っている」割合が高い。

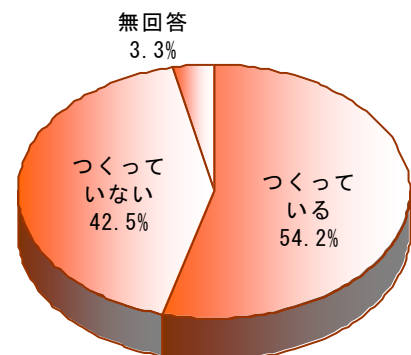
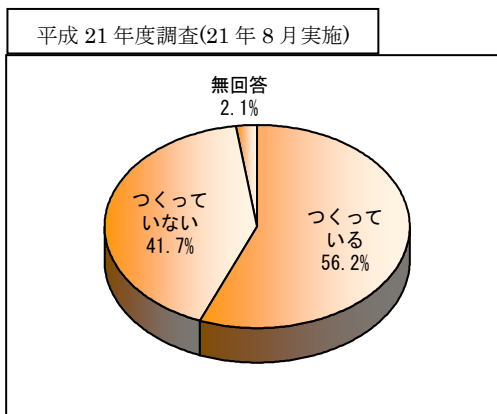
問 17ーあなたは、日頃、自然にふれあう機会をつくっていますか。

（自然とのふれあいは、公園散策、ハイキング、森林浴、山菜取りなどとします）

◆男女、年齢別の内訳

選択肢	回答数	%
つくっている	295	54.2%
つくっていない	231	42.5%
無回答	18	3.3%
合計	544	100%

男	女	—	-29	30代	40代	50代	60代	70代	80-	—
136	157	2	14	21	26	49	101	59	24	1
95	134	2	21	33	52	37	34	29	25	0
4	10	4	0	1	0	0	1	8	4	4



✓ 全体の約半数54.2%が「つくっている」と回答。50代から70代で「つくっている」回答が多い。

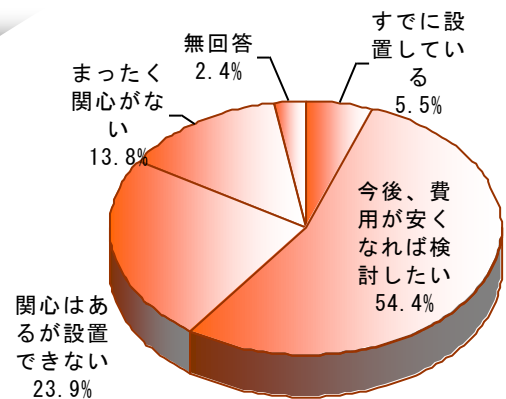
問 18ーあなたは、住宅への太陽光発電システム設置について関心がありますか。

選択肢	回答数	%
すでに設置している	30	5.5%
今後、費用が安くなれば検討したい	296	54.4%
関心はあるが設置できない (持ち家でないなど)	130	23.9%
まったく関心がない	75	13.8%
無回答	13	2.4%
合計	544	100%

◆男女、年齢別の内訳

男	女	—	-29	30代	40代	50代	60代	70代	80-	—
16	14	0	0	4	5	3	8	8	2	0
131	163	2	12	27	41	56	86	52	21	1
59	70	1	16	15	25	20	27	17	10	0
26	48	1	7	8	7	7	13	16	17	0
3	6	4	0	1	0	0	2	3	3	4

(前回調査項目なし)



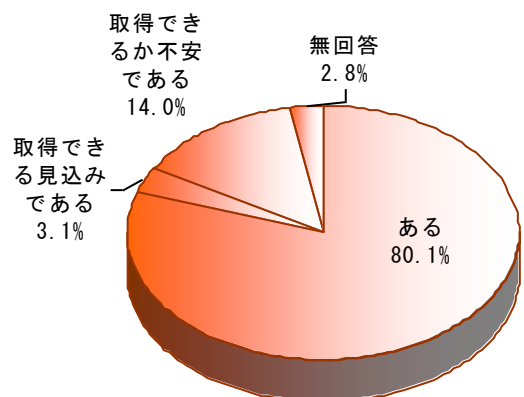
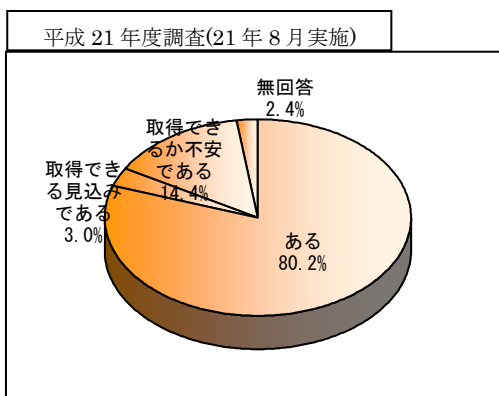
- ✓ 「今後、費用が安くなれば検討したい」が54.4%で最も多い。ついで「関心はあるが設置できない」が多い。設置している割合は全体の5%にとどまる。

問 19ー家族（親族）がなくなったとき埋葬する墓地はありますか。

選択肢	回答数	%
ある	436	80.1%
取得できる見込みである	17	3.1%
取得できるか不安である	76	14.0%
無回答	15	2.8%
合計	544	100%

◆男女、年齢別の内訳

男	女	—	-29	30代	40代	50代	60代	70代	80-	—
194	237	5	25	38	63	76	104	81	47	2
9	8	0	0	4	2	1	6	4	0	0
28	48	0	10	10	13	9	23	8	3	0
4	8	3	0	3	0	0	3	3	3	3

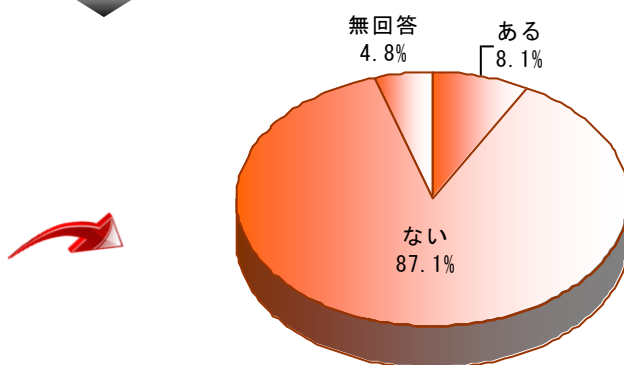
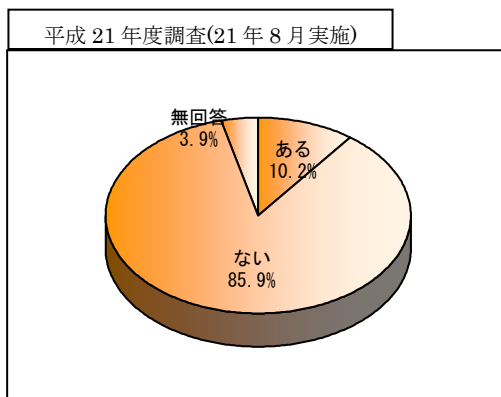


- ✓ 前回調査と同様8割以上が「ある」と回答し、圧倒的に多い。割合もほぼ同じ結果である。

問 20ーあなたは、自身または家族が人権を侵害されたと思ったことはありますか。

◆男女、年齢別の内訳		
選択肢	回答数	%
ある	44	8.1%
ない	474	87.1%
無回答	26	4.8%
合計	544	100%

男	女	—	-29	30代	40代	50代	60代	70代	80-	—
17	27	0	1	4	11	13	9	6	0	0
211	258	5	33	48	66	73	123	80	49	2
7	16	3	1	3	1	0	4	10	4	3



✓ 約9割が「ない」と回答し圧倒的に多い。一方、「ある」とする回答者は8%。

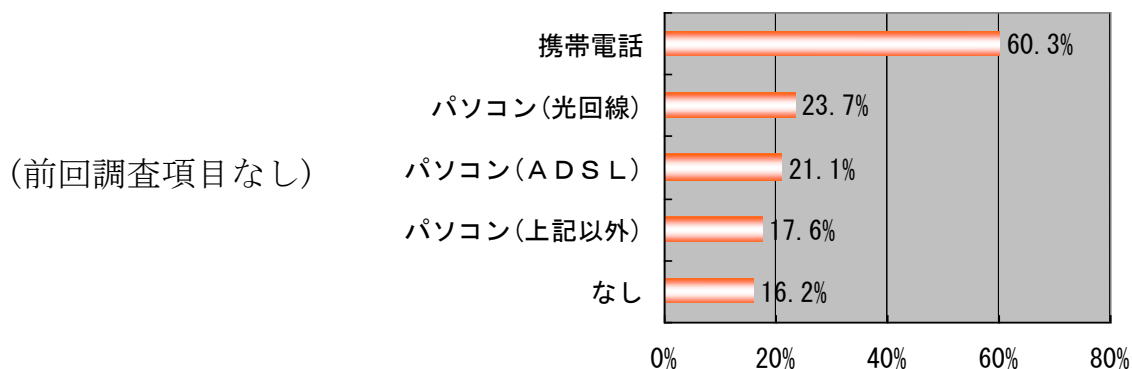
問 21ー家庭内にインターネットに接続できる機器はありますか。

※本設問は複数選択

◆男女、年齢別の内訳		
選択肢	回答数	選択率
パソコン(通信回線 ADSL)	115	21.1%
パソコン(通信回線 光回線)	129	23.7%
パソコン (通信回線 上記以外)	96	17.6%
携帯電話	328	60.3%
なし	88	16.2%
無回答	11	2.0%
合計	767	

※選択率の母数は回答者数の 544

男	女	—	-29	30代	40代	50代	60代	70代	80-	—
49	65	1	11	13	21	21	26	14	9	0
60	69	0	12	20	21	25	36	10	5	0
45	50	1	4	6	21	17	30	10	6	2
147	180	1	30	35	55	57	79	46	26	0
29	56	3	1	3	2	5	24	36	17	0
2	6	3	0	1	0	0	2	2	3	3



- ✓ 回答者のうち6割がインターネットの接続機器として「携帯電話」と回答。
- ✓ パソコンでは光回線が23.7%で最も多く、ついでADSL回線と回答している。
- ✓ 約16%が「なし」と回答している。

2.5. 須坂市の行政に関する取り組みについて

問 22－須坂市の姉妹都市、友好都市を知っていましたか。

姉妹都市：神奈川県三浦市、新潟県新発田市（旧紫雲寺町）

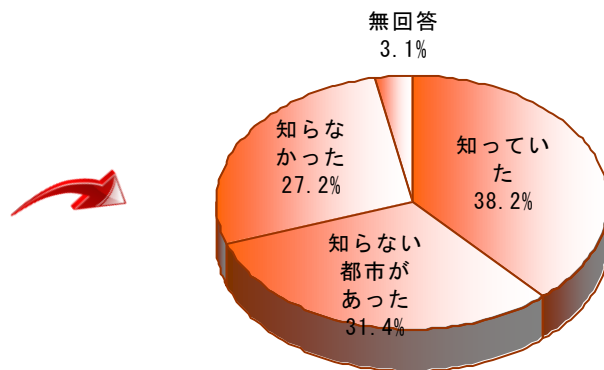
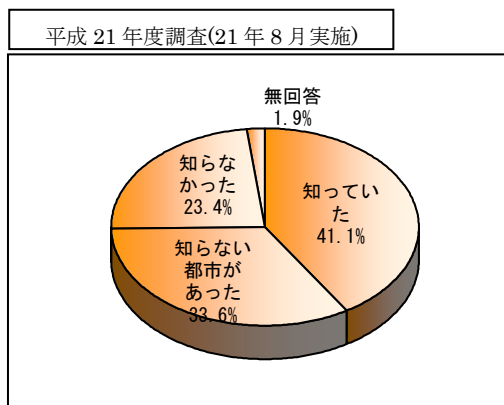
友好都市：中国吉林省四平市

◆男女、年齢別の内訳

選択肢	回答数	%
知っていた	208	38.2%
知らない都市があった	171	31.4%
知らなかった	148	27.2%
無回答	17	3.1%

合計 544 100%

男	女	—	-29	30代	40代	50代	60代	70代	80-	—
91	114	3	5	9	29	28	65	47	24	1
69	101	1	13	20	26	34	41	24	12	1
70	77	1	17	26	22	23	27	21	12	0
5	9	3	0	0	1	1	3	4	5	3

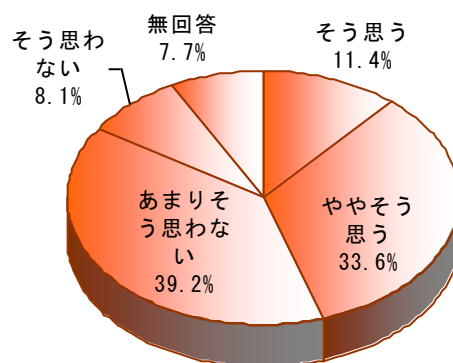
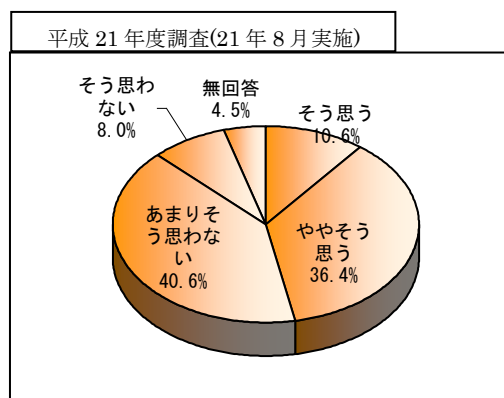


- ✓ 全体の約4割が「知っていた」と回答。一方で約6割は「知らない」、「知らない都市があった」と回答している。
- ✓ 「知っていた」、「知らない」、「知らない都市があった」と回答者がほぼ均等にいる。

問 23—須坂市は、行政が市民・ボランティア（NPO含む）・企業等ができることは任せ、その他の事業も協働で行っているまちだと思いますか。

◆男女、年齢別の内訳

選択肢	回答数	%	男	女	—	-29	30代	40代	50代	60代	70代	80-	—
そう思う	62	11.4%	23	38	1	1	0	5	6	21	15	13	1
ややそう思う	183	33.6%	73	109	1	12	17	29	28	48	32	16	1
あまりそう思わない	213	39.2%	100	111	2	20	23	31	48	48	31	12	0
そう思わない	44	8.1%	23	20	1	2	9	9	3	11	8	2	0
無回答	42	7.7%	16	23	3	0	6	4	1	8	10	10	3
合計	544	100%											

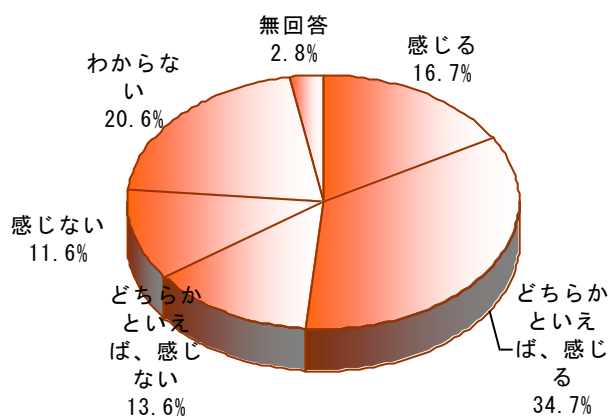


- ✓ 「そう思う」、「ややそう思う」をあわせて45%、「あまりそう思わない」、「そう思わない」をあわせて47.3%と意見を2分している。
- ✓ 60代以上で「ややそう思う」が「あまりそう思わない」を上回る。

問 24—あなたは、市役所が、以前と比べてよい方向に変わってきていると感じますか。
（「市役所」には職員の対応や、仕事の仕方なども含みます。）

◆男女、年齢別の内訳

選択肢	回答数	%	男	女	—	-29	30代	40代	50代	60代	70代	80-	—
感じる	91	16.7%	42	47	2	4	5	11	10	23	23	14	1
どちらかといえば、感じる	189	34.7%	83	105	1	9	12	19	31	57	37	23	1
どちらかといえば、感じない	74	13.6%	37	36	1	3	9	9	17	20	12	4	0
感じない	63	11.6%	26	37	0	4	11	13	13	15	5	2	0
わからない （以前又は最近を知らないため。特に気にしていないため）	112	20.6%	41	70	1	15	18	25	14	19	14	7	0
無回答	15	2.8%	6	6	3	0	0	1	1	2	5	3	3
合計	544	100%											



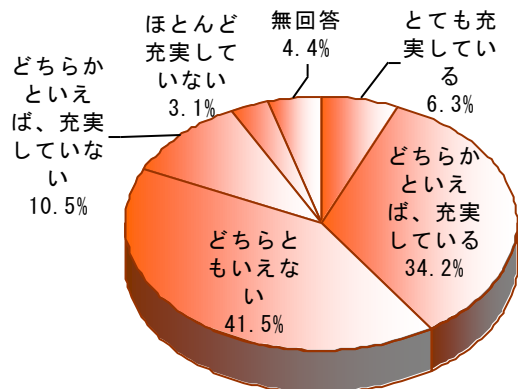
- ✓ 全体では「どちらかといえば感じる」が34.7%で最も多い。一方で2割の回答者が「分からない」と回答し、以前又は最近を知らない、特に気にしていない層も多い。
- ✓ 年代別では50代以上で「どちらかといえば感じる」とする回答者が多い。

問 25—あなたは、行政の防災体制が充実していると感じますか。

実施内容：総合防災訓練の実施、防災設備や備蓄品の充実、地域防災マップの更新、災害応援体制の充実など

◆男女、年齢別の内訳

選択肢	回答数	%	男	女	—	-29	30代	40代	50代	60代	70代	80-	—
とても充実している	34	6.3%	16	17	1	1	1	4	6	5	9	7	1
どちらかといえば、充実している	186	34.2%	75	108	3	6	9	20	20	69	45	16	1
どちらともいえない	226	41.5%	103	122	1	20	28	44	41	47	25	21	0
どちらかといえば、充実していない	57	10.5%	26	31	0	6	13	6	16	6	6	4	0
ほとんど充実していない	17	3.1%	7	10	0	2	4	3	2	4	2	0	0
無回答	24	4.4%	8	13	3	0	0	1	1	5	9	5	3
合計	544	100%											

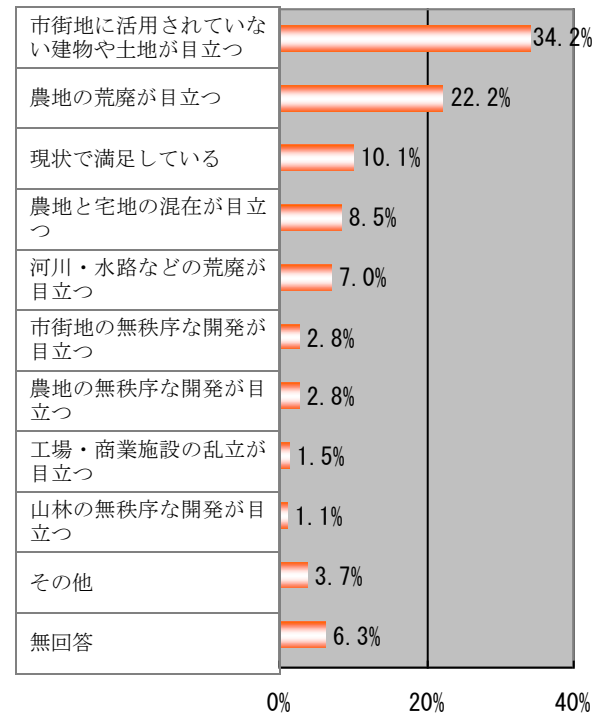
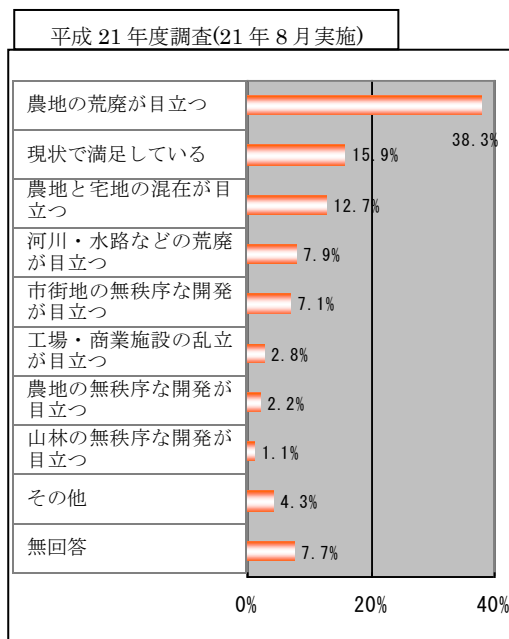


- ✓ 「どちらともいえない」が41.5%で最も多い。
- ✓ 4割の回答者は「とても充実している」「どちらかといえば充実している」と回答している。

問 26—須坂市全体の土地利用についてどう思いますか。

◆男女、年齢別の内訳

選択肢	回答数	%	男	女	—	-29	30代	40代	50代	60代	70代	80-	—
現状で満足している	55	10.1%	25	29	1	9	5	5	4	16	6	10	0
農地の荒廃が目立つ	121	22.2%	60	61	0	4	7	13	18	42	27	9	1
農地と宅地の混在が目立つ	46	8.5%	21	23	2	2	8	7	8	11	4	5	1
農地の無秩序な開発が目立つ	15	2.8%	8	7	0	0	1	2	5	5	1	1	0
河川・水路などの荒廃が目立つ	38	7.0%	20	18	0	3	2	5	5	12	9	2	0
工場・商業施設の乱立が目立つ	8	1.5%	4	4	0	1	1	0	0	2	4	0	0
山林の無秩序な開発が目立つ	6	1.1%	2	4	0	0	1	0	4	1	0	0	0
市街地の無秩序な開発が目立つ	15	2.8%	5	10	0	3	2	2	1	2	3	2	0
市街地に活用されていない建物や土地が目立つ	186	34.2%	73	111	2	12	24	40	32	39	28	11	0
その他	20	3.7%	9	11	0	1	3	2	6	2	3	3	0
無回答	34	6.3%	8	23	3	0	1	2	3	4	11	10	3
合計	544	100%											



※「市街地に活用されていない建物や土地が目立つ」を追加

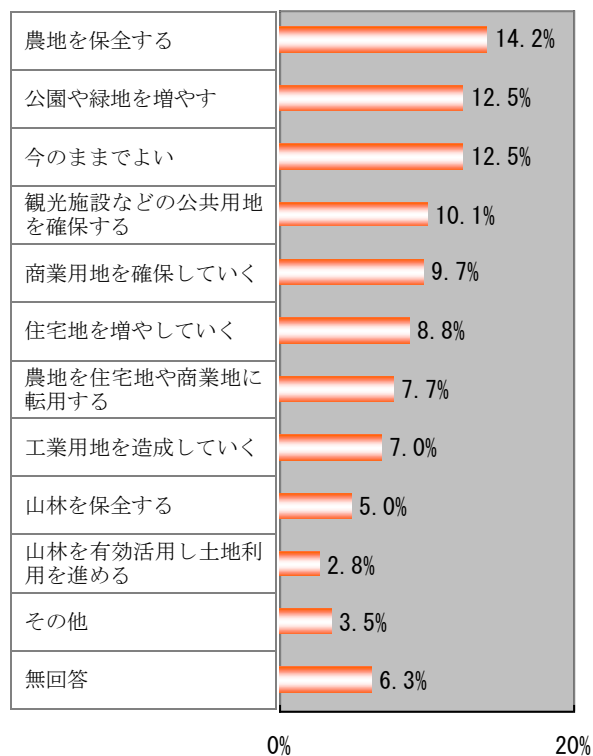
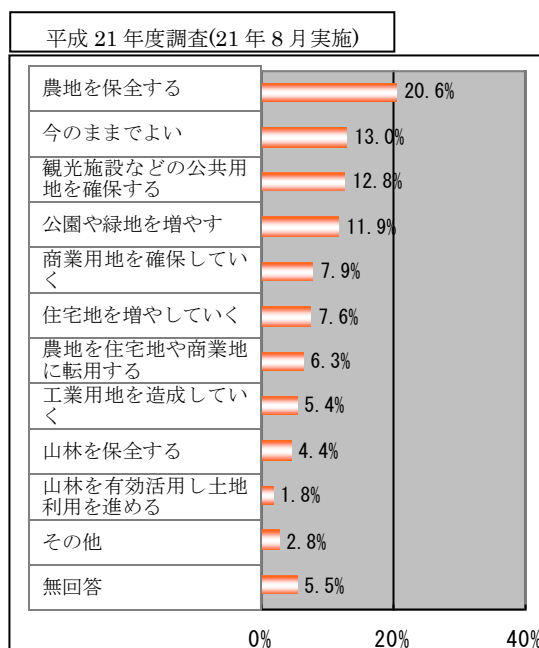
- ✓ 前回調査で選択肢になかった「市街地に活用されていない建物や土地が目立つ」を、今回の調査で選択肢に追加した。
- ✓ 34.2%が「市街地に活用されていない建物や土地が目立つ」と回答し、最も多い。
- ✓ その他は前回調査と概ね同じ傾向である。

問 27—須坂市の将来の土地利用についてどのような方向をとるべきだと思いますか。

◆男女、年齢別の内訳

選択肢	回答数	%
住宅地を増やしていく	48	8.8%
工業用地を造成していく	38	7.0%
商業用地を確保していく	53	9.7%
スポーツ・文化施設、観光施設などの公共用地を確保する	55	10.1%
農地を住宅地や商業地に転用する	42	7.7%
山林を有効活用し土地利用を進める	15	2.8%
農地を保全する	77	14.2%
山林を保全する	27	5.0%
公園や緑地を増やす	68	12.5%
今のままでよい	68	12.5%
その他	19	3.5%
無回答	34	6.3%
合計	544	100%

男	女	—	-29	30代	40代	50代	60代	70代	80-	—
22	25	1	2	5	4	10	18	7	1	1
23	15	0	0	2	4	7	11	6	8	0
21	32	0	7	4	11	7	7	13	4	0
20	35	0	8	7	13	9	8	9	1	0
17	25	0	0	7	4	10	12	4	5	0
8	7	0	1	2	0	6	2	3	1	0
37	40	0	3	5	6	13	28	16	6	0
16	11	0	2	3	6	5	7	4	0	0
20	47	1	8	12	14	8	14	7	5	0
27	40	1	2	3	9	8	18	15	13	0
11	8	0	2	4	4	1	4	3	1	0
13	16	5	0	1	3	2	7	9	8	4



- ✓ 前回調査と概ね同じ傾向であるが、各回答に分布している。
- ✓ 「農地を保全する」が14.2%で最も多く、ついで「公園や緑地を増やす」同数で「今のままでよい」と続く。

2.6. 須坂市のまちづくりについて

問 28—あなたは、日常生活の中で、須坂市のまちづくりについて、どの分野に一番関心がありますか。関心のある分野の番号と、主な事業内容を記入してください。

番号	分 野 名	主 な 事 業 内 容
1	健康・福祉	健康づくり、医療、障がい者福祉、高齢者福祉、子育て支援など
2	教育・文化・スポーツ	学校教育、青少年健全育成、生涯学習、芸術・文化活動など
3	環境	ごみ、衛生、公害、自然環境、景観など
4	都市基盤	道路、河川、都市計画、住宅、公園など
5	産業・経済	農業、工業、商業、観光、勤労者福祉など
6	安全・交通・生活基盤	防災、消防、公共交通、下水道整備など
7	交流・コミュニティ	自治会活動、男女共同参画、人権、国際交流など
8	その他の分野	(具体的に：)



関心のある分野	回答数	出現率
1 健康・福祉	235	0.43
健康づくり	18	0.03
医療	35	0.06
障がい者福祉	10	0.02
高齢者福祉	78	0.14
子育て支援	36	0.07
福祉全般、福祉施設	5	0.01
保育園の充実	1	0.00
指定なし	52	0.10
2 教育・文化・スポーツ	48	0.09
学校教育	21	0.04
青少年健全育成	3	0.01
生涯学習	9	0.02
芸術・文化活動	9	0.02
伝統・文化の次世代への引継	1	0.00
指定なし	5	0.01
3 環境	62	0.11
ごみ、廃棄物	15	0.03
衛生	2	0.00
公害	6	0.01
自然環境	15	0.03
景観	13	0.02
その他（山林）	1	0.00
指定なし	10	0.02
4 都市基盤	47	0.09
道路	0	0.00
河川	3	0.01
都市計画	24	0.04
住宅	6	0.01
公園	9	0.02
指定なし	5	0.01

5 産業・経済	115	0.21
農業	30	0.06
工業	22	0.04
商業	24	0.04
観光	18	0.03
勤労者福祉	1	0.00
産業全体、企業誘致、雇用	6	0.01
指定なし	14	0.03
6 安全・交通・生活基盤	29	0.05
防災	11	0.02
消防	1	0.00
公共交通	10	0.02
下水道整備	2	0.00
上水道	0	0.00
指定なし	5	0.01
7 交流・コミュニティ	5	0.01
自治会活動	1	0.00
男女共同参画	2	0.00
人権	0	0.00
国際交流	0	0.00
指定なし	2	0.00
8 その他	9	0.02
道徳、共創、町並みなど	9	0.02

※ 出現率の母数は全回答者数の 544 である。

※ 主な事業内容は選択なしや複数に渡る場合があるため、合計は分野の回答数と一致しない。

※ 分野が異なる事業内容を複数記入している場合は最初に記入している事業をカウントしている。

- ✓ 全回答者のうち4割以上が「健康・福祉」の分野が「興味がある」と選択し、最も多い。次いで「産業・経済」、「環境」の順で選択する回答者が多い。
- ✓ 事業内容では、「高齢者福祉」「子育て支援」「医療」「農業」「商業」「工業」「都市計画」「学校教育」などの回答者が多い。

須坂市の生活について (自由記述)

《分類について注意事項》

- 意見の内容から、問 28 で使用した分野名、事業内容に分類したほか、新たにカテゴリーを作成し、キーワード、文脈等により、関連性の高い内容について、人為的に、分類を行なった。
- 回答によっては、多くの分野にまたがって触れている場合もあるが、それぞれ意見の内容の出現をカウントしている。

【問 28 の分類との違い】

問 28 → 関心のある分野について回答者が選択、回答。

本記述欄 → 自由意見の内容から、関連性の高い内容を、集計者が抽出、分類。

- 出現率の母数は、自由記述記入者の 246 である。

関連のある内容	回答数	出現率
1 健康・福祉・子育て	43	0.17
健康づくり	5	0.02
医療	11	0.04
障がい者福祉	0	0.00
高齢者福祉	18	0.07
子育て支援	9	0.04
2 教育・文化・スポーツ	22	0.09
学校教育	12	0.05
青少年健全育成	4	0.02
生涯学習	0	0.00
スポーツ	3	0.01
芸術・文化活動	3	0.01
3 環境	21	0.09
ごみ	5	0.02
衛生	1	0.00
公害	3	0.01
自然環境	5	0.02
景観	7	0.03
4 都市基盤	51	0.21
道路	27	0.11
河川	4	0.02
都市計画	7	0.03
住宅	7	0.03
公園	6	0.02
5 産業・経済	67	0.27
農業	13	0.05
工業	2	0.01
商業	31	0.13
観光	21	0.09
勤労者福祉	0	0.00

6 安全・交通・生活基盤	32	0.13
防災	18	0.07
消防	1	0.00
公共交通	10	0.04
上下水道	3	0.01
7 交流・コミュニティ	8	0.03
自治会活動	8	0.03
男女共同参画	0	0.00
人権	0	0.00
国際交流	0	0.00
8 その他	134	0.54
市職員、市議員	21	0.09
税金、各料金	14	0.06
経済・景気対策、雇用問題	14	0.06
広報、P R	12	0.05
アンケートについて	11	0.04
土地利用	9	0.04
地域活性化	6	0.02
行革、経費削減	6	0.02
行政経営、行財政	6	0.02
公共施設管理、充実	5	0.02
マナー、道徳	5	0.02
住んでよかったと思える市に	4	0.02
住みやすい、満足	2	0.01
その他	18	0.07

- ✓ 「産業・経済」「都市基盤」「健康・福祉」の分野に関する意見が多い。
- ✓ 事業内容別では「商業」に関するご意見、「道路」に関するご意見、「市職員」に関するご意見が多い。また、防災に関するご意見も多くなっている。

※ 寄せられた自由記述を以下に記載します。なるべく関連するカテゴリごとにまとめていますが、意見の内容が広範囲にわたり、分野が違う内容を含む場合があります。

※ できる限り原文のとおり記載していますが、個人情報等について一部削除・修正しています。

●健康・福祉・子育て

・須坂に生まれ育ち、環境も恵まれ、良い街だと思います。老父と暮らしておりますので、子供手当の大切さは承知しつつも高齢者と共に過ごす者として、一層の福祉を望みます。又、坂田霊園の駐車場が狭く、老人の歩く距離も負担に感じております。これからも皆さまにお世話になりながら暮らしていく身として、少しずつでも改善をお願いします。(女, 40 歳代, 森上)
・町のブロックごとの活動は、市民が役員を中心に良くやっているとありますが、老人が多くなる現実の中で医療の面での取組みがより重要であると考えます。市民が増加していく事が大切であると思います。(男, 60 歳代, 日滝)
・ボランティアで老人ホームなどに行っておりますが、古くなったり狭かったりしている所も見られます。日滝工業団地など空き土地がありますが、そういう所にホームなどがあれば、広くて影色もなく長野の花火なども良く見えます。老人の方も楽しく過ごせると良いと思います。(女, 50 歳代, 日滝)
・今後、高齢者人口が増加していく中で、介護施設、療養型介護施設などへ入所出来る受入態勢を望みます。(女, 70 歳代, 仁礼・峰の原)
・老人のお風呂の送迎のバス等に感謝致しております。(女, 80 歳以上, 須坂)
・医師を増やす。医療費薬代が高く年寄身障家族では昔から伝わる薬急増倍で支払わせられたら、生活して行けなくなる。もう少し安くなるように国へ働き掛けて下さい。(男, 70 歳代, 無回答)
・須坂病院、医師確保なるか心配。(女, 50 歳代, 日野)
・本当に生活保護が必要な方に届いているのか、確認していただきたいです。(不必要な方にも使われてはいないか) 高齢者福祉、子育てが充実している市になるように市全体で考えていく必要があると思います。(女, 29 歳以下, 仁礼・峰の原)
・長野市の様に子育て支援パスポートや小学生の福祉医療を検討してもらいたい。(女, 30 歳代, 須坂)
・小児科の開業医が少なすぎるように思う。(全国的な問題か) 少し大きな買物(電気製品など)は他市の量販店へ行ってしまふ。農地の荒廃した様を見るとかなしく思う。公共交通機関は重要だが(運転できない人にとって)実際今の状態では自家用車は不可欠で、車があればそこをあえてバスに乗ることはまずない。(ガソリン代と比較しても運賃が高いと思うし、環境面のことも考えないではないが、経済的に余裕がない) 家族が多いと尚更。(女, 40 歳代, 仁礼・峰の原)
・私は 85 才の老人男子ですが、今は健康で医薬の保護を受けていますが、やがて来る老人の最後の医療に満足な安心の出来る環境を望みます。(男, 80 歳以上, 日滝)
・須坂に住居を移し 30 年になります。子供達もそれぞれ嫁ぎ、今は 2 人で生活しています。これからますます高齢化が進みやがて車の運転が困難になった時生活の不安があります。通院、買い物等。(女, 60 歳代, 仁礼・峰の原)

・薬局が多すぎると思います。出来れば電気屋さんがあればいいと思います。医療機関の充実をしてほしいです。商店街の活性化を望みます。(女, 40 歳代, 仁礼・峰の原)
・今私が介護をしています、目の手術をして3年目でまだ油が入っていないので大変です。体を休めたいが、国民年金なので思うようには出来ませんので困っています。私が今だめになると長男や次男が困ります。気をつけて頑張っています。子供達がやっていけなくなります。(女, 70 歳代, 仁礼・峰の原)
・家族と同居している高齢者の中にも、家庭内の問題で人間関係がうまくいかず、寂しい生活をしている人もいます。民生委員とか福祉課の方が訪問し、悲しくない生活ができるよう援助することはできないでしょうか。桜百選に指定されているにもかかわらず、桜の剪定の仕方が悪いです。考えて行なって下さい。(女, 50 歳代, 小山)
・須坂病院では脳外科がなくなっただとお聞きしましたが、何とか考えて頂きますよう是非お願い致します。命にかかわる大切なことと思いますので実行して下さい。(女, 70 歳代, 豊洲)
・私はずっと須坂に住んでいます。母も父もそして祖母もずっと須坂で暮らし、私にとって須坂はかけがえのないふるさとです。より住みやすい町になるよう、皆で頑張っていきましょう。(女, 50 歳代, 旭ヶ丘)
・交通手段が主に徒歩である私達高齢者の視点に立ったスーパーや毎日の生活に必要な施設の配置をもっと考え直してほしい。又須坂駅から電柱を地中に入れるために大変なお金を使用したと新聞に書いて有りました。そんな工事に私達が収めた税金を使用しないで、もっと町の活性化に使用して下さい。アンケートの質問が高齢者には分かりにくく苦勞しましたので、分かる様にお願いします。(女, 80 歳以上, 須坂)
・若い時はどんな所でも住んで生きていけます。年寄りが好んで住める様な市にしてほしいです。買物難民が出来ません様に。(女, 60 歳代, 豊洲)
・市の施設が無い。民間施設等の活用。例えば長電スイミングスクール等と提携し、室内プール、ジムのマシーンを市民誰もが使用できる環境づくり(問題点、もう少し大きくする必要が)。生ゴミの堆肥化、市内の遊休農地を市が数ヶ所一括借り受けて大型堆肥場を作り、そこへ市民が生ゴミを自由に持って行き堆肥化する。(問題点、周辺住民からの苦情、農地法上の関係等)(男, 60 歳代, 小山)
・特定検診を受けて、塩分について食事の量、栄養のワンポイントのアドバイス調理実習に参加させていただきまして、とても勉強になりました。ありがとうございます。フレンズにも参加させてもらって体が軽くなり、1日さわやかな気分です。経過をお願いします。(女, 60 歳代, 日滝)
・少子高齢化が進み、近所でも子どもの数が減っています。「須坂で子を生みたい。須坂で育てたい。」そう思えるような市政を行わなければ、「滅びゆく市」となることでしょう。まさしく「子は宝」なのです。財政的に苦しい所かもしれませんが、未来への投資は絶対に必要です。須坂で働ける事、病中病後児の事、他の自治体と違った魅力ある教育(例えば小中一貫校など)等々。須坂で生みたい育てたいと思える市にしてほしいと思います。(女, 30 歳代, 豊丘)
・現在は車を運転して買物に出ておりますが、今後運転できない年齢になった時、スーパー等(近くにない)の買物が出来ないのでは不安を感じます。(女, 70 歳代, 須坂)

・公民館で子育て広場を補導員さんが開いてくれるなど、地域でも子どもを育てようとしてくれていてとても嬉しい。道路と歩行道の境目が無く、車が危険。近くに遊べる公園が無いので大変。道路でサッカーをしている子もいます。子育て支援を重点に未来の市を作ってほしい。子は宝です。市の災害対策と他県を自分のことのように思いやる心意気がとても伝わってきて、嬉しくなりました。市の職員さんは頑張っていると思います。(男, 40 歳代, 井上)
・子供医療費窓口無料化、子供医療費手数料値下げ。大型ショッピングモールなどあればにぎやかになるのではないかな。(男, 30 歳代, 小山)
・高齢化が気になる。役をやれる人が限られてしまう。犬のフンがひどい。(男, 30 歳代, 旭ヶ丘)
・子宮ガン検診が年 1 回受けられない事におどろいた。長野市の市民健診は毎年受けられる。2 年に 1 度、年齢が奇数でないと受けられないのはどうかと思う。以前と比べ道路が広くなったりしているが、活気がない。パルムがほとんどシャッターが閉まっていて、昔みたいに買い物ができない。(男, 30 歳代, 日野)
・もっとお年寄りの住みやすい環境にしてほしい。一人できみしく毎日を生活していると思うので、家から出てリフレッシュさせる輪が広がったらいいと思う。もっと新しい市営住宅を作ってほしい。議員さんのお給料を減らしてよりよい環境を作ってほしい。(女, 30 歳代, 須坂)
・子育て支援、農業支援を多くして欲しい。子供や孫達に受け継いで欲しい農地も収入が上らないので(農薬肥料その他をひくと)ゼロに等しく、農業を継いで欲しいと言えない。年金(国民年金)をおぎなつての農業をしています。今年は頑張って見ますが、荒廃の日が近いです。道路の向こうは住宅です。消毒もできません。雑草地になるのはすぐです。宅地化にしてください。(女, 70 歳代, 日野)

●教育・文化・スポーツ

・須坂市には個人的に人格も立派な人が多い(力のある人) 須坂市民は個人戦には強いが、団体戦には弱いのでは。団体戦に強くなる必要性を強く訴えます。たて割りでの仕事が多いので横割りです。常に物を見るくせをつけたら、又、教育を(育成)。(男, 70 歳代, 須坂)
・長期的なプランを立て、子供達に夢を与えて欲しいです。(男, 70 歳代, 旭ヶ丘)
・市民がみんな毎日スポーツをするようになる→みんないきいきとする。心も体も健康になる。10 年後、20 年後そんな須坂市になってたらいいな。医療費も下がる。竜マラのゴールを百々川河川敷にする。ハーフマラソンコースをつくる。竜モチーフの T シャツデザインを公募する。いい町だと思って暮らしてきました。おばあさんになったとき、元気で竜マラ 10 km 走っていたい。自分を大切にする人が増えて、魅力的な人が増えれば人口も増えていくと思うので、がんばりたいです。(女, 29 歳以下, 小山)
・ゆとり教育のしわよせが今の子供達にきていると思います。その為、授業時間も増えたりもしています。以前のように土曜日に授業をしたら、子供達の負担も少しは軽くなるのではないのでしょうか。(女, 40 歳代, 井上)
・少子化のため、子供たちを守るにあたり、登下校の際学校が遠い地区では、マイクロバスなど使用してはいかがかと思っています。また不審者が出るなどお話を聞きますので、須坂の子供達が安心して教育出来るよう願っております。(女, 70 歳代, 高甫)

・世の中が多様化し、情報もインターネット等であふれていますが、須坂市で生まれ育って（日本人）として、もっと身近な我々の祖先が残してきた（日本人として、長野県民として、また須坂市民として）文化や歴史、伝統の意味や思いの心を感じ、また、具体的な資料として学び次の世代へその伝えるべきことを紡いでいける町づくりを大切にできるように、自分ができることをしていきたいと思いますし、そんな活動を市政に期待します。（男, 40 歳代, 日滝）
・サラリーマン先生が増え、子供のために動いてくれる「先生」と呼べる人がいなくなり、その結果、やりたい放題の子供たちが増えているように思います。（先生方の言う事を聞かない生徒が増えているような）もっと子供のために怒って指導して下さる先生が、どの学校（小、中）にもいてくれることを願います。（女, 40 歳代, 日滝）
・どの時代でも人づくりは大変大切な仕事です。教師の質の向上（人間力）家庭教育はもちろんの事、親、教師の一人一人の成長があって、子供の成長にもつながって行くものと考えています。それが全ての分野の向上につながって行く礎と存じます。厳しい社会情勢を鑑み、市職員、議会議員の給与の見直しが必要と考えます。血税から出るお金です。よくお考え下さい。我が身さえよくばの心遣いは厳に慎まなければなりません。固定資産税が上がっている根拠は何か知りたい所です。（女, 60 歳代, 豊洲）
・学校教育で、もっと地域ボランティアを利用して活動を。学校花壇の整備などでも。（男, 30 歳代, 豊丘）
・須坂市は市街地の中に四校も高校があり、小学校も須坂小、小山小、森上小等近い所に集まっている珍しい市だと思いました。児童数も減っていること等から、市街地の小学校を統合し、数を減らしていったらどうか、教育に掛かる予算も少なくなると思います。（女, 60 歳代, 仁礼・峰の原）
・市民が満足して生き生きと暮らせる地域を作り、文化、スポーツ振興も強化して、誰もが魅力的な町と感じれば、人も集まってさらに活性化される。まずは住む人が充分に満足できるようなことを重点的に取り組んでほしいと感じます。せまくて整備がされない道路網が、不活性の原因になっている。道路整備を含めた土地利用をしてほしいと思います。（女, 40 歳代, 須坂）
・例えば学校教育の内容（給食など含め）を独自に充実させるとか、子育て支援とか、医療とか、思い切って須坂ならではの政策を充実させて、もっと定住人口が増えるように考えて欲しいです。人が増えれば活気も生まれるでしょう。須坂は交通の便も良い場所ですし、周辺の人々が引越したくなるような町を目指してください。観光客なんてあてにしないで。（水物です）（女, 40 歳代, 日滝）

●環境

・広域ゴミ処分場を須坂市に持って来ないでください。（男, 40 歳代, 森上）
・私は雪深い新潟県の生まれです。子供の頃は 2 m 以上の雪が積もり、学校へ行く前に雪片付けをし道をつくり、細い一本道を通いました。途中で人をよければ雪の中に埋もれ、なかなか前には進めませんでした。風が冷たく切ない時があり、故郷が恋しくて涙した事もありましたが、この地に住んで 40 年以上となり、まわりの山々にいやされます。よい所だと心から思います。（女, 60 歳代, 仁礼・峰の原）
・仁礼の山林地帯に産業廃棄物処理場を計画するような市の指導体制は残念である。産業廃棄物は、最も標高の低い土地に深く埋めて、地上に染み出す危険の最も少ない場所を選ぶべきである。須坂市は、県都長野市に極めて近いので、その補助機能（住宅等）を兼ね備え、郊外に工業都市との両立する都市として生活にも配慮した都市建設をはかるのが良いと思う。（男, 80 歳以上, 高甫）

・蔵の町のイメージが強い町並みですが、緑の空間がもっと欲しいと思います。癒やしの緑の多い町にして欲しい。（女, 60 歳代, 森上）
・山林の整備（男, 60 歳代, 日滝）
・須坂市は昔から町並みが城下町のような道路事情により、複雑化してなかなかわからないと言われてきていますが、近年特色を出しつつも明瞭化してきています。その中で歴史的景観が失われ、商業も衰退の一途をたどり、段々と昔のおもかげだけ残り、発展に期待がかかっています。行政の思い切った施策を望むところです。財政の厳しい中で期待します。（男, 50 歳代, 須坂）
・空気の良さ、自然の四季の変化がとても気に入っています。今は、須坂の地盤の強さに、揺れが少ないのに心強く感じています。（女, 60 歳代, 高甫）
・ごみの収集場所に自宅の塀を貸しているが、その場所を使用している近所の人は誰も掃除をしない上に、ペットボトル用のアミやコンテナを組み立てようとしません。あまつさえ、うちだけでやるのは大変だから手伝ってほしいと言ったら拒否された。そんな人たちにごみ置き場を提供するのは非常に腹立たしい。そこで、ごみ置き場を各町公会堂やスーパーなどに設置して管理してもらえないだろうか。昔からあった商店がどんどんつぶれて道も広くなり、思い出がなくなっていく。大型スーパーは車がないと行けないので、今回のような災害があると買い物にすら行けなくなる可能性がある。商業施設の誘致も大型店で広大な駐車場を必要とするものはこれ以上増やさない方がよい。また、24 時間営業や深夜の電灯の使用は今後もやめるべき。スーパーの食品トレイやパックも対面販売形式なら必要ないので包装材のカットに行政が乗り出してもらいたい。（男, 29 歳以下, 須坂）
・住宅地での鳥類の飼育には許可申請もしくは規制等は有るのでしょうか。もし無いのでしたら、規制を考えてもらえませんか。ペットを飼うのは自由で、動物には何の罪も無いですが、放し飼い状態となる鳥類は近隣に害も有る為です。何卒ご検討下さい。（男, 30 歳代, 須坂）
・廃棄物業者の不法とも言えるストックにより住宅地の景観がゴミ団地と化している。この現状を市行政として指導改善してほしい。（男, 50 歳代, 仁礼・峰の原）
・子、孫達に、良い環境・自然環境を残して欲しいと思います。（女, 60 歳代, 日野）
・昼も夜も燃やしている。くさい。市役所は、前例が無いとの答で終る（子供関係）。防災マップが手元に来ない。農地を優先されるのはいいのですが、歩道がない。枝が道路にのびっぱなしが多い市です。りんごの木は道にはみでは、歩道はないは、朝から晩まで何でも燃やすでは困る。から農地はいらない。夜、燃やすのはやめるようにならないですかね。もう移ってきて6年になりますが、街の中で毎日燃やしているが、お宅がわからない。畑の中だったらわからない。臭いもくさいです。（女, 30 歳代, 豊洲）
・都市部より移住して、水と空気の良さに何より感動しています。水と空気のきれいな所に住む人は、心も美しくいられるとさえ思います。その源である「森と水源」を大切に、美しいまま後世に残していくのが一番大切な事と思います。森と水源をダメにしかねない開発には反対です。市街地の活用されていない土地・建物を公園や緑地化し庭園都市みたいにする。（女, 40 歳代, 小山）
●都市基盤
・長野市と早めに合併し、中核都市としてレベルの高い都市造りを望む。（男, 60 歳代, 豊洲）
・道が狭い。活気が欲しい。須坂市のPRを積極的に行なう。（女, 29 歳以下, 高甫）

・道路整備があつちで少しこちで少しは困ります。場所を決めて一本の道路を完成してください。一本済んだら次の一本を整備して下さい。どこもいい加減な感じで景観も悪いし通行も不便です。どうかぜひ実行して下さい。お願いします。(女, 70 歳代, 須坂)
・①工場や商業地を増やすより住宅地をふやすべき②総合公園等の設備をし、防災設備を拡充してゆくこと。①＝商業や工業等を誘致しても車での通勤等で市へのメリットなし、利益が出なければ税金もなし。住宅地を増やせば人口も増え、税収も増える。須坂市がどの方向へ進んでいくのか(工業、商業、農業)ははっきりすべき。私は、学生と住宅の街で行くべきだと思う。②＝災害時の避難場所に小中高体育館、公会堂等安易に決められておりますが、その避難所に毛布や食べ物、トイレ等ある程度必要なものが置いてない。そんな所は避難所とはいえない。必要なものは普段から備えておくべき。須坂市は大変住みよく、良い街だと思います。今後は住宅を増やし、学生を増やし、市役所(公共)等もみずからお金を稼ぐことを考えて下さい。工場なんていらない。住みよく、防災も充実した良い街になることを希望します。(男, 60 歳代, 井上)
・中途半端な観光より住宅地として住民を増やす。安心して働ける企業が少ない。企業誘致をして雇用を増やして欲しい。子供達が体を使って遊んだり、町の行事をして欲しい。町の行事も昔は野山へ出かけたが、今はボーリングなどをしている。自然を体験して欲しい。(女, 60 歳代, 森上)
・県外から来た者として、市内を見ると当市は経済的発展道路行政等特に悪く、発展どころか死に町である。40 数年前と特に変わっていない。高速道出口は正に死に町である。須坂駅前等も同じ、これでは発展しない。市内全体を市長以下全職員があるいて欲しい。(男, 70 歳代, 須坂)
・米子町より長野方面に通勤する時、どの橋も冬は大変危ない道路で、何とか一本でも平らに通れる道路が欲しい。(男, 70 歳代, 仁礼・峰の原)
・須坂は、こんな所は素晴らしいという都市を。行き当たりばつたりの計画では。須坂の町は、「クラ」の町、古い町、坂の町、自然の町、全体を見て計画を商業的、公園的に施設等計画されればいかがでしょう。市職員の活性化を願います。考えを若く願いたい。(女, 60 歳代, 高甫)
・ウォーキング＝歩け歩け運動が心身に良いことと思っておりますが、特に冬場の道路工事、公園の滞り、歩道の除雪無しなどに困ります。広報すざかの放送＝マイクの声が聴き取れません。話し相手が欲しい＝町中にも気軽に一服出来るようなコミュニティーセンターが欲しい。観光＝大型団体客を迎える＝受け入れ態勢がないように思います。(大型のホテル、食事処、休憩所お土産品、など)(女, 70 歳代, 小山)
・安心して住める市営住宅をふやして欲しいです。年してから他の所に移るのは、どんなに不安があるかわかりますか。もっと早く考えて欲しかったです。(女, 60 歳代, 須坂)
・雪の除雪をもう少しきちんとしてほしい。(男, 29 歳以下, 須坂)
・市全体的に、道が狭く感じます。(男, 29 歳以下, 日野)
・市内の信号のつながりが悪い。青になって出ると次で赤になる。車のない交差点で、信号が作動している信号が多すぎる。(女, 60 歳代, 豊丘)

・ 20～30 年前とは変わり、今はすっかり車社会です。私は通勤や保育園の送迎で歩くことが多いですが、歩行者のすぐそばをスピードを出して走っていく車が多く、とても危険を感じます。須坂東部保育園の周辺は、道が狭いけれど交通量が多いので、歩道の整備をお願いしたいです。須坂病院の近くは、歩道と車道の間に「ガタガタ」が整備されとても良いと思いました。交通（マナー）についてですが、私は信号機のある交差点の横断歩道で右折や左折の車やバイクにひかれそうになった事が何回もあります。（郵便配達バイクにも）これでは、子供が安心して通学できないし、危険です。交通マナーの徹底を広報していただきたいです。（女, 30 歳代, 日滝）
・ 市街地の河川の流れを取り戻し、汚れないきれいな川にして、環境の良い市にしてほしい。夏祭りの行列中に汲み取りの臭いが漂っているのは、観光客もさぞがっかりしたんだろうと思ったことがあった。市街地の下水道の整備をもっと強力に押し進めるべきと思う。（男, 70 歳代, 須坂）
・ 須坂市内の 4 m 以下の道路について（建築確認）道路中心より 2 m 後退だがされていない。他の市においては後退がされているが、須坂市においては、されている所とされていない所があり、おかしいと思います。河川についても同様、基本的な決め事がないのですか。（1 m 以上は 4 m 後退）いつまでたっても、道路は広くならないと思う。（男, 50 歳代, 高甫）
・ 歩道がないところ、狭いところ、凸凹段差があるところがあり、歩行者に安全な道づくりを。妻が数年前脳内出血で倒れ、ケアマネージャーさんのご配慮で、デイサービス、ショートステイなどにお世話になり、現在は老人保健施設に短期間入所させていただいています。食事は私が料理できず、配食サービスを利用させていただいており、大変感謝しています。高齢者福祉課には大変お世話になってます。ありがとうございます。高齢化のため、私の隣組では毎年やっていた新年会が 2 年前からできなくなってしまい残念です。気軽に触れ合えるグループが出来ればと思っています。（男, 70 歳代, 森上）
・ 私の住んでいる地域は環境は良いところだと思います。車などの排気ガスや、野焼きなども少なく周りも静かで住みやすいと思います。ただ一つ常に思う事は、道路の整備が悪い事です。以前、身内に妊婦がいた時、病院へ定期検査に行く時、道路の整備の悪さが影響し、腰とお腹に振動がいきすぎて具合悪くしてしまいました。下水道工事の後の整備の仕方も問題があると思います。工事する前よりひどい道路になっている所も多々あります。多額の金額を使用している以上満足できる事をしてください。（女, 29 歳以下, 仁礼・峰の原）
・ 生活し易い市だと思います。おいしい水、食物、風景 etc。しかし、冬季、降雪量が多い時の道路、除雪対応が無く（遅すぎ）通勤時大変困難しました。あまり無いこととは思いますが、だからこそ対策が必要だと思います。（事故防止の上でも）又、祝日のゴミ回収もお願いしたいです。週 2 回なので是非 2 回は確保していただきたいと願います。（女, 50 歳代, 日野）
・ 車の通れない道を補い、歩行者や観光に焦点を合わせているのかと思えば、大雪が降っても除雪もしていない。観光地として、充実させるにも駐車場の整備がなされていない。ドーナツ化しており、町中心の住民が減っている気がする。町中心の住民地の整備は必要ではないのか。（女, 40 歳代, 須坂）
・ 仁礼地区は自然環境のわりには、子供達や老人が、ちょっと立ち寄る公園が有りません。施設はあっても、あえて出向く場所であり、地域の子供達が気軽に行く場所ではありません。家の中で遊ぶ子供達が増え、外で遊ぶ子供が減っています。地域ごとに、小さいながらも公園が欲しいですね。（女, 50 歳代, 仁礼・峰の原）
・ 市営住宅など、アパートではなく、安く入れる住宅がたりない。（女, 40 歳代, 豊洲）

・ 小山町十王堂より、公園に抜ける道の階段に手すりが必要。通行人が多いので手すりを設けてほしい。(女, 70 歳代, 小山)
・ 道路の整備をして欲しい。広い道路というよりも、今の道路の路面状況を改善して欲しい。国道、県道、市道とどれも須坂市の道路は良くない。(男, 30 歳代, 旭ヶ丘)
・ 冬の除雪対策を徹底させて欲しい。広報の連絡が聞こえない(スピーカーの場所が遠い)。(男, 30 歳代, 須坂)
・ 須坂市に永住するためには、やはり住みやすい環境作りが大切。須坂市の道路などの整備が必要。今は共働きがあたりまえと考えた親が安心して働ける環境が大切。(小学校長期休みの対応)など。(女, 30 歳代, 須坂)
・ 歩道の整備、拡幅が必要(車椅子、シルバーカー等利用上段差等有る)。(男, 50 歳代, 日滝)
・ 現在住んでいる場所に川がひかれています。川は市のものということで、少ない金額ですが支払をしています。夏はどぶの臭いがくさく窓を開けません。以前住んでいた所に比べ、便利ではありますが生活環境としては不満を感じています。(女, 30 歳代, 須坂)
・ 毎年台風の時期になると、河川の氾濫がとても心配。(村山橋は高くなり、安心、安全にはなりませんでした)新卒者の就職口が無い事がとても心配です。須坂市にもっと商業、工業等を増やしてもらえれば、須坂離れも少なくなるのではないのでしょうか。須坂市にもっと老人施設を増やして欲しい。(女, 50 歳代, 日野)
・ 交通弱者と言われてる人の為の、道路、歩道の整備、特に高甫橋を渡り、望岳台団地から先、下八町の菅平線まで、道路幅が狭く恐くて歩けないし、バス、ダンプが来ると恐怖で歩けない。道路は左右に傾いているし、一日も早い整備を心から深くお願いしたい。(男, 40 歳代, 高甫)
・ 我家は商店街の中にありますが、店主のほとんどが高齢者になり、以前のような活気はなくなっているのが気になるが、合わせてその周辺に住居している人も高齢の方ばかりで、やはり買い物などに事を欠くことが多くなっている以外は、住みやすい場所だと思います。交通量も少ないことは、反面歩きやすい場所だとも思います。ですので、先の質問にもあったように、町の中に高い建物を建てなくても住宅を整備していただいて、安心して住めるタウンをつくって欲しいと思います。(男, 60 歳代, 須坂)
・ 駅前が廃れすぎ。何も無い。交通機関が充実していない為、車が無いとどこにも行けない。車を持っていない人にはとても住みづらい。相之島に農業用の道路はたくさん出来ているみたいだが、小島のサークルK前は信号や横断歩道すらなく、事故がよくおきているので、何とかしてほしいです。ショッピングセンター内をもっと活性化させて、高校生とかが遊べれば良くなるのでは。協力はしますので、もっと住みやすい市にしてもらいたいです。(女, 40 歳代, 豊洲)
・ 公園が町によっては少なく、子供達は学校のグラウンドか家で遊んでいる方が多いと思います。(女, 50 歳代, 仁礼・峰の原)

- ・親族が交通事故にあい、自分も車を運転していて逆の立場なら「明日は我が身」加害者側になることの恐怖を知りました。車を運転していて、いつも気をつけていますが、事故にあった場所の反対側も死亡事故（2年前）があった場所で、そのために歩道やガードレールその他を完全に整えたようでした。不注意や速度の加速もあったにしても、何度もその場所を通ると道路標識の棒やガードレールで影になり、特に夜など暗くなると見えにくい様に思えました。警察や交通安全協会だけの管理だけでなく、市でも通学路や横断歩道があっても死亡事故や重体事故にあった場所の把握をし、検証、検討して欲しいです。事故のおきる場所は、数度おきていると思います。警察は、忙しくてそこまで出来ずに、被、加害者に中立でいなければならないので無理だと思います。（女, 50 歳代, 豊洲）

●産業・経済

- ・積雪時の除雪をきちっと実施して下さい。屋部町のバラ園を中野市へ移設したのは同じ市民、町民として残念でした。外部からの集客（金をおとさせる）という概念からも残念でした。東山公園に移り春のシーズンには多くの人々でにぎわっています。メセナホールは大きな赤字です、大物アーティストを呼んで下さい。小布施は小さな町なのに、全国区ですよ。先日、新宿のデパートに行った際、須坂は認知度がゼロでしたが、小布施町のことは知っていました。20代の女性です。蔵のまち須坂でPRしていますか、たまに中年の夫婦連れを見る位です。春のGW、秋の観光シーズンに小布施に行ってみて下さい。県外ナンバーの車、観光バスが来ています。（男, 50 歳代, 小山）
- ・町内に活気がなく、商店の活性化を望みます。農業の高齢化を考慮し、若年の人々が就農できる様配慮願いたいものです。消防団員の確保に努めて欲しいです。（女, 40 歳代, 豊洲）
- ・食料自給力を上げる為に荒廃農地の有効利用をうながす。定年退職者の生きがい作りにもなるような取り組みが出来ると良いと思う。老人パワーの活用。（女, 60 歳代, 高甫）
- ・中山間地の有効利用生産性向上、適性産物の集約化で生産性適性所得向上。（男, 70 歳代, 仁礼・峰の原）
- ・（身近な所では）長野市大豆島付近にあるような、遊具と広場があるような公園を作ってほしい。大型の商業施設がないため、色んな買い物がある時は、買い物には長野や中野へ行きます。福島グランドのトイレをもっと清潔に、使いやすくしてほしい。市外の人 came 時、須坂市の印象が悪くなります。（女, 30 歳代, 小山）
- ・買い物（食品以外）をする場所がない。長野市や中野市に行くしかない。唯一の交通手段の長野電鉄が高級すぎるため、通勤に利用しようとは思わない。もう少し、利用しやすいとありがたい。評判の良い病院がなさすぎる。なぜ。産婦人科が利用できないのが困ります。（女, 29 歳以下, 豊洲）
- ・須坂はただ食べて住むには静かでいい。災害も少ない。しかし、銀座通りなどほとんど人がおらず、店も閉まっている。長野や小布施と違い知名度も低く、また商店の人の考えもやる気なく、従ってほとんど大型店にしか行かない。静か＝すたれた町になりつつある。もっと駅前を整備し、地元の商店主達が地元の人を大切にしたい対応をしないとシャッター通りになる。親せきもいないので永住は考えていない。（持ち家だが）いっそ、長野市に合併した方がいいような雰囲気である。湯っ蔵らんどはいいが、須坂温泉はひどいという人がいる。自宅前を通った人がお湯は汚くて入れないと嘆いていた。私もほとんど（今まで1回のみ）行かない。市の中心部をきれいにしないと親せきも呼べない。（無回答, 60 歳代, 日滝）

・今現在商業が振るわないので、これから商業を復興しても無理がある。観光面に力を入れて、須坂市を全国に知らしめる様、活動していけば良い気がします。生島ヒロシの「おはよう一直線」で、須坂市を文化の高い町だと放送しておりました。須坂市民として、とてもうれしく思いました。そこにヒントがあると思います。(女, 60 歳代, 豊洲)
・須坂市内にもっと商店をふやして下さい。(男, 80 歳以上, 仁礼・峰の原)
・駅前、銀座等、買物に利用することが全くない。魅力ある商業施設があれば良いのですが、もっとにぎやかな須坂市になって欲しいです。(男, 60 歳代, 井上)
・市の北部地域において、生活に不便さを感じる。集合型商業施設やガソリンスタンドなど、もっと充実して欲しい。路線バスの路線や時間を充実して欲しい。自家用車から公共機関利用が生活ベースになれるように。(女, 30 歳代, 井上)
・偏った農業の再編(男, 40 歳代, 森上)
・小学生だった頃、須坂ショッピングセンターは活気があって、親と一緒に買い物に行くのが楽しかった。また、近所には子どもがたくさんいて、野球をしたり遊ぶことが楽しかった。あの当時は、子ども心にずっと須坂に住みたいと思った。でも現在は、それほど不満はないけれど、ずっと須坂に住みたいと思える魅力もなくなってしまった気がする。住むには静かでいい所なのだけど、物足りない感じが残る。(男, 40 歳代, 日滝)
・蔵の町だけでなく、外の観光にも力をいれてみては。(男, 60 歳代, 豊洲)
・須坂市では物価も安く、生活をしてゆくには住み易い。けれど、あまり便利でないと思います。道路も狭く、外からの観光客が入りづらいと思います。駅前の活性化を含め、魅力ある須坂市を計画的に考えて欲しいと思います。住む人が生活し易い町は、活気が生まれ、自然に人が集まると思います。(女, 50 歳代, 日野)
・市内には絶景ポイントが多数あるので、観光客にも知ってもらいたい。(私以外にもポイントを知っておられる人がいると思う)(女, 60 歳代, 須坂)
・名物や高齢者向けのものが多いのは良いと思う。だが、若者向けのお店がなく遊べる場所がないのに不満です。遊ぶとなると遠くに、車か電車を使いお金を使う事になってしまう。道徳教育にもっと力を入れてほしい。中学で、いじめがいまだにある事がとても不満である。(男, 29 歳以下, 須坂)
・須坂銀座通りの活性化に力を入れて頂きたい。行政に任せるだけではなく、私達市民も考えていかなければいけないと思いますが。(女, 60 歳代, 高甫)
・魅力ある町造り、自然を生かした美しい町造り、誰もがもう一度行きたいと感じる町造りを願います。すぐに必要を感じないような所で道路を作っていたり、そのままになっていたりと、計画性と実行性に疑問を感じます。もっとも大切なものから優先順位を決めて、税金を有効に用いてひとつひとつきちんと目に見える形で行なってほしい。(女, 50 歳代, 日滝)
・子供の頃、須坂ショッピングセンターをよく利用していたが、今はシャッター商店街になってしまったのは寂しい。住むには苦勞しないが買物は長野市でという意識が強いのかも。工業分野でも大手企業が市内から撤退してしまったことも市の力を弱めてしまった原因なのか。みそすき井はいいアイデアだと思うが、宣伝力が足りないため、いまいち須坂名物になりきれていない。 (男, 30 歳代, 仁礼・峰の原)

・空店舗、空家が多く見られ、町に活気が無い。観光客が多い小布施のように人々を呼び込む何か工夫が必要と感じる。(男, 70 歳代, 小山)
・須坂の中心部、須坂病院から銀座通り国道 406 号線中町、上中町を中心とした観光開発を進めるべきかと思います。須坂の蔵の町をもっと中心で進めるべきかと思います。(男, 60 歳代, 須坂)
・須坂市中心部にある商店は次々と姿を消して、シャッターが下りたまの寂しい通りになっています。せっかく蔵を生かした美術館や景観があるのに、もったいないと思います。近くに土産店や飲食店を誘致して活気あふれる街にしてほしい。PR も不足していると感じています。新しい試みをもっと大胆にすることが活性化につながります。このままでは、いつまでたっても小布施町に人が流れていってしまうと思います。(女, 40 歳代, 須坂)
・須坂市といって一番に言われる事は、「須坂市はどこに何があるかわからない」「道がよくわからない」という事です。せっかくの観光スポットや公共施設もうまく説明できず歯がゆい思いをします。少しでも主要道路を広くしたり、目印となる建物があればいぶん変わってくると思います。新しいお店が須坂に出来ても、何の店なのかどんな物が売っているのかわかりません。また、観光スポットも駐車場が十分無く行く事ができなかったり、大型のバスがうまく道路を進めていない状況をよく見ます。須坂市の行方不明者等の放送ですが、3 回繰り返すより、2 回繰り返す方がいいと思います。これからもよりよい町づくりにむけて活動よろしく願います。(女, 29 歳以下, 豊丘)
・元気なお年寄りが多いと思います。でも、出ないのは勿体ない。商業地は、もっと人に係わるべきだと思います。待っているより、声をかける事が必要だと思います。せっかく目の前を通って下さったのですから。(女, 50 歳代, 旭ヶ丘)
・農地の有効利用。(男, 30 歳代, 井上)
・須坂市は美術館他いろいろあるが、その場所に行くまでが離れていて交通に不便である。又その周辺には店などが少ないと思います。もっとまわりに何かあると興味を持てると思うし、他の県からも見学に来たいと思う人が多く来るのではと思います。(女, 50 歳代, 須坂)
・蔵の町として、税金を使い建築した会館等、利用できているのでしょうか。観光客の影すら見受けられません。我々市民も行きたいとは思いません。皆が喜んで使用出来る物に、有効にお金を使って頂きたいです。依然として須坂の発展が目に見えて来ません。お店はだんだん減るばかり、良くしようという意志が見えて来ないのです。頑張って頂きたいです。消費者は、皆長野に出向いています。(女, 60 歳代, 須坂)
・農業の再興に期待したい。小さな商店を守り、買い物難の地域を増やさないで欲しい。(男, 40 歳代, 仁礼・峰の原)
・無計画と思える町並み改造をせず、今在るものの活用を考えるべき。不便さも一つの文化。若者で活気溢れるまちづくりをしてほしい。「文化の香り漂う町並みに似合う若者」など。例えば、かつて須坂の産業であった「絹」を使った若者だけ参加のファッションショーを行い、小池千枝氏による審査を行い、新人の登竜門とする。メセナで発表会、須坂祭りで披露する。ショーの応募者には市内の空家、空店舗を無料か格安で提供し、須坂に住んで作品を手掛けてもらう。若者が街に定住する事により、新たな発想が生まれ、街全体が活気付くと思う。(男, 50 歳代, 森上)

・まわりのぶどう畑等が、どんどんアパートに変わっていく。農業を支えていく人が、いなくなるからだろうか。アパート（マンション）は空いている部屋も多いと聞くのに。農地を減少させず、食糧自給率を高めていかなくてはいけないのに不安である。家庭菜園利用農業会社をおこすこと等できないものでしょうか。須坂市に住んでみて思ったことは、J R に比べて、あまりにも長野電鉄の運賃が高くて、生活しづらいと思いました。高校生の交通費がとても負担でした。須坂市に特別支援学校ができ、教員等の配置がされたのはとてもありがたいです。中 1 ギャップを乗り越えるための学級の人数削減もうれしいことです。でも、大人一人一人が、自分の子育てに対し、人のせいにせず、責任をもっと持って行動しても良いと思うのですが。教育や子育てに限らず、全般に言えることと思います。大人の有り様が、子供の育ちに影響します(私達がしっかり生きていかないと)。大震災の大変な時期にこのアンケートが送られてきた事にもびっくりしました。送付時期を遅らせるとかすべきだったと思います。色々ある人のことも考えて。(女, 50 歳代, 日野)

・買い物をできるだけ「市内で」と思っても、大型店など少なく、買い物しやすい店、おいしい店も少ないため、「長野市へ」出てしまう。小さな個人商店も大切だが、現代にあった買い物しやすい店など(食事する店も含め)新しい町づくりも大切だと思う。市民も市内で全て買い物等出来たら嬉しく思うし、市としても充実してゆくと思う。(今のままでは、お金は他市に流れるのみ)駅前も死んだようになってるし、昔メインであったショッピングセンターも人気も人の気配も無い。長野や中野の様に他市の方も買い物に来てくれる元気な町づくりをしてほしい。(女, 40 歳代, 小山)

・須坂は大好きです。文化や方言、適度に田舎、でも不便はない。自然も沢山あり、しかもありのままの姿で多く残るのがいいと思います。ずっとこのまま、須坂の人が大好きと思える町であってほしいと思います。郊外には里山とも呼べそうな景観が広がるところもあります。ぜひそれは守って頂きたいと思います。井上の小坂神社～周辺など(女, 30 歳代, 井上)

・アウトドアが人気の現在、豊丘ダム周辺その他里山等利用してのハイキングコース、オートキャンプ場等々、県外からの集客を目的とした事業を展開したらどうでしょうか。映画のセットの様な訳の解からない蔵の町では、無理がありそうです。(男, 50 歳代, 須坂)

・須坂は近隣の市町村と比較すると、観光、商業、工業面で劣る所が多い。観光面ではインパクトがなく通道的存在、市民の買い物は長野市、中野市の大型店へ。このままでは須坂市は遅れていく一方です。改善案を市民からアンケート等で募って見たらどうでしょうか。(男, 40 歳代, 豊丘)

・町には空店舗がたくさんあり、又は耕作されていない田畑もあちこちにあり、草だけが茂っています。須坂市にはおやきを作っているお店が数店あり、皆おいしく人気があります。また、地元の農家の皆さんが作った野菜も大変評判が良く、すぐ売れてしまいます。駅の周辺等すべてが満たされるような道の駅が欲しいですね。おいしいお料理も食べたいですね。(女, 70 歳代, 須坂)

●安全・交通・生活基盤

・安全性と言われていた日本の原子炉、まさに安全性が覆されています。今一度、安全性、環境の安全等を考えて頂き、不安材料がある中での強引な進め方はしないでほしいと思います。過去に土砂災害の恐ろしさは体験しています。今一度、宜しく願いいたします。(女, 50 歳代, 仁礼・峰の原)

・東日本大震災で須坂市の避難所の小学校中学校はわかりますが、毛布、水、米など備蓄してある場所がわかりません。皆にわかるよう看板に書き、歩いていても誰でもわかるようにしてほしい。(女, 50 歳代, 仁礼・峰の原)

・今回特に感じましたが、防災放送が聞き取れません。(男, 50 歳代, 日野)
・交通手段の充実をお願いします。車がないと生活できません。(女, 50 歳代, 井上)
・今回の大災害で須坂市民(私達)は、恵まれていると思っています。(土地的にも)が、支援活動への取り組みをもう少し早く、企業等巻き込むなどして、行なって欲しいと思いました。1 人 1 人が思ってもなかなか形にするのはむずかしいと思います。災害支援を受けた須坂市だからこそ、わかる痛みもあるのでは。(女, 50 歳代, 仁礼・峰の原)
・地域によって防災無線が反響してしまい聞えにくいので、いざというときに困るので何とかして欲しい。(男, 40 歳代, 日滝)
・どの地域においても交通の便が良い状態にしてもらいたい(車のない人にとっても)(女, 30 歳代, 須坂)
・須坂市に嫁いだ頃は、城下町の道並みがわからず、よく迷いましたが、住み慣れれば都です。ただ、市街地から離れると、お店が少なく、これから高齢化社会を向かえるにあたって、車の運転が出来なくなったり、外出困難になる方も増えると思います。須坂にも移動スーパーのような車があれば良いと思います。あと、避難場所は、学校や公民館等ありますが、万が一の「防空壕」はあるのでしょうか。戦時中使用された所を見直すことも必要かと思います。第三次世界大戦なんてなければ良いのですが、何か予感が致します。(女, 40 歳代, 小山)
・きこえる防災無線に。難聴エリアが多いことを知りながら、改めようとしない市政。他の問題も同様、必ず後悔すると思う。アンケートだけの市政の繰り返しにしないように。(男, 60 歳代, 日野)
・飲み水が悪い。(女, 80 歳以上, 井上)
・高齢者、郊外、買物弱者がでるのでは。(男, 70 歳代, 仁礼・峰の原)
・防災体制の充実をお願いします。労働と雇用の充実をお願いします。憩の場、いやしの場、公園の充実をお願いします。健康づくりの充実、気軽にスポーツを。(男, 50 歳代, 豊丘)
・市民の生活に何が必要なのかを考えたところ、例えば、買物弱者に対する支援ですが、不便な場所へも(ほほえみ)バスの様なものを廻してください。又、災害時の避難場所のお知らせや、わかりやすい放送の取り組み等お願いします。(男, 70 歳代, 高甫)
・防災無線よく聞き取れません。宜しくをお願いします。(女, 70 歳代, 高甫)
・防災放送が聞き取れない。何を言っているのか聞きづらい(窓をあけても)。話し方を工夫してほしい。肝心なことがわからない。ふだんから重要な放送をしていないから、またかと思う。いざという時に重要性のあるものだけにしてほしい。(女, 50 歳代, 小山)
・旭ヶ丘小学校や相森中学校の場所ですが、避難場所になっているのに、その場所に行く為の道路がせまいと思います。物資を運んだり車で通行するにはせめて 2 車線にして欲しいと思います。(女, 30 歳代, 旭ヶ丘)
・災害に強い市にしてほしい。(男, 60 歳代, 小山)
・東北関東大震災が発生し、地震、津波被害、原発事故による放射性物質の流出と、ニュースを見る度に胸がしめつけられる。野菜や、人間に不可欠な飲料水が摂取できなくなるかもしれない。幸い長野県はまだ被害が出ていないが、この先わからない状況で、きれいな須坂の水も何時汚染されてしまうのか。いつになったら安心した生活が生まれるのか。と不安を覚える毎日です。(女, 50 歳代, 須坂)

- ・市街地から離れた場所に住んでいる者にとって、車がないと日常生活が送れない状況は不便この上ない。徒歩 10 分圏内に日用品を買う店も、娯楽施設も無く食事処も僅か。にもかかわらず、バスの本数は少ない。市街地や高速付近の開発も良いですが、地区によって日常生活を送る上での不平等な格差を縮める努力や工夫をお願いしたいと思います。P. S 直線の長い道路上の青信号がまちまちな事が多いです。全て同じタイミングで青赤になる様にした方が良いのでは。(男, 30 歳代, 高甫)

●交流・コミュニティ

- ・なぜだかわからないが、無駄な行事が多い(私の住んでいる地域) だいたい日曜日に行事が行われるのだが、独身で土日が休みでない企業に働いている人が当番になった時はどうなるのだろうと思う。昭和の時代とちがい、今の厳しい雇用情勢では、行事の度に会社を休んでいたらクビになってしまうそうだし、下手をすると住人が須坂の町から離れていってしまうような気がします。(女, 30 歳代, 仁礼・峰の原)
- ・30 代半ばで協議員にかり出され、この 4 月で 2 人目出産予定なのに、そのゆとりが全くない。他地域では回覧板だけまわせば良い状態にある。同じ市民税を払っているのに非常に不公平。わが地域は世帯が百戸を割っている状態のために起因しているので、各地域 2～3 百戸程度になるよう統合するべきだ。後、ブロックや地域公民館に存在意義があるのか疑問である。無駄な税金、土地利用、行事が発生しているとしか思えない。消防団の強制的な勧誘もおかしい。火災現場に行っても見ているだけの状態、年末には公民館に集まって酒盛り。存在意義があるのでしょうか？その宴会のお金で、高齢者の方へ火災報知機を配布したほうが税金の有効活用と命を守られるのではないのでしょうか。(男, 30 歳代, 井上)
- ・市民清掃について、町によってばらつきがあり、墨坂(八幡)は 4～11 月まで月に 1 回、しかし、屋部ではほとんどないとのこと。すべての人が参加して、むらがないようにしてほしい。街路樹(墨坂～メセナ)の剪定を必ずおねがいしたい(落葉をかたづけきれないため)。(女, 50 歳代, 森上)
- ・市の役が多すぎる。親睦とか聞こえはいいけど役のなり手がなく困っている。たとえば分館行事など考える時がきているのではないかと、すべてやめても良いと思われる。安協などいろいろ。(男, 50 歳代, 旭ヶ丘)
- ・近所では年配の方が多く、町の運動会や行事などなかなか参加してもらえず、いつも役員(三役)や決まった人で行います。だからマンネリ化しています。老人が多いせいかわ子供がどこに、どの家に住んでいるのかよく知らず、子供同士で遊ぶ事がとても難しい状況です。子供を育てるには、もっと支援、場所が必要だと思います。(女, 40 歳代, 森上)
- ・高齢化により、役の引き受け手が無い。住宅増による住民増を。(女, 60 歳代, 高甫)
- ・市民の生活を良くする為だとは思いますが、区民の集会が何かと多い。河川の草を刈る日が 1 年に 1 度あるが、人間の手で刈るのは、大変な量だと思う。引越ししてきた時、区費(10,000 円)を払ったが、この意味がわからない(他県から 1 年半前に引越してきました)。(男, 40 歳代, 豊洲)

●市職員、市議員

- ・ 須坂市に在住し、ほぼ満足な毎日を過ごさせて頂いております。以前、伊勢地方に旅行に行った時、須坂というと皆さんが「ハッチ」と言われ、行きましたヨとか聞くと、改めてハッチの大きさを感じました。新たな観光につながる魅力をと考えます。久しぶりに先日、役所に印鑑証明を頂きに伺いました。その窓口横の机にインフォメーションのような場所があり、1人の女性が座っておられました。ただ座っておられました。きっと、その方に話しかけ、そこからが、その方のお仕事なのかもしれません。「お聞きしたいのですが」とか市民がわからない事、役所のどこに伺ったら良いのかわからない、そんな時に聞く場所なのでしょうね。でも、それでは市民は声をかけにくいのではないのでしょうか。銀行等は、座ってなどいないで、笑顔で声をかけて下さったり、大丈夫ですか。とか、気遣いをされているのを見かけます。きっと座っておられる方もやりにくいのではないのでしょうか。来所者が、何を求めているのか、何を困っているのかを察するサービスを提供するのが、この仕事の役割ではないのかなと、待っている間思いました。と同時に、その時、窓口の方だと思いますが、若い男性の方です。にこにこして、おばあさんに説明していて、しかも窓口の外に出て来て、おばあさんの目線まで腰を落として話されていました。とても印象に残りました。市民は役所の奥まで行く事は少ないです。その一番向き合う場所の方が、笑顔でいてくれたら。駐車場が満車で、何回もグルグル回ってやっと駐車出来たことなどなんともない、なんて思えるのです。その男性を見ながら心和む気持ちになりました。(女, 50 歳代, 井上)
- ・ 正規の公務員、臨時職員の数を減らして、出来る事は自分たちでしませんか。土、日の業務も出来るだけしてほしいと思います。一般の人は土、日祭日しか休めません。又、時間外の仕事も、一般の人は仕事が終わってからボランティアです。時間外手当などつきません。出来るだけ税金の無駄遣いをなくしてほしいと思います。(女, 60 歳代, 日滝)
- ・ 議員人数が多いのでは。(女, 60 歳代, 日野)
- ・ 須坂市の生活とは関係ありませんが、記入させて頂きます。案内カウンターは、必要でしょうか。人件費のむだだと思います。市民課のところでやれば良いと思うのですが。少しでも費用のかからない市運営をやして下さい。名古屋市長のように。議員の給料とか少し高いのでは。数も多いのでは。(女, 60 歳代, 須坂)
- ・ 市会議員の活動がまったく解からない。議員報酬を下げるべきです。安全、安心と国も市長も言っているが具体的に細部まで説明してほしい。今回の東北関東大震災でも街が一瞬で消えてしまいました。これを良き例として、政策に生かしてほしい。市山間部地域に目を向け、有休農地や、有害獣対策を行って下さい。エコパーク問題についても、話し合いの回数を増やしたり、住民全員のアンケートをしっかりと行った方が良いと思う。(男, 60 歳代, 仁礼・峰の原)
- ・ まず市役所の整備を進めて下さい。あまりにものほほんと仕事しているようにしか見えません。住民票の間違え交付など質問に対し返答ができない。(男, 40 歳代, 日野)
- ・ 市議会の活動が低調と思う。人員削減が必要、また、報酬も多額すぎると思う。(男, 50 歳代, 高甫)
- ・ ①市職員の給料の見直しをして下さい。給料が良すぎる。②市会議員の手当ての見直しと定員の見直しをぜひ行って下さい。議会の日数で手当てを出せば良い。③保健補導員の必要はないと思います。(女, 70 歳代, 仁礼・峰の原)

・職員の対応について、民間企業へ研修に出たほうがいいのではないかなと思うほど、一般利用者への対応が悪いと聞いています。特に保険関連、介護相談などの窓口は常に正しい知識とわかりやすい説明ができるよう、プロ意識を持ってほしいと思います。新幹線が利用できるようになってから、中央へのアクセスも楽になり、住環境としてはとても気に入っています。長野市内で就労しているため、また子供も持っていないので、正直須坂市の現状を判断できるだけの実感はありません。しかし、駅前の荒廃ぶり（特にショッピングセンター）は見るに堪えない感があります。折しも東北関東大地震が起こったため、考えさせられることは沢山あります。ショッピングセンター付近は須坂病院を核として、保育、デイサービス、独居老人のためのアパートメントを開発してもいいと思うし、インター付近は例えば栗東のような競走馬のトレーニング施設を誘致、菅平はスポーツ選手のためのトレーニング、研究施設を誘致するなんてのも良いと思います。多少賃金が都会より少なかったとしても、そこで働いてそこで心豊かに暮らしていけること北欧型の生活、都市作りなどを参考に、この先何十年の方向性をきちんと見定めていただけたらと思います。どこか一ヶ所に何かを集中させるより、分散型の町づくりをしたほうが、災害時には強いことも考えてほしいです。

(女, 30 歳代, 小山)

・市議は半分位でいい。みんなのできる事をもっと。横のつながりがたりない。大きな目玉がほしい。須坂だから。これが須坂だ。(男, 60 歳代, 日野)

・須坂市、市議会議員が少人員で良いと思います。市内各案内板がもっと多いほうが良いと思います。市役所の役員が親切で非常に良いと思います。(男, 70 歳代, 旭ヶ丘)

・議員の給料引き下げ、議員年金なし。今の議員さんは半分以上給料取りである。1 期当選すれば 4 年間生活出来ると内心思っている人が多い。選ぶ私達にも多に責任がありますが、議員は 2 期までとする。(女, 70 歳代, 須坂)

・今回の被災地で、住民の生活の様々なことを手配したり、整えたりしている方は、県、市、町職員の方達です。須坂市でも非常の時の対応は検討されていると思いますが、大切なのは皆さんの協力だと思います。それには普段からの市民との関わり合いが一番大切なことだと感じます。建物の中での事務仕事と自分の仕事をとらえずに仕事をしていただきたい。(女, 50 歳代, 森上)

・須坂市役所を来所すると、明るくあいさつをいただき、とてもありがたく思っております。また、相談にも親身に教えていただいております。市発展のために皆で頑張りましょう。(男, 40 歳代, 日野)

●地域活性化

・須坂市を囲む市町村。観光が発達した小布施町や、大型店舗が揃う中野市、ワインや温泉で村おこしを図る高山村などに比べると、須坂市がとても地味に思えてしまいます。買い物も、須坂では欲しい物が揃えられず、中野まで行く事もしばしばです。周りの市町村に負けない魅力作りが難しいのなら、それらの自治体と連携できる方法など考えてほしいです。素人考えで書きましたが、とにかく須坂を元気にしてほしいです。私達の世代も、地元へ愛着がないわけではないので、協力できる事はしたいと思います。(女, 30 歳代, 仁礼・峰の原)

・町が暗い。活気がない。(女, 60 歳代, 小山)

・須坂市は、企業や商店が少なく、働く場や買い物は長野市に行く人が多いです。もっと魅力ある、活気ある町づくりをお願いします。(女, 29 歳以下, 高甫)

・市内内部の活性化が必要ではないか。郊外へ、商店などが集中しているため中心部に何もない状態である。(男, 60 歳代, 日滝)

- ・活気ある街造りに期待しています。市役所に行きいつも感じるのですが、1 F 市民課とか無駄に職員が大勢いすぎかと感じます。暇そうでいいなーといつも思っています。(女, 40 歳代, 旭ヶ丘)
- ・町の中がさみしいと思います。もっと須坂市が人を集める(他の町)。町に活気が無い。(女, 70 歳代, 日野)

●広報、P R

- ・広報の放送は、地震の震度、災害など頻繁に放送してほしい。(聞きにくいし、1 回だけなら聞こえない時もあるので) メセナホールでのイベントなどもっと多くしてほしい。交通のバス代、須坂病院、駅での 200 円割引券、本当に助かってます。病院の通院、バスでの買い物で助かっています。これからもずっと続けてお願いします。子供達に須坂に実家があって良かったと言われる須坂にしたいと思います。(男, 60 歳代, 仁礼・峰の原)
- ・市役所からの放送が良く聞こえない。(女, 80 歳以上, 日滝)
- ・3・11 に発生した東北関東大震災のような事が、須坂で起きたらと心配になりましたが、現在暮らし易い町で安心しています。ただ、何でもホームページで報告でなく、市報を通して知らせて頂きたい。市報は多くの人に読まれています。インターネット使用出来ない者からのお願いです。より住み易い須坂市のため市民も出来る事から協力して行きます。(女, 60 歳代, 森上)
- ・広報の放送が干渉して聞き取りづらい。市街地以外の歩道の整備を進めてほしい。自転車で行ける環境でない。子供が気軽に行ける公園がほしい。(河川敷の有効活用等) 農作物の消毒のルールを決めてほしい。(時間帯など) 道を歩いていて農薬が体中に付いてしまったことがある。(女, 29 歳以下, 日滝)

●税金、各料金

- ・生活保護をもらっていても遊んでいる人がいる。もっと調べてそのお金等で、用水路をフタしてほしい。子供が心配です。もっと車を減らしてほしい。たとえば、自転車に通勤手当で協力金を出す。(男, 30 歳代, 日滝)
- ・水道料金が安い。買い物に行くのが、とても不便。マスコミにも取り上げられた下条村を見習ってほしい。とにかく出生率を上げられるような環境を作してほしい。雇用をどうにかしてほしい。(市内は子育てに理解のある企業が少ない気がする。と、話題になる事もある) 働きたくても、小さい子供がいるからダメと、企業に断られ続けられている人が、ざらにいる。(女, 30 歳代, 豊洲)
- ・もっと税金を安くして頂き、結婚前の子供達が須坂に住み続けたい環境作りをしてほしい。周りをみても 2 人住まいの高齢者家族が増えています。青年層が結婚できる生活、安心して子育てできる須坂市を望みます。(女, 60 歳代, 日野)
- ・税の公平性をお願いします。特に自営をされていて税金をごまかして、広い土地に大きな家建て住んでいる人がいます。長い間ごまかしてきたからお金を借りないで建てたようです。サラリーマンはそういう事は出来ません。もっと公平に税金をとって下さい。(女, 60 歳代, 日野)
- ・公共料が他市より高い。上下水道料、特に町費、¥15,000~というのは、今の時勢高いです。(男, 40 歳代, 高甫)
- ・市県民税が高すぎると思います。(女, 40 歳代, 森上)
- ・上下水道料金が他の市に比べ高いと思います。(男, 40 歳代, 旭ヶ丘)
- ・須坂の税金が高すぎると思います。私達、年金生活にしては一人分の年金が税金に消えてしまいます。よぎなく貯金をくずして生活していますが、どれだけ続くか心配です。毎日、安いものをさがして生活しています。昔のショッピングセンターが、今シャッターが閉まった店が多いです。何かに活用できないでしょうか。場所は良いです、駐車場もありますから。(女, 60 歳代, 日滝)

・他市町村の後追いではなく、福祉、教育などの無料化等いろいろなことを進んで行い、他市町村の先頭に立ってほしい。(男, 70 歳代, 井上)

・水道料金、もう少し安くなりませんか。(男, 30 歳代, 高甫)

●住みやすい

・最近、ラジオ(全国放送)新聞等で須坂市動物園、人形博物館などが紹介されています。動物園ボランティアさん、テレビではハッチに元気をもらった等。私は、須坂しか知りませんので、この良さを感じる事は少ないですが、素晴らしい環境の中で生活できている事をうれしく思います。でも高齢化が進む現在、十分な介護が受けられるのか心配になります。それと町中と農村部の格差も多少感じます。(女, 50 歳代, 小山)

・自然に恵まれた静かな環境で生活出来ている事に対し幸せに思っております。(女, 80 歳以上, 小山)

●行革、経費削減

・お金の無駄だと思います。(男, 30 歳代, 豊洲)

・市役所の窓口業務を(土曜日)月 1 回開いていただければと思います。仕事を休んで行かなければならない時もあるので。(女, 60 歳代, 小山)

・長野市と一つの市になれば良いと思います。(男, 50 歳代, 小山)

・住所の件ですが、大字〇〇、〇番地 と記入するのが正しいのはわかっておりますが、〇〇町〇番地で記入する事が多いのですが、正式に記入する書類は、〇〇町ではだめな事があります。須坂市〇〇町の住所がなぜ正式に使えないのでしょうか?住所記入方法は、一本化してほしいです。(女, 50 歳代, 日野)

●住んで良かったと思える市に

・須坂市に居住し、おかげ様で今日まで健康で参りました。区町の行政について各種別について参加させて戴きました。須坂市の発展のため今後も協力させていただきたいと思います。(男, 80 歳以上, 高甫)

・弱者に優しい須坂市であってほしい。(男, 40 歳代, 日滝)

・ひとりひとりが気に掛けていることは、片寄ってしまうと思いますので、沢山の人の意見を聞く中で、市政に生かしてほしいと思います。(男, 50 歳代, 井上)

・①街づくり 行政にばかり期待し任せないで、自分たち一人一人が積極的に出来る事から行う。身近な事、小さな親切、大きな事に結びつける様に。自分の家の周りから、花を植えたり木を植えたり(落葉は肥料に)庭を利用するか、プランターでも良い。②人づくり年齢差の仲間づくり 人生の経験をした人から学ぶ事が大。子供達に教えられる(社会に通用する常識的な事等)③環境づくり 須坂に是非行ってみたいと、市外県外等から注目される街に。休みには歩いたりサイクリング等をして、家族で楽しめる様、町にも村にも空地にはなるべく花と木、野菜を植え、落ちた葉は個人個人で始末する。肥料にしても良い。県外問わず他方から、温泉、ハイキングに来た人も必ず立寄ってみたい街。(女, 60 歳代, 日滝)

●行政経営

・今後、長野市小布施町との拘りについても重要な課題として取り上げていくべきと考える。これからは須坂市単独では、行政も考えられない事等もっと多くなると思います。三木市長をはじめ市職員の方々の今後の須坂市発展のためのご尽力に期待します。アンケート結果について、市報が第一でしょう。ホームページを見れない人は、どうしても良い様な書き方はまずい。(男, 50 歳代, 旭ヶ丘)

- ・市民重視の市行政の推進をすべきです。行政担当者は対話、対応には市民から苦情の出ない様にしてほしい。高位置の態度は禁物。高齢者、健康弱者には出来るだけ親切心を持って応じる様望みます。(男, 80 歳以上, 日野)
- ・須坂市は、すばらしい第五次総合計画を打ち上げています。それが本当に市民の為ならば、もっともっと私達と話し合いの場を設けて頂きたい。保健補導員への多額の補助金は、3・11 に大震災に見舞われた多くの被災者の皆様の為に、義援金として使って頂きたい。6000 人以上のOB誰もが望む事でしょう。地獄の生活、苦しみに耐えている人のために、そして、生き抜く希望を持って頂く為に。私達へのお手伝い、お金は要りません。(女, 60 歳代, 小山)
- ・行政のおしつけがある。市民の立場に立っていない。自分の利を優先している人が多い。道に出ている植木などもう少し見て注意してほしい。(女, 60 歳代, 日滝)
- ・市が市民のために真摯に且つ前向きに日々取り組んでおられる姿勢が強く感じられます。第五次総合計画の取り組みに大きな期待をしています。新聞等マスコミへの広報活動は、須坂市が一番と思っています。各種団体の運営が厳しくなっている要因の一つは「人とお互いに支え合って共に生きる意識が希薄になってきている」と思います。意識の高揚が望まれる。(男, 80 歳以上, 井上)
- ・工業、商業など特定用途の集約。市として統一された方向付け。すべての意見をきこうとすると無理が生じる。開発が拠点化せず、何が目的かみえなくなる。住みやすい街である。観光地が分散されていて不便。臥竜山、公園、緑地公園を中心に、家族、老夫婦等、子供達がなごめる空間を演出してほしい。企業をよんで、就労率を向上。→住宅地開発→住みよい街にしてほしい。(男, 40 歳代, 仁礼・峰の原)

●アンケートについて

- ・昨年も選ばれました。いろいろ多くの方がアンケートに答えた方が良いと思います。峰の原に住んでいます。あまり観光に力を入れて頂いていない様に思います。上田市に合併された方が良かったと思っています。(女, 50 歳代, 仁礼・峰の原)
- ・以前に住んだことのある市町村、区ではこの様なアンケートはありませんでした。こういうアンケートがあることに驚きました。(女, 29 歳以下, 須坂)
- ・市に対する認識不足で恥ずかしいですが、とても難しいアンケートでした。(女, 50 歳代, 小山)
- ・このアンケートの時間がむだ。議員、区長とかに意見集約させればいい。やってみてほしい市の考え方、改めた方がいい。(男, 40 歳代, 日滝)
- ・少ない年金で経済的に余裕の無い生活をおくっている人間です。このような難しいアンケートにお答えする知識も意欲もございません。悪しからず。(男, 60 歳代, 豊丘)
- ・このアンケートについて、この結果が何に反映されるのかわからないし、そもそもこのアンケート回答の前提となる客観的な判断材料もないので、せっかく予算をかけても「やっただけ」になりませんか。またアンケート時期も今でなく第四次の評価として第五次策定前に行うべきではなかったのですか。(男, 30 歳代, 豊洲)

●経済対策、雇用対策

- ・若い人達が働ける企業を誘致してほしい。(女, 60 歳代, 日滝)
- ・工場を誘致して働く場を作してほしい。中央商店街をもっと活性化してほしい。(男, 60 歳代, 須坂)

・中高者の楽しく働ける場所があれば(お金ではなく、ボケ防止に)大勢集まって何かを出来れば。 (女, 60 歳代, 豊洲)
・地域、町活性化を進める為、新産業創出企業の誘致あるいは須坂市にはこれだという特徴ある物の考案、創造性豊かな考案が必要と考える。(男, 60 歳代, 日野)
・生活弱者を支援していく組織作りを要望します。(男, 70 歳代, 旭ヶ丘)
・日中、町の中、人通りが少なく淋しく感じる。新しい企業が来てくれる事を望む。(男, 70 歳代, 旭ヶ丘)
・村山のジャスコ跡地の利用。地方競馬の販売をしてほしかった。周りに店などが出来、雇用が増えたと思う。(男, 30 歳代, 須坂)
・町が豊かに(特に資金面で)なるには、産業・経済の分野の動向が重要となるのでは。それぞれの事業が良い方向に向いた時、観光の内容も充実してくると思う。外からの客を増やしていけると良い。(女, 30 歳代, 高甫)

●公共施設管理、充実

・朝早い時間だったのですが、子供がトイレに行きたくなったので、市役所となりにトイレができたのを知っていたので行ったら、カギがかかっていた使用できなくてびっくりしました。(女, 40 歳代, 須坂)
・上町の公会堂を新築する件ですが、お年寄りばかりと子供達がいらない所に公会堂は必要無いと思います。須坂市の公民館を利用した方が良いと言っても聞いてもらえません。一部の人達の意見が優先され実施に到りました。1ヶ月1口500円以上、年間払い、それがずっと続くのです。あと何年かかり、新築建立され何千万円のお金がかかり出来上がっても、私達は死んで利用できません。子供は都会に出て、帰って来ません。これから下水道も入ります。町別の公会堂は必要ありません。(女, 60 歳代, 須坂)
・小さな体育館はいらない。(女, 60 歳代, 高甫)

●土地利用

・農地の荒廃でまわりの田畑の人が困っております。使用しなくても草取りだけは行ってもらいたいものです。景観も悪い。(女, 60 歳代, 豊洲)
・土地利用の様々な規制が、発展を阻害することは、よく知られていることかと思われます。単に長野市のベッタウンとして生きることには甘んずることなく、市独自に産業育成を図ることが、税収を生み、行政サービスの向上にも直結すると思われますが、現状の土地利用の規制がほかの市町村より厳しいものであれば、市への参入や起業は、期待できないのではないのでしょうか。市民や企業の自由な活動を応援する市政、少なくとも、これを阻害しない市政の展開を望みます。できる限り規制は排除し、自由の範囲を広げて、経済活動の活性化を促し、税収を確保して市民サービスの向上につなげて下さい。パイは限られているものではありません。分けるパイが少なければ、増やせばよろしい。税収を増やす市政運営に強く期待します。(男, 50 歳代, 豊丘)
・高齢化社会で農業から離れて、どんどん分譲地やら、アパート等、そこら中出来ているが、大切な土地をセメントにするのは、規制してほしい。それと、地方の財政難がさげばれている中、市会議員の給金を下げ、定員も減らしてほしい。議会に誰が働きかけたらいいのか、我々なのか。(女, 60 歳代, 日滝)

- ・宅地介在畑も宅地同様の税率なのに、そこに家を建てたくても調整区域で宅地にならない。宅地を増やし、人口の増加を計る。商業の活性化を計る。①須坂駅西口の「晴れ家」の横断歩道に歩行者用信号を付けて下さい。どの車も全く止まってくれませんので、いつまでたっても渡れません。②403号線、日滝地区の自転車、歩行者用の歩道の確保が必要です。トラックなど通り怖くて通れません。幅1m位の歩道があったりもしますが、段差がありすぎて怖くて通れません。(男, 50歳代, 日滝)
- ・これからの須坂市をにやう若い人たちが、自分の家を持つことに大変むずかしい町だと思う。いろんな規約があり買いにくい。農地と住宅のバラバラとしたものでなく、市の協力のもと農業も大切、若い人も住みよい市に発展してもらいたい。(女, 60歳代, 高甫)
- ・農地の利用活用、住宅地に近い土地に児童の遊び場など作ってほしい。犬の散歩の際、糞は必ず持ち帰るよう周知して下さい。夜の散歩犬の方のマナーが悪いようです。県民グランドの一部を無料開放して下さい(契約日以外)。歩道上の木の枝を切して下さい。鳥の糞が頭に落ちました。理解しにくいアンケートでした。(女, 70歳代, 小山)
- ・農地の荒廃が目立つので住宅地にしてほしい。(女, 30歳代, 豊丘)
- ・空地を利用して、なんでも作って、それを売る場所を作ってほしい。市の共同の地場産の売場を作ってほしい。坂田トンネルの電波を聞けるようにしてほしい。(男, 50歳代, 仁礼・峰の原)
- ・住宅地の分譲をお願いします。街の中は、閑散としていて寂しいです。富士通跡地に優良企業を誘致して頂き、活性化して欲しい。(女, 60歳代, 仁礼・峰の原)

●マナー道徳

- ・改善しようと取り組んでいる人、努力している人がいる中、出る釘がうたれてしまう過去のしがらみは、民間および公務員でも、すぐ改善すべきだ。(男, 50歳代, 須坂)
- ・子供達に道徳を身に付けていく生活、行いのできる教育をもとに、小さい時から母の背中を見て育つ子供達の育成がほしい。(女, 70歳代, 高甫)
- ・ルールを守らない市民が多いと思います。これは特に農業の盛んな地域で、市の条令等全く無視している状況が目につきます。行政で決定した事について市役所等でしっかり見張ってほしいと思います。(男, 50歳代, 日滝)

●その他

- ・須坂市の上部開発を優先して頂きたいと思います。現状のままで上部は終わりになってしまいます。(男, 60歳代, 須坂)
- ・これ以上の生活を考えるのは無理だと思います。終戦後のあの生活苦を思うと有難いと思っています。(男, 80歳以上, 仁礼・峰の原)
- ・大企業病の須坂市にならないで下さい。大きな市になっても、市民(従業員)とだんらん出来る様な組織や雰囲気、環境をお願いします。須坂市は好きです。(男, 50歳代, 須坂)
- ・生まれは長野市。須坂に来て、37年になります。いつの間にか、すっかり須坂の住人になり。でも、やっぱり時々長野に行くのが楽しみです。(女, 70歳代, 豊洲)
- ・隣接する市町村に比べて、すべてが中途半端な感じがする。(男, 50歳代, 森上)
- ・選挙の後の看板の撤去を、徹底してほしい。みっともない。(女, 70歳代, 仁礼・峰の原)
- ・前倒踏襲ではなく、現状打破の精神で、待ちの体制ではなく、攻めの姿勢をお願いします。(男, 60歳代, 仁礼・峰の原)
- ・若者が他所へ行かず、地元で生活できる市になって欲しい。(男, 60歳代, 旭ヶ丘)

・雨の日、雪の日、お年寄りが安心して歩け、お買物やブラブラ散歩の出来る街こそ、住みたくなる町です。(男, 70 歳代, 須坂)
・我家では、商店を 80 余年営んで来ましたが、老舗と言われる店がだんだん消えてゆく昨今です。私達も今は夫と 2 人暮らしになり、子供は他の道へ行きました。自分達の体の動く限りは頑張っ (夫との年金暮らしで生活出来ます) 行こうと思っています。ボランティアで店を開けているよう なものです。認知症にならないように、寝たきり老人にはなりたくないと頑張っています。(女, 60 歳代, 日滝)
・大震災があり、原発の事故、大変な事態が起きていますが、義援金を始め災害の支援など日本が ひとつになり、がんばって早く不安の無い生活に戻れる事を願っています。(女, 60 歳代, 豊洲)
・市は広いので、仕方の無い事かと思いますが、何となくまとまりが無い様に感じています。(女, 30 歳代, 森上)
・須坂市は 5 万人という、ひとつにまとまりやすい地域なので、何につけてもいろんな立場の方々 が連携しあうことで、「人に優しい街」になると思います。(女, 50 歳代, 日野)
・都市ガスの整備 (女, 60 歳代, 日野)
・田んぼや畑が少なくなったと思う。赤とんぼが見られなくなってきて、これでいいのかなと思う。 だからといって、うちには田畑もなく、転職する気持ちもないのですが。少し昔に戻らないかなと 思う。(女, 30 歳代, 日滝)
・須坂市民で嬉しく思います。もう少し若ければもっと楽しいこと、外にもと思います。まだ頑張 って行政にさからって(良い意味で)行きたいです。よろしくお願いします。(男, 70 歳代, 小山)

資料

回答者属性詳細

◆性別

選択項目	総計		須坂	小山	森上	日滝	豊洲	日野	井上	高甫	旭ヶ丘	仁礼・峰の原	豊丘	無回答
	人数	(%)	人数	人数	人数	人数	人数	人数	人数	人数	人数	人数	人数	人数
男	235	43.2%	36	26	16	29	11	20	20	16	16	28	14	3
女	301	55.3%	56	43	17	28	28	31	16	19	17	34	10	2
無回答	8	1.5%	0	0	0	1	0	1	0	2	0	0	0	4
合計	544	100.0%	92	69	33	58	39	52	36	37	33	62	24	9

◆年齢

選択項目	総計		須坂	小山	森上	日滝	豊洲	日野	井上	高甫	旭ヶ丘	仁礼・峰の原	豊丘	無回答
	人数	(%)	人数	人数	人数	人数	人数	人数	人数	人数	人数	人数	人数	人数
20歳代	35	6.4%	7	2	1	4	2	5	3	2	0	5	4	0
30歳代	55	10.1%	10	6	2	6	7	4	5	3	4	3	5	0
40歳代	78	14.3%	10	9	8	11	5	9	8	3	6	7	2	0
50歳代	86	15.8%	14	14	7	7	5	8	4	4	6	13	4	0
60歳代	136	25.0%	22	12	8	19	13	11	6	14	8	18	5	0
70歳代	96	17.6%	17	16	6	7	5	7	4	8	7	12	3	4
80歳代	53	9.7%	12	10	1	4	2	8	6	3	2	4	1	0
無回答	5	0.9%	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5
合計	544	100.0%	92	69	33	58	39	52	36	37	33	62	24	9

◆家族構成

選択項目	総計		須坂	小山	森上	日滝	豊洲	日野	井上	高甫	旭ヶ丘	仁礼・峰の原	豊丘	無回答
	人数	(%)	人数	人数	人数	人数	人数	人数	人数	人数	人数	人数	人数	人数
単身世帯	32	5.9%	15	2	4	1	2	2	0	1	4	1	0	0
夫婦世帯	145	26.7%	28	20	6	17	7	12	4	14	11	18	5	3
二世代世帯 (親と子)	254	46.7%	35	29	17	32	22	28	21	14	14	28	14	0
三世代世帯 (親と子と孫)	85	15.6%	8	14	5	8	7	7	8	8	3	13	4	0
上記以外の世帯	17	3.1%	4	4	1	0	0	2	3	0	1	1	0	1
無回答	11	2.0%	2	0	0	0	1	1	0	0	0	1	1	5
合計	544	100.0%	92	69	33	58	39	52	36	37	33	62	24	9

◆主な職業

選択項目	総計		須坂	小山	森上	日滝	豊洲	日野	井上	高甫	旭ヶ丘	仁礼・峰の原	豊丘	無回答
	人数	(%)	人数	(%)	人数	(%)	人数	(%)	人数	(%)	人数	(%)	人数	(%)
農林業	36	6.6%	3	0.6%	1	0.2%	0	0.0%	5	0.9%	6	1.1%	4	0.7%
商工自営業	37	6.8%	6	1.1%	7	1.3%	5	0.9%	1	0.2%	3	0.6%	1	0.2%
会社員(パート含む)	186	34.2%	28	5.1%	18	3.3%	11	2.0%	21	3.9%	20	3.7%	10	1.8%
団体職員	8	1.5%	0	0.0%	0	0.0%	2	0.4%	0	0.0%	0	0.0%	1	0.2%
公務員(教員含む)	22	4.0%	0	0.0%	5	0.9%	1	0.2%	3	0.6%	1	0.2%	1	0.2%
家事(内職含む)	49	9.0%	7	1.3%	6	1.1%	3	0.6%	3	0.6%	2	0.4%	3	0.6%
学生	3	0.6%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	0.2%	0	0.0%	0	0.0%
無職	170	31.3%	42	7.7%	28	5.1%	8	1.5%	16	2.9%	10	1.8%	14	2.6%
その他	26	4.8%	6	1.1%	4	0.7%	3	0.6%	3	0.6%	0	0.0%	2	0.4%
無回答	7	1.3%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
合計	544	100.0%	92	16.9%	69	12.7%	33	6.1%	58	10.7%	39	7.2%	52	9.6%

◆居住歴

選択項目	総計		須坂	小山	森上	日滝	豊洲	日野	井上	高甫	旭ヶ丘	仁礼・峰の原	豊丘	無回答
	人数	(%)	人数	(%)	人数	(%)	人数	(%)	人数	(%)	人数	(%)	人数	(%)
1年未満	5	0.9%	3	0.6%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	0.2%	0	0.0%
1～5年	20	3.7%	5	0.9%	3	0.6%	1	0.2%	3	0.6%	2	0.4%	0	0.0%
6～10年	18	3.3%	3	0.6%	1	0.2%	1	0.2%	2	0.4%	4	0.7%	3	0.6%
11～15年	30	5.5%	7	1.3%	4	0.7%	3	0.6%	1	0.2%	2	0.4%	0	0.0%
16～20年	23	4.2%	4	0.7%	0	0.0%	1	0.2%	3	0.6%	4	0.7%	1	0.2%
21～30年	73	13.4%	8	1.5%	6	1.1%	3	0.6%	11	2.0%	6	1.1%	2	0.4%
31～40年	108	19.9%	17	3.1%	7	1.3%	8	1.5%	13	2.4%	9	1.7%	10	1.8%
41～50年	81	14.9%	7	1.3%	14	2.6%	5	0.9%	12	2.2%	4	0.7%	7	1.3%
51年以上	179	32.9%	38	7.0%	34	6.3%	11	2.0%	13	2.4%	8	1.5%	11	2.0%
無回答	7	1.3%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	2	0.4%
合計	544	100.0%	92	16.9%	69	12.7%	33	6.1%	58	10.7%	39	7.2%	52	9.6%

平成 22 年度市民総合意識調査調査票

平成 22 年度 市民総合意識調査

あなたご自身のことについておたずねします

あてはまる番号に 1 つ〇をしてください

問 1 性別

- | | |
|-----|-----|
| 1 男 | 2 女 |
|-----|-----|

問 2 年齢

- | | | | |
|----------|----------|----------|----------|
| 1 18～29歳 | 2 30～39歳 | 3 40～49歳 | 4 50～59歳 |
| 5 60～69歳 | 6 70～79歳 | 7 80歳以上 | |

問 3 お住まいの地区（小学校通学区別）

- | | | | | | |
|------|------|-------|-----------|-------|------|
| 1 須坂 | 2 小山 | 3 森上 | 4 日滝 | 5 豊洲 | 6 日野 |
| 7 井上 | 8 高甫 | 9 旭ヶ丘 | 10 仁礼・峰の原 | 11 豊丘 | |

問 4 ご家族構成

- | | | |
|----------------|-------------|--------------|
| 1 単身世帯 | 2 夫婦世帯 | 3 二世帯世帯（親と子） |
| 4 三世帯世帯（親と子と孫） | 5 1～4 以外の世帯 | |

問 5 同居されているご家族の中に高校生以下の子どもは

- | | |
|------|-------|
| 1 いる | 2 いない |
|------|-------|

問 6 同居家族の中に（ご自身を含め）65 歳以上の方は

- | | |
|------|-------|
| 1 いる | 2 いない |
|------|-------|

問 7 あなたの主な職業

- | | | | |
|-------------|------------|--------------|--------|
| 1 農林業 | 2 商工自営 | 3 会社員（パート含む） | 4 団体職員 |
| 5 公務員（教員含む） | 6 家事（内職含む） | 7 学生 | 8 無職 |
| 9 その他（ | | | ） |

問 8 須坂市にお住まいになったの通算年数は

- | | | | | |
|-----------|-----------|-----------|----------|----------|
| 1 1年未満 | 2 1～5年 | 3 6～10年 | 4 11～15年 | 5 16～20年 |
| 6 21年～30年 | 7 31年～40年 | 8 41年～50年 | 9 51年以上 | |

問 9 須坂市には

- | |
|--------------------------|
| 1 生まれた時から住んでいる（一時期転出も含む） |
| 2 県内の他の市町村から転入した |
| 3 県外から転入した |

須坂市の住みやすさについておたずねします

問 1 0 あなたにとって須坂市は住みやすいですか。(○は1つ)

- 1 住みやすい
- 2 どちらかといえば住みやすい
- 3 どちらかといえば住みにくい
- 4 住みにくい

問 1 1 あなたは今後も須坂市に住み続けたいですか。(○は1つ)

- 1 今の場所で、ずっと、住み続けたい
- 2 今の場所で、当分の間、住み続けたい
- 3 市内の別の場所で、住み続けたい
- 4 可能であれば市外に移りたい
- 5 すぐにでも市外に移りたい
- 6 近いうち(2年以内)に市外に移る予定がある
- 7 将来的に(2～10年以内)に市外に移る予定がある

問 1 2 問 1 1 で 4・5・6・7 に ○ をされた方にお聞きします。
その理由を次の中から選んで○をしてください。(○はいくつでも)

- 1 住宅や土地の価格・広さに満足できないから
- 2 通勤・通学に不便だから
- 3 自然災害への備え(防災)が不十分だから
- 4 騒音などの生活環境に満足できないから
- 5 医療・福祉環境に満足できないから
- 6 保育・子育て・教育環境に満足できないから
- 7 近所付き合いなどがわずらわしいから
- 8 治安・防犯が心配だから
- 9 買い物や娯楽を楽しめる環境でないから
- 10 商売や事業を行いやすい環境でないから
- 11 仕事、学校、家族の都合でやむをえず
- 12 その他(具体的に:)

市の施策全般についておたずねします

「住んでよかった」と思える須坂市にしていくためには、社会経済情勢などの様々な「環境の変化」に的確に対応し、市民の皆さまが安心して生活できることが大切です。

問 1 3 あなたは、それぞれの施策の取り組み状況について、どの程度満足されていますか。また、今後取り組むことがどのくらい重要だと考えますか。

() 内の考え方を参考に、一般的な市の取り組みをイメージしながら、

満足度：日常生活場面を思い出して 1～6 の中から

重要度：須坂市全体のことを考えて A～E の中から

項目ごとに、お考えに一番近い番号をそれぞれ 1 つ選んで番号に○をつけてください。

※ 満足度についてはご自身の経験や接点がなく、回答することができない場合は「分からない(6)」とお答えください。

記入例	満足度						重要度				
	満足	どちらかといえば満足	どちらでもない	どちらかといえば不満	不満	分からない	重要である	どちらかといえば重要である	普通	どちらかといえば重要ではない	重要ではない
項目 () 内は満足度・重要度の考え方の基準											
健康づくりの支援 (市民が、自分の健康は自分でづくり、守っている)	1	2	3	4	5	6	A	B	C	D	E

【少子高齢社会に対応し安心して暮らせる健康・福祉のまちづくり】

項目	満足度						重要度				
	満足	どちらかといえば満足	どちらでもない	どちらかといえば不満	不満	分からない	重要である	どちらかといえば重要である	普通	どちらかといえば重要ではない	重要ではない
() 内は満足度・重要度の考え方の基準											
健康づくりの支援 (市民が、自分の健康は自分でづくり、守っている)	1	2	3	4	5	6	A	B	C	D	E
安心して医療が受けられる体制の整備 (市民が、安心して医療を受けている)	1	2	3	4	5	6	A	B	C	D	E

項目 () 内は満足度・重要度の考え方の基準	満足度						重要度				
	満足	どちらかといえば満足	どちらでもない	どちらかといえば不満	不満	分からない	重要である	重要である どちらかといえば	普通	重要ではない どちらかといえば	重要ではない
みんなで支えあう福祉のまちづくり (市民が、地域で助け合い、子育て中の人や高齢者・障がい者の生活を支えている)	1	2	3	4	5	6	A	B	C	D	E
子育て環境の整備 (子育て家庭や子どもをもとうとする人が、子育てに対する不安を感じることなく、安心して子どもを生み育てている)	1	2	3	4	5	6	A	B	C	D	E
高齢者福祉の推進 (高齢者が、必要な介護・福祉サービスを地域で利用している)	1	2	3	4	5	6	A	B	C	D	E
障がい者保健福祉の推進 (障がい者が、自立に向けた必要な支援やサービスを身近な地域で受けている)	1	2	3	4	5	6	A	B	C	D	E
生活困窮者への支援 (生活に困窮している人が、扶助や支援を受けて自立に向けて生活している)	1	2	3	4	5	6	A	B	C	D	E

【須坂文化を創造し心豊かな人をはぐくむ生涯学習のまちづくり】

生涯学習の支援 (市民が、興味や必要に応じてどこでも学習し、そのキャリアを活かしあいまちづくりに参加している)	1	2	3	4	5	6	A	B	C	D	E
市民文化活動及び伝統文化の保存・継承への支援 (市民が、文化を通じた多様な活動や交流に参加している)	1	2	3	4	5	6	A	B	C	D	E
市民スポーツ活動への支援 (市民が、好み・年齢・体力に応じてスポーツに親しんでいる)	1	2	3	4	5	6	A	B	C	D	E
学校教育の充実 (児童・生徒が、たくましく、健やかな心身をはぐくむ教育を受けている)	1	2	3	4	5	6	A	B	C	D	E
明るい家庭づくりと児童・青少年健全育成の推進 (児童・青少年が、自立心や社会性を身につけ、地域活動に参加している)	1	2	3	4	5	6	A	B	C	D	E

【安全で快適に暮らせる定住・環境のまちづくり】

項目 () 内は満足度・重要度の考え方の基準	満足度						重要度				
	満足	どちらかといえば満足	どちらでもない	どちらかといえば不満	不満	分からない	重要である	重要である どちらかといえば	普通	重要ではない どちらかといえば	重要ではない
景観の保存・育成 (市民が、美しく豊かな自然景観・歴史的景観・都市景観を保存し育成している)	1	2	3	4	5	6	A	B	C	D	E
自然環境の保全 (市民が、身近なところで自然とふれあっている)	1	2	3	4	5	6	A	B	C	D	E
持続的発展可能な土地利用の推進 (自然や生活環境に配慮され、かつ市民の安全性が確保された土地利用となっている)	1	2	3	4	5	6	A	B	C	D	E
水資源の確保と安定的な供給 (水道水が、安全で安心な水として安定的に供給されている)	1	2	3	4	5	6	A	B	C	D	E
環境を守る活動の推進 (市民や事業者が、環境保全の大切さを認識し、環境を守る活動に参加している)	1	2	3	4	5	6	A	B	C	D	E
循環型社会の構築 (市民や事業者が、ごみの 3 R※を推進している) ※リデュース＝減量・発生抑制、リユース＝再使用、リサイクル＝再生利用・再資源化)	1	2	3	4	5	6	A	B	C	D	E
歴史的資産を活かしたまちづくりの推進 (市街地が、歴史と文化を活かしたまちとなっている)	1	2	3	4	5	6	A	B	C	D	E
快適で安全なみちづくり (道路利用者が、快適かつ安全に道路を利用している)	1	2	3	4	5	6	A	B	C	D	E
公共交通の確保 (バス・電車等の公共交通が、環境にやさしい交通手段として、人々の生活を支えている)	1	2	3	4	5	6	A	B	C	D	E
公営住宅の適正供給 (市民が、快適さを実感できる住まいで暮らしている)	1	2	3	4	5	6	A	B	C	D	E

項目 () 内は満足度・重要度の考え方の基準	満足度						重要度				
	満足	どちらかといえば満足	どちらでもない	どちらかといえば不満	不満	分からない	重要である	どちらかといえば重要である	普通	重要ではない	重要ではない
公園・緑地の整備 (公園・緑地が、ゆとりとうるおいある都市空間として整備されている)	1	2	3	4	5	6	A	B	C	D	E
環境衛生施設の整備 (市民が、環境衛生施設により、清潔で安心して暮らしている)	1	2	3	4	5	6	A	B	C	D	E
防災対策・消防力の強化 (市民が、防災面で安全な暮らしをしている)	1	2	3	4	5	6	A	B	C	D	E
交通安全対策の推進 (市民が、高い交通安全意識をもち、安全で安心な交通環境の中で活動している)	1	2	3	4	5	6	A	B	C	D	E
地域安全対策の推進 (市民が自分たちの住む町に関心をもち、地域のつながりの中で安心して暮らしている)	1	2	3	4	5	6	A	B	C	D	E
安心・安全な消費生活の確保 (市民が、毎日の消費生活を安心して行い、安全に暮らしている)	1	2	3	4	5	6	A	B	C	D	E

【地域の資源を活かした先端技術・産業のまちづくり】

高付加価値農業・ブランド化の推進 (農業者が、安全・安心を基本に、付加価値の高い農業を行っている)	1	2	3	4	5	6	A	B	C	D	E
農業振興のための基盤整備 (農業者が、いきいきと農業をしている)	1	2	3	4	5	6	A	B	C	D	E
森林の持つ機能保全・育成 (森林が、森林のもつ多面的機能が発揮され、有効に活用されている)	1	2	3	4	5	6	A	B	C	D	E
既存産業の高度化・高付加価値化の促進 (市内企業が、地域経済の活性化や雇用創出を支える柱として、活発に企業活動を行っている)	1	2	3	4	5	6	A	B	C	D	E
新産業創出・企業誘致の促進 (時代を先導する産業分野の企業や意欲ある経営を行う事業者が、須坂市で活発に事業を展開し地域経済を活性化させている)	1	2	3	4	5	6	A	B	C	D	E

項目 () 内は満足度・重要度の考え方の基準	満足度						重要度				
	満足	どちらかといえば満足	どちらでもない	どちらかといえば不満	不満	分からない	重要である	どちらかといえば重要である	普通	どちらかといえば重要ではない	重要ではない
商業再生と活性化への支援 (商店街・商店が、個性的で魅力ある商店街・商店となっていてにぎわっている)	1	2	3	4	5	6	A	B	C	D	E
新サービス産業への支援 (新たに起業しようとする人、新規事業に取り組む企業が、新分野の開拓に向けて活発に活動している)	1	2	3	4	5	6	A	B	C	D	E
観光・レジャー産業の振興 (観光・レジャー産業が、地域の魅力ある観光地に支えられ、活発に事業展開している)	1	2	3	4	5	6	A	B	C	D	E
就労支援 (働く意欲がある人が、自ら希望する職業に就いている)	1	2	3	4	5	6	A	B	C	D	E
勤労者福祉の増進 (勤労者が、いきいきと働き、実りある人生を送っている)	1	2	3	4	5	6	A	B	C	D	E

【すべての人のしあわせを守る人権・交流のまちづくり】

人権が尊重される社会の実現 (市民が、自らの人権意識を高め、すべての人々の人権を守り、差別のない社会を築いている)	1	2	3	4	5	6	A	B	C	D	E
男女共同参画社会の実現 (市民が、性別にとらわれず、生き方や価値観を尊重しあいながら、共に社会活動に参加している)	1	2	3	4	5	6	A	B	C	D	E
多様な活動主体の参画による地域社会づくりの推進 (地域における多様な活動主体が、あらゆる分野の社会活動に参画している)	1	2	3	4	5	6	A	B	C	D	E
I T (情報通信技術) を活用した情報提供 (市民が、I T を活用し様々な情報を得ている)	1	2	3	4	5	6	A	B	C	D	E
他都市との交流・国際交流の推進 (市民が、姉妹都市・友好都市等の人々との交流を通じて相互理解を深めている)	1	2	3	4	5	6	A	B	C	D	E

【市民とともに考え歩む『共創』のまちづくり】

項目 () 内は満足度・重要度の考え方の基準	満足度						重要度				
	満足	どちらかといえ ば満足	どちらでも ない	どちらかといえ ば不満	不満	分 か ら な い	重要である	重要である	どちらかといえ ば普通	重要ではない	どちらかといえ ば重要ではない
広聴・広報の充実 (市民の声が、市民へのサービス向上や市の施策などに活用されている)	1	2	3	4	5	6	A	B	C	D	E
市民と行政の連携強化 (市民が、計画策定に積極的にかかわり、責任をもって実行している)	1	2	3	4	5	6	A	B	C	D	E
効率的で効果的な組織・体制づくり (市組織が、行政課題に対し、弾力的かつ創造的に適合している)	1	2	3	4	5	6	A	B	C	D	E
戦略的な視点に立った財政運営 (市財政の運営が、市民が満足する行政サービスを持続的に提供できるよう健全になされている)	1	2	3	4	5	6	A	B	C	D	E
卓越した都市の創出（日本一のまちを目指して） (市民と行政が総合計画を具体化し、「住んでよかった」須坂市を実現している)	1	2	3	4	5	6	A	B	C	D	E

あなたの日常生活や身の回りのことについておたずねします

あてはまる番号に 1 つ〇をしてください

問 1 4 あなたは、「自分の健康は自分でつくり、守る」取り組みをしていますか。

- 1 毎日（ほぼ毎日）、取り組んでいる
- 2 週 1 回以上、取り組んでいる
- 3 月 1 回以上、取り組んでいる
- 4 取り組んでいない
- 5 その他（具体的に：)

問 1 5 あなたは、この 1 年間に文化活動を何回程度行いましたか。

(文化活動とは、演劇鑑賞、絵画等作成などします)

- 1 しなかった
- 2 5 回以下
- 3 9 回以下
- 4 10 回以上

問 1 6 あなたは、日頃からスポーツを行っていますか。

- 1 毎日（ほぼ毎日）、行っている
- 2 週 1 回以上、行っている
- 3 月 1 回以上、行っている
- 4 行っていない
- 5 その他（具体的に： _____）

問 1 7 あなたは、日頃、自然にふれあう機会をつくっていますか。

（自然とのふれあいは、公園散策、ハイキング、森林浴、山菜取りなどとしします）

- 1 つくっている
- 2 つくっていない

問 1 8 あなたは、住宅への太陽光発電システム設置について関心がありますか。

- 1 すでに設置している。
- 2 今後、費用が安くなれば設置を検討したい。
- 3 関心はあるが設置できない。（自分の持ち家でないなど）
- 4 まったく関心がない。

問 1 9 家族（親族）が亡くなったときに埋葬する墓地はありますか。

- 1 ある
- 2 取得できる見込みである
- 3 取得できるか不安である

問 2 0 あなた自身または家族が人権を侵害されたと思ったことがありますか。

- 1 ある
- 2 ない



「ある」に○をされた方にお聞きします。どのような人権侵害でしたか。

問 2 1 家庭内にインターネットに接続できる機器はありますか。（複数回答可）。

- 1 パソコン（通信回線 ADSL ※）
- 2 パソコン（通信回線 光回線 ※）
- 3 パソコン（通信回線 上記以外）
- 4 携帯電話
- 5 なし

※ADSL＝電話回線を利用するデータ通信技術。光回線に比べると通信速度は遅い。

光回線＝光ファイバーケーブルを利用するデータ通信技術。超高速、高品質のインターネット接続が可能。

須坂市の行政に関する取り組みについておたずねします

あてはまる番号に 1 つ〇をしてください

問 2 2 須坂市の姉妹都市、友好都市を知っていましたか。

姉妹都市：神奈川県三浦市、新潟県新発田市（旧紫雲寺町）

友好都市：中国吉林省四平市

- 1 知っていた
- 2 知らない都市があった
- 3 知らなかった

問 2 3 須坂市は、行政が市民・ボランティア（NPO 含む）・企業等ができることは任せ、
その他の事業も協働で行っているまちだと思いますか。

- 1 そう思う
- 2 ややそう思う
- 3 あまりそう思わない
- 4 そう思わない

問 2 4 あなたは、市役所が、以前と比べて良い方向に変わってきていると感じますか。（「市役所」には、職員の対応や、仕事の仕方なども含みます。）

- 1 感じる
- 2 どちらかといえば、感じる
- 3 どちらかといえば、感じない
- 4 感じない
- 5 わからない（以前又は最近を知らないため。特に気にしていないため。）

問 2 5 あなたは、行政の防災体制が充実していると感じますか。

実施内容：総合防災訓練の実施、防災設備や備蓄品の充実、地域防災マップの更新、
災害応援体制の充実など

- 1 とても充実している
- 2 どちらかといえば充実している
- 3 どちらともえない
- 4 どちらかといえば充実していない
- 5 ほとんど充実していない

問 2 6 須坂市全体の土地利用についてどう思いますか。

- | | |
|-------------------------|------------------|
| 1 現状で満足している | 2 農地の荒廃が目立つ |
| 3 農地と宅地の混在が目立つ | 4 農地の無秩序な開発が目立つ |
| 5 河川・水路などの荒廃が目立つ | 6 工場・商業施設の乱立が目立つ |
| 7 山林の無秩序な開発が目立つ | 8 市街地の無秩序な開発が目立つ |
| 9 市街地に活用されていない建物や土地が目立つ | |
| 10 その他（具体的に： | ） |

問 2 7 須坂市の将来の土地利用についてどのような方向をとるべきだと思いますか。**お考えにもっとも近いものに1つ○をしてください**

- | | |
|-------------------------------|---------------------|
| 1 住宅地を増やしていく | 2 工業用地を造成していく |
| 3 商業用地を確保していく | |
| 4 スポーツ・文化施設、観光施設などの公共用地を確保する | |
| 5 農地を住宅地や商業地に転用する | 6 山林を有効活用し、土地利用を進める |
| 7 農地を保全する | 8 山林を保全する |
| 9 公園や緑地を増やす | |
| 10今のままでよい（これ以上住宅地、工業用地等は必要ない） | |
| 11 その他（具体的に：_____） | |

須坂市のまちづくりについておたずねします**問 2 8 あなたは、日常生活の中で、須坂市のまちづくりについて、どの分野に一番関心がありますか。関心のある分野の番号と、主な事業内容を記入してください。****また、その分野に関してご意見・ご提案がありましたら、下の欄にお書きください。**

番号	分 野 名	主 な 事 業 内 容
1	健康・福祉	健康づくり、医療、障がい者福祉、高齢者福祉、子育て支援など
2	教育・文化・スポーツ	学校教育、青少年健全育成、生涯学習、芸術・文化活動など
3	環境	ごみ、衛生、公害、自然環境、景観など
4	都市基盤	道路、河川、都市計画、住宅、公園など
5	産業・経済	農業、工業、商業、観光、勤労者福祉など
6	安全・交通・生活基盤	防災、消防、公共交通、下水道整備など
7	交流・コミュニティ	自治会活動、男女共同参画、人権、国際交流など
8	その他の分野	（具体的に：_____）

関心のある分野の番号

(例：2)

主な事業内容

(例：学校教育)

須坂市の生活についてご自由にご意見をお書きください

アンケートへのご協力ありがとうございました

以上で質問はすべて終了です。長時間ご協力ありがとうございました。
最後にお答えいただいた貴重な回答を有効にするためにも、今一度、全体を見直していただき、記入漏れ等のご確認をお願い申し上げます。

《回収について》

- ・ ご記入済みの用紙は、お手数ですが、同封した返信用封筒に入れて、**3月27日（日）まで**に切手をはらずに、ポストに投函してください。

《結果について》

- ・ ご協力いただいたアンケート調査の結果は市の公式ホームページ等でご報告する予定です。

＜お問合せ先＞ 須坂市総務部政策推進課政策秘書係
電 話 026-248-9017（課専用）
ファクシミリ 026-246-0750
Eメール seisakusuishin@city.suzaka.nagano.jp

平成 22 年度市民総合意識調査

企画・発行 須坂市総務部政策推進課
平成 23 年 7 月

須坂市大字須坂 1528 番地の 1

電話 026-245-1400 (代表)
026-248-9017 (課専用)

電子メール seisakusuishin@city.suzaka.nagano.jp
